

朝鮮總督府總務局國勢調查課編

朝鮮勞働技術充實調査報告



序

戦時下國內産業に於ける勞働事情の調査が勞務動員竝に賃金規制其の他諸般の國策に關する計畫の樹立竝に運用に必要な統計の基礎資料を得るに如何に重要なものであるかは茲に敢て絮説する迄もないことである。朝鮮に於ける勞働技術統計調査は既に過去二回に亘り之を實施して來たのであるが、元來本調査はその方法及客體が他の調査のそれほ比し遙かに複雑多岐であるので調査の度毎に種々雑多な疑問が簇出するのみならず更に又今回からは調査事項も諸般の施策に對應して多少の變改を來した爲調査の煩雜困難が一層加重されることを豫想せられる。

於是、一は關係各方面の本調査に關する研究又は參考上の便宜を圖り他は依つて本調査の正確と迅速とを期する意味から今般本調査に關する解説を試み之を公にせんとするものである。

本書が能く如斯き使命を完全に果すか否かは固より斷言出來ないが、然し乍ら本調査上殊に受働的な立場からは尠からず裨益する所かあらうと信ずる。尙本書の編纂には主として當課鈴木統計官が之に當つたのである。

昭和十八年三月

朝鮮總督府總務局

國勢調査課長 青山信介

はしがき

統計思想の普及に伴ひ、各種統計書の刊行は日を遂ふて多數を算する様になつた。然しながら労働統計に關する著書としては誠に僅少である、我が國に於ては昭和十二年に内閣統計局書記官水谷良一氏が労働統計論を刊行された以外、理論と實際とに互り記述された書籍としては殆ど見當らない。而かも内地に於ては大正十三年以來時世の進運に伴ひ、労働事情の急速なる探究の必要に迫られ勞務竝に技術動員計畫、賃金規制等に必要なる統計を作成する目的を以て、労働技術に關する統計調査を實施して來たのであつて、朝鮮も亦一昨年來内地に順應して同様調査を實施して居るのであるが労働統計に關する一般の關心未だ稀簿なる朝鮮の現状に鑑み、聊か之か概念及労働人口の統計上重要な諸點等を概説し、進んで労働技術統計調査に關する諸法令を至極

通俗的に解説し、更に前年實施の結果より見たる記入上の誤謬等に關し、説明を加へんとするものである。

幸に本書が之等の事務に携はる調査員竝に多數従事員の御利用を得て、本調査事務の遂行に幾分の貢獻を爲すことを得るならば、編者の満足とする處である。

唯本書は昭和十八年労働技術統計調査の用に供せんとし、急速に編纂されたものであり内容に多々不備の點有ることを諒恕されたい。

尙本書の編纂資料は主として労働係主任赤木吾朗君の援助を仰いだものであることを附言して謝辭に代ふることとする。

鈴木虎次郎

昭和十八年三月

目次

| | | |
|-----|----------------|---|
| 第一章 | 總説 | 一 |
| 第一 | 勞働統計調査の意義 | 一 |
| 第二 | 勞働統計調査の沿革 | 二 |
| 第三 | 勞働人口に關する統計の重要性 | 五 |
| 第二章 | 朝鮮勞働技術統計調査 | 六 |
| 第一 | 調査の基礎 | 六 |
| 第二 | 調査の趣旨 | 七 |
| 第三 | 調査の時期 | 七 |
| 第四 | 調査の範圍 | 八 |
| 第五 | 調査の事項 | 九 |

| | | |
|-----|------------------|-----|
| 第六 | 調査の機關 | 二五 |
| 第七 | 調査の方法 | 二六 |
| 第八 | 調査結果の整理 | 二七 |
| 第三章 | 朝鮮労働技術統計調査諸規程の解説 | 一九 |
| 第一 | 労働技術統計調査令 | 一九 |
| 第二 | 朝鮮労働技術統計調査施行規則 | 四八 |
| 第三 | 朝鮮労働技術統計調査施行細則 | 五五 |
| 第四 | 調査票記入心得 | 六六 |
| 一 | 事業票 | 六六 |
| 二 | 勞務票 | 一三七 |
| 三 | 技術票 | 一九二 |
| 附録 | | |
| | 朝鮮労働技術統計調査關係諸法規 | 二八 |

朝鮮勞働技術統計調査解説

第一章 總 說

第一 勞働統計調査の意義

單に勞働統計調査と謂へば社會の勞働事情に關する統計調査であるが、此を狭い意味に解釋すれば勞働事情に關する種々の現象を對象とする大量觀察と云ふことが出来るし、廣い意味にとれば勞働者の社會的狀態、並に勞働者の經濟生活に關係ある凡ての統計であると謂ふことか出来ると思ふのである。併し本書で述べんとする處は單なる勞働者の調査ではなくて勞働並技術に關する統計調査である。従つて其の意義に於ても勞働者に對して勞働事情に對する種々の現象を對象として調査する點は狹義の勞働調査に類似のものであるが、更に勞働者以外の勞務者、雇傭主（事業主を含む）又は技術者に對しても夫々必要なる社會事情や勞働事情や技術的方面の事情等を調査するので

あつて、此の點は將に廣義の調査の領域をさへ越へたものの如く考へて差支ないと思ふのである。何れにしても労働事情を深く探究せんとする爲に之に關聯せる凡ゆる統計資料を一人勞務者のみに止めず事業主或は技術者よりも、採ると云ふのが本調査であつて、更に廣い意義を有するものと解することが出来る。

第二 労働統計調査の沿革

労働事情に關する統計調査は他の一般統計調査に比し後れて起つた調査であつて、十九世紀の終頃になつて北米合衆國が賃金及労働者に對する労働事情の調査に漸次關心を持つやうになり、其の最初の現はれとして西曆一八六九年に合衆國マサチューセツツ州政府に初めて労働局が創設せられたが、其後一八八四年には中央政府労働統計局が設置せられ、更に其れより四年後には堂々たる労働省が生れるに至つた。臆て是等の情勢は歐羅巴にも波及せられ英吉利は一九一六年に労働省が設けられ、佛蘭西は一八九一年に労働局を設置し、獨逸は一九〇二年に中央統計局内に労働統計部を設置するに至り、其の他の産業國に於ても大體二十世紀の初め頃迄には労働統計調査に必要な官廳を何

等かの形式の下に夫々設置するに至つたのである。翻つて我國の狀態を顧みるに、大正十一年法律第五十二號を以て統計資料實地調査に關する法律の公布を見、之が第一條に基き初めて勞働統計調査の實施を爲すこととなり、此の實施機關として内閣統計局内に勞働課の新設を見て今日に及んだのである。所で、其れ以前に何か勞働事情に關する調査は無かつたかと調べて見ると、農商務省時代（明治三十二年）に同省が全國十三都市の商工會議所に依頼して各地區内に於ける會社、工場、個人につき一人前の技倆を有する者の賃金の調査を開始したことがある。此が我が國として勞働事情の調査を始めた最初のものであつた様に考へられる。其の後明治四十二年には農商務省令をもつて「工場統計報告規則」を公布し毎五年目の年末現在に依り五人以上の勞働者を使用する工場の職工に對する調査を開始したが、更に大正九年五月以降「工場法」の實施に伴ひ勞働事情に關する各種の統計資料は漸次蒐集整備せられて來た。併しながら此等の材料は何れも一局部に偏した誠に貧弱なものであり、且つ各調査の相互間に何等の脈絡もなく統一もない所謂斷片的の資料に過ぎなかつたのである。其の上調査方法が多く地方分査の方法を採つた爲其の内容にしても可なり多くの誤謬を保有して居つたのである。斯の如き貧弱なる資料では到底新時代の要求に應じ兼ねたのみなら

す、第一次歐州大戰後急速に擡頭して來た我國の労働問題に對する、政策施設等の基本資料として幾多の不備缺陷のあつた事は申す迄もない。於是、此等の不備缺陷を除去し労働政策に關する全般的基础資料を整備する目的をもつて制定されたのが前に述べた大正十一年公布の「統計資料實地調査に關する法律」である。此の法律は昭和四年の改正に依り「農業」を、昭和十五年の改正に依り「技術者」に關する調査を加へられたのである。

而して本法に依る調査としては既に内地としては大正十三年に其の第一回を、昭和二年に第二回を、昭和五年に第三回を、昭和八年に第四回を實施したが、何れも毎回工場、鑛山に其の範圍を限定されて居つた。然るに昭和十一年第五回調査には右の外、交通業が之に加へられ、昭和十四年及び昭和十五年の調査は同様の範圍に於て實施せられたのであるが、更に昭和十六年内外地一齊に調査された労働技術統計調査に於ては一層調査範圍が擴大せられ工場 鑛山、交通業の外に事務所商店が加へられたのである。

我が朝鮮に於ては昭和十六年に勅令第三百七十八號を以て前記法律第五十二號は之を朝鮮にも施行せられることとなつた結果之が調査機關として總督官房國勢調査課内に労働係を新設し本事務を

管掌することとなつたのである。

第三 労働人口に関する統計の重要性

労働人口の各種労働統計に及ぼす重要性に關しては今更申す迄もない事であるが、此の人口が一切の労働統計の基礎を爲すものである事、例へば労働者の賃金や労働時間等の割出し、労働條件に對する利用等其の價値は非常に大なるものがあると考へられる。一例を舉ぐれば假りに正確な失業統計調査を行つたとしても、其の背後に正確なる労働階級人口の調査がなかつたならば實際の失業率の算定は不可能となり、失業統計の意義の大半は失はれるが如きである。

従つて一切の他の労働統計をして有効且つ有意義ならしめんが爲には、先づ以て労働人口に關する數字を整へ、其の地方的分布、男女別區分、年齢別區分並に産業別、職業別分布等の狀況を明かにしなくてはならない。

第二章 朝鮮労働技術統計調査

第一 調査の基礎

朝鮮労働技術統計調査は大正十一年法律第五十二號「統計資料實地調査ニ關スル法律」、昭和十六年勅令第三百七十八號「大正十一年法律第五十二號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件」並昭和十六年勅令第三百八十號「労働技術統計調査令」に基き、昭和十六年府令第四百四十七號朝鮮労働技術統計調査施行規則の規定に依つて毎年定期的に行はれる年次調査である。内地に於ては前述の如く大正十一年法律第五十二號に基き大正十三年に第一回調査を施行し、爾來三年毎に之が調査を實施することとなり、昭和二年、昭和五年、昭和八年、昭和十一年と同を重ねる毎に調査内容整備せられ、昭和十一年の第五回調査よりは調査範圍が工場、鑛山以外に交通業に迄擴張せられ、更に昭和十六年の調査には事務所商店にも及ぼすこととなり、必ずしも賃金、労働時間等一部の労働條件に偏した調査ではなく、労働事情の全般に亘る統計調査となつたのである。併しながら一切の労働

事情を單一の統計調査に依つて、洩れなく調査し竭すことは不可能であるのみならず労働條件の中樞を爲すものは、賃金及労働時間の二つに外ならないのであるから、結局は本調査に於ても此の兩者が調査の中心となり、結果の整理に際しても爾餘の調査項目は概ね此の兩者に結び附けられて居るのである。

第二 調査の趣旨

勞務動員並賃金規制の計劃及運用に必要な統計を作成し、併せて、技術動員其他の労働事情改善に必要な諸施設計劃等の樹立に必要な統計資料を作成する目的を以て、各産業に於ける労働事情その他の事項を調査せんとするものである。

第三 調査の時期

毎年六月十日現在に於て行はれるのであるが、昭和十六年に限り外地は準備事務其他の關係上八月十日現在で實施した。茲に調査の時期に關して一言すると、内地に於ては昭和十一年の調査迄

は毎回十月十日現在に行はれたのであるが、此は國勢調査の期日を十月一日と定めたのと同様に冬期、夏期等實地調査に不適な時期を避けると共に一箇年を通じて労働者の異動の比較的僅少なる時期を選んだものである。所が其の後厚生省の未経験工に對する賃金規則資料に關する調査は從來五月に實施せられて居つた爲此と時期を同じくするは比較對照上便宜であると共に各學校卒業者が大概六月十日頃迄には就職が決定するし、賃金其の他の労働事情を調べるにも都合のよい關係上、昭和十五年以降は其の調査時期をば六月十日現在に變更して今日に及んだのである。そこで朝鮮に於ても亦之に準據し内地の調査と比較對照上調査期日を同一にした。

第四 調査の範圍

本調査は一定の條件を備へた工場、鑛山、交通事業體及事務所商店に就いてのみ行はれるのであるが、茲で考へなければならぬ事は労働事情に關する一般調査としては單に工場、鑛山、交通事業、事務所商店等の事業體に限らず、農業、山林業、水産業等の原始産業にも及ぼし、以て各産業間の労働事情の差異特色をも比較研究するのが理想的ではないかといふ點である。成程それは尤も

なことであるけれども、併し之が爲にはより莫大なる經費を要する上に更に調査上幾多の困難も豫想せられるので、茲では取り敢へず緊急調査の必要ありと認むる近代産業に限定したわけである。但し、今回調査の範囲に加へられた事務所商店に於ては農業又は水産業の範囲に屬するものでも次に示す条件を具備したものは調査の範囲に含められる。例へば水産組合聯合會とか、農會事務所等で調査當日労働者以外の労働者十人以上を使用して居る場合は假令此が水産業とか農業とかいふやうな原始産業であつても一般の事務所として調査の範囲に入るのである。尙各事業體別の詳細なる説明は規程の解説に譲ることとする。

第五 調査の事項

本調査では調査の客體が事業體と労働者と技術者との三つに分れる關係から、其の調査票も事業票、労働票及技術票の三種に分れて居る。

此の中内地の調査では事業票を更に二種類に分つて居るが、朝鮮では票の内容を幾分變更し調査の複雑を避ける爲一票にて調査することとした。尙各調査票の調査事項は左記の通である。

(一) 事業票

- 一 事業體ノ所在地
- 二 事業體ノ名
- 三 事業ノ種類
- 四 勞務者現在數
- 五 一箇年ノ解雇勞務者(日々雇入ルル者ヲ除ク)數
- 六 一箇月ノ勞務者賃金支拂總額

(二) 勞務票

- 一 氏名
- 二 男女ノ別
- 三 出生ノ年月日
- 四 卒業又ハ修業國民學校(小學校、普通學校其ノ他國民學校ニ準ズルモノヲ含ム)所在地
- 五 配偶者ノ有無
- 六 教育ノ程度

(三) 技術票

- 七 職名
- 八 職歴
- 九 賃金
- 十 就業時間
- 十一 民籍
- 一 氏名
- 二 男女ノ別
- 三 出生ノ年月日
- 四 現技術者、元技術者又ハ技術能力者ノ別
- 五 職名
- 六 教育

次に各票の調査事項の目的等に付いて簡單なる解説を試みやう。

(一) 事業票

一 單位の標識

調査事項中「事業體の名」は單位の標識を示したものであつて一方此等の事業體の重複脱漏を防ぎ、他方検査や再調査の際に於ける便宜の爲であるが、要するに調査の正確を期するに外ならないのである。

二 基礎的調査事項

調査事項第一「事業體の所在地」を調べることにより地方的に見た労働事情の差異を明かにし、第三「事業の種類」に依つて産業別に見た労働事情の差異を知り、第四「勞務者現在數」に依つて事業の規模に依る勞務事情の相違を反映せしむることか出来るのである。

三 労働條件に関する調査事項

調査事項第五「一箇年の解雇勞務者數」、第六「一箇月の勞務者賃金支拂總額」は何れも勞務者調査の本體を爲す労働條件に関する調査項目中、事業主をして申告せしめるを適當とする事項である。即ち各産業別に勞務者に對する労働條件の差異並賃金及産業上より見たる勞務者の異動状態を觀察し得るのである。

(二) 勞務票

一 單位の標識

各人の「氏名」を調査することは事業票の場合と同様である。

二 勞務者の屬性に関する調査事項

勞務票中の(2)乃至(6)は何れも各勞務者の屬性に関する調査事項であつて是等の調査事項と事業票及勞務票中勞働條件に関する調査事項とを關聯せしめ勞務者の各屬性に依り勞働條件が如何に相違するかを、明かにすることが出来る、即ち第二「男女の別」は勞務者の體性に依り勞働條件が如何に相違するかを知らしめ、又第三「出生の年月日」は勞務者の年齢別構成と共に年齢に依る勞働條件の相違點を明白ならしめ、第四「卒業又は修業國民學校所在地」は勞働者の社會的移動を見る爲であり、第五「配偶者の有無」を調査することとに依り固定勞働者の狀況並に生産統計と結びつけて人口政策樹立の基礎資料を得ることが出来るし、第六「教育の程度」は是亦勞働賃金に深い關係をもつものであつて教育上より見たる勞働者の素質を觀察する爲である。

三 勞働條件に関する調査事項

本票の調査事項中「職名」、「職歴」、「賃金」、及「就業時間」等は本調査の核心を爲すも

のであつて、此等のものの中茲に調査せられる賃金は、單に各勞務者が一定の勞働時間に對する賃金の歩合を示す所謂賃金率ではなく、各勞務者が最近の給料日に現實に受け取つた賃金、手當、歩増、賞與等を合算したもの、即ち賃金所得である。尙此を就業時間に關聯せしめて一日當り一時間當りの賃金をも算出することの出来る仕組になつて居る。

以上の外事業票と各調査事項を相互に關聯せしめて多數の重要な事實が明かとなり、産業及勞働事情の現状を反映し、非常時局下社會各般の政策、勞働施設、産業經營上に缺くべからざる基本資料を得ることが出来るのである。

(三) 技 術 票

一 單位の標識

勞務票に同じ

二 勞働者の屬性に關する調査事項

第二「男女の別」第三「出生の年月日」は共に勞務票に述べた通である。第四「現技術者、元技術者又は技術能力者の別」は其の如何により之を第五「職名」に關聯せしめて技術

者の産業別分布の状態を知ることが出来、第六「教育」により各産業別に見た技術者の教育の程度別普及の状態を明ならしめるのである。

第六 調査の機関

調査の機関としては統轄的には朝鮮總督が全部の指揮監督の任に當るのであつて、唯此を大別して一般調査と官營調査とに分つことが出来る。一般調査に於ては國勢調査の場合と同様次の如き系統に依るものである。

朝鮮總督—道知事—
府尹 郡守 島司 邑面長 調査員 副調査員

又官營調査としては次の如き経路を踏むものである。

朝鮮總督—該當所屬官署の長—調査員—副調査員。尙調査員及副調査員の事務執行期間は毎年六月一日より同月二十日迄となつて居るか、各該當事業體に對する實査は特別の場合を除く外、同月十五日迄に完結しなければならぬことに注意を要する。

第七 調査の方法

國勢調査と同様中央集査の方法を採用した。即ち府・邑・面を單位として調査員及副調査員をして實地調査を行はしめ、其の調査票を充分検査の上郡・島・道を経由して本府に申達せしめるのであつて、此の間道以下の官廳では本材料により勝手に必要なる中間集計を爲すことは絶対に止められて居る。

尙準備調査より各調査票を本府へ提出迄の處理期日を表示すれば次表の通である。

朝鮮労働技術統計調査事務進行一覽表

| 指導員、調査員、 副調査員ノ任命 | 副調査員並 | 府 | 邑 | 面 | 郡 | 島 | 道 | 備考 |
|---------------------|--------------------------------------|---|---|---|---|---|-------------------------------|----|
| 勞務者及技術者ノ 調査範圍ノ指定 | 毎年六月五日迄 ニ調査員ハ副調 査員ノ擔當範圍 ヲ指定 | | | | | | 毎年五月二十五 日迄ニ任命シ直 チニ本府へ報告 | |

| 調査票ノ提出 | 調査票ノ検査 | 實 査 | 印刷物ノ交付 | 準備調査 |
|---------------------|------------------------------|-------------------------------|---------------------------|--------------------------------------|
| 毎年六月二十日迄 =府邑面へ提出 | 毎年六月十六日ヨリ 府邑面へ提出迄 検査 | 毎年六月十日現在迄 =依り六月十五日迄 =完了 | 事業票ハ毎年六月九日迄 =事業主へ交付 | 毎年五月十日現在迄 =依り五月二十日現在迄 =準備調査簿作成 |
| 迄 =道郡島へ提出 | 道知事、郡守、島道知事ノ定メタル期間迄 =道へ提出 | | 保存シ其ノ他ハ毎年六月五日迄 =調査員へ交付 | |
| ト共 =道へ提出 | 道知事ノ定メタル期間迄 =道へ提出 | | 速カニ =邑面へ交付 | |
| 本府へ提出 | 本府へ提出迄検査 | | 本府ヨリ受領シ =府郡島へ交付 | |

第八 調査結果の整理

本調査の如く其の内容複雑多岐に亙り整理集計に特殊の技術を要する調査に於ては地方分査を採用することは全く不可能と云つてよいのであつて、凡て中央集査の方法に依つてゐることは前項に

於て述べた通であるが、大體結果表の作成は國勢調査の整理事務と殆ど同様の方法に依り、一部（事業票及技術票）は手分類とし、一部（勞務票）は機械集計として調査年次の翌年三月末日迄に編纂を完了することになつて居る。

第三章 朝鮮労働技術統計調査諸規程の解説

第一 労働技術統計調査令

朝鮮に於ける労働技術統計調査も第一章に於て述べた通大正十一年法律第五十二號に基き實施することとなり、之に關聯して昭和十六年四月二日勅令第三百八十號を以て労働技術統計調査令か公布せられ、更に同年五月二十八日府令第四百十七號を以て、朝鮮労働技術統計調査施行規則の公布を得て本調査に關する根據法規の確立を見たのである。以下此等の諸法規に關し概略解説することとする。

第一條 大正十一年法律第五十二號（昭和十六年勅令第三百七十九號ニ於テ依ル場合ヲ含ム）ニ基キ政府ハ毎年六月十日現在ニ依リ労働及技術ノ統計ニ關スル實地調査（労働技術統計調査）ヲ行フ各年ノ労働技術統計調査ノ名稱ニハ之ヲ行フ年次毎ニ其ノ年號ヲ冠ス

大正十一年法律第五十二號即ち「統計資料實地調査ニ關スル法律」は本書附録に登載してあるが

其の第一條に「政府ハ農業、勞働及技術ニ關スル統計資料蒐集ノ爲必要アルトキハ特ニ期日ヲ定メ全國ニ涉リ又ハ一定ノ區域ヲ劃シテ本法ニ依ル實地調査ヲ行フコトヲ得、前項 實地調査ノ期日、範圍、方法其ノ他必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」とあり、之に基いて毎年六月十日現在に依つて本調査を行ふのであつて其の名稱は例へば「昭和十八年朝鮮勞働技術統計調査」と言ふ様に調査を行ふ年次毎に其の年號を附けるのである。尙本條の初めの括弧書「昭和十六年勅令第三百七十九號」は南洋及關東州の勞働技術統計調査施行に對する勅令である。

第二條 調査ハ官營ニ屬セザル事業體ノ事業主、勞務者及技術者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ付之ヲ行フ

- 一 常時五人以上ノ勞働者ヲ使用シ又ハ五人以上ノ勞働者ヲ使用スル設備ヲ有スル工業事業體（土木建築事業體ヲ除ク）又ハ鑛業事業體ノ事業主
- 二 延人員三百人以上ノ勞働者ヲ使用スル土木建築事業體ノ事業主
- 三 前條ノ期日ニ於テ五人以上ノ勞働者ヲ使用スル運輸事業體ノ事業主
- 四 前條ノ期日ニ於テ勞働者以外ノ勞務者十人以上ヲ使用スル事業體ニシテ工業事業體、鑛業事業體、運輸事業體、農業事業體、水産業事業體、船舶又ハ娛樂興行若ハ接客ニ關スル事業體ニ非ザルモノ（事務所商店）ノ事業主

- 五 前條ノ期日ニ於テ三十人以上ノ勞働者ヲ使用スル第一號乃至第三號ニ規定スル事業體ノ勞務者
- 六 第四號ニ規定スル事業體ノ勞務者
- 七 第一號乃至第四號ニ規定スル事業體ノ技術者

本條では調査の範圍が定められて居るのであるが、官廳直營の事業に付ては別の手續に依るのであつて、此處では民營の事業體に付てのみ規定せられて居るのである。第一に事業主を調査するのであるがこの事業主が調査されるのは次の事業に限るのである。

- (イ) 先づ平常勞働者（家族勞働者は本來調査の範圍外であるが、五人以上の勞働者を使用する設備ありや否やの判定標準には含まれる）を五人以上 使つて居る 工業事業體（土木建築事業體を除く）の事業主と云ふのが客體であるが、現實に使つて居なくても勞働者五人以上を使ふ丈の設備のあるもの例へば工場の機械が五人以上を使用するだけの設備をもつて居るもの又は機械的設備を持つて居ない簡単な作業場であつても現在使用して居る場所の廣さに依り通常五人以上の勞働者を使用し得ると認められる工場も該當するのである。調査客體の判定標準には家族勞働者を含めて居るから極端なことを云へば家族勞働者のみの工場では事業票の勞務者の欄は記入する必要が

ないから(一)事業體の所在地、(二)事業體の名、(三)事業の種類のみ記入し備考欄に「家族労働者のみの工場」と附記する要がある。

(ロ) (イ)と同様の鑛業事業體の事業主

(ハ) 一 工事の完成に延三百人以上の労働者を使ふ工業事業體の中の土木建築事業體の事業主、此の場合調査の時期即ち六月十日が工事進行期間中に含まれて居ると云ふことが原則であつて工事の開始又は終了の時期或は一日の實使用人員等は問題でなく、其の工事の出來上る迄に工事に係した各種の労働者を合計して延三百人以上使用する工事であれば調査を要するのである。延三百人以上を使用するか否かの判定は工事請負人がよく知つて居る筈であるが、苟めにも調査を嫌ひ不實の申告を爲す様なことのない様に工事請負人の眞面目な協力が(注意大正十一年法律第五十二號第四條参照)特に望ましいのである。尙延三百人に成るか否かの状態にある工事に關しては調査員は其の内容を充分實査研究し調査洩の起らぬ様充分注意すべき要がある。

(ニ) 調査期日即ち六月十日に現實に労働者五人以上を使つて居る運輸事業體の事業主、運輸事業は前述の工業、鑛業、とは自ら其の事業の性質が異り毎日使用人員の變動が比較的多いから常時

五人以上の労働者とせず調査期日の六月十日に使用して居る、労働者の實人員に依つたのである。

(ホ) 調査期日即ち六月十日に労働者以外の労働者（労働者の説明は第四條参照）を十人以上使つて居る事務所商店の事業主、此の事務所商店と云ふ言葉は必ずしも適當とは認め難いのであるか、要するに工場や鑛山や運輸事業體の作業現場以外の例へば、各種物品販賣業、物品保管業、會社、銀行等の事務所、販賣所、店舗等がこの範圍に入るのであつて、唯注意せねばならぬことは他の事業體では總て労働者を調査の對象としたが事務所商店では、労働者以外の労働者（第四條参照）を對象として居る點及標準を十人以上として居る點に留意すべきである。

第二は労働者であるが、此の労働者の調査は二通あるのであつて、即ち労働者を個々に調査するのと一括して唯労働者の總數だけを調査するのがあるか、個々に調査するものとしては調査期日である六月十日に現實に労働者を三十人以上使つて居る所謂大規模の工業事業體（土木建築事業體を含む）鑛業事業體並に運輸事業體及六月十日に労働者以外の労働者を十人以上使つて居る事務所商店である。次に調査期日に於て三十人未滿の労働者を使用する工業、鑛業、運輸事業體では労働

者個々の調査は要しないが事業票に依つて勞務者の數は掲出されるから之に依り總數の調査が出来るのである。

第三は技術者であるが前述の法令に依り調査を受けることに決定した工業、鑛業、運輸事業體、事務所商店に居る技術者は一人残らず個々に調査を受けるのであつて勞務者の様に制限がない。尙技術者たる限り事業主たると勞務者たるとを問はず、更に調査範圍外である幹部級事務員の中にも該當技術者（現に技術に従事して居らなくとも元技術者又は技術能力者であれば調査する）があれば、何れも個々に調査されるのであるから此の點特に注意を要する。

以上は調査範圍の概略であるが本調査では農場、果樹園、牧場、林圃等の如き農業事業體、漁場、養殖場等の如き水産事業體の所謂作業現場、劇場、映畫館の如き娛樂興行、旅館、料理屋、飲食店、待合等の如き接客業並に船舶は調査を要しないし官廳、邑面事務所、病院及學校は便宜上調査をしないこととして居る。尙注意を要することは本調査の法令を嚴格に解釋すれば或る鑛山の鑛物發掘現場は鑛業事業體として調査され、其の鑛山の事務所は事務所商店として別々に調査されることになのであるが、此の場合鑛山と鑛山事務所との所在地が接近して居り而も經營上勞務者其の他の關

係に於て分離し難い状態に在るときは、この鑛山と鑛山事務所とは一括して鑛業事業體として調査することになつて居る。又工場に於ても同様であつて、例へば表通に製品の販賣會社があり、之と同一敷地内の裏通に製品の製造工場があり、而も兩者が經營上分離することの出来ない關係にある場合は、各々單獨には調査されず何れか規模の大なる方に吸収調査されるのである。殊に小規模の菓子屋が菓子製造工場と販賣店とを裏表に經營して居る場合の如き、各々單獨に調査するときは勞務者の數が調査範圍の標準に達しない場合も起り得るのであつて、斯の如きは特に一括調査の要があるのである。尙鑛山は黃海道に在り、其の鑛業會社が京城にあるが如く同一會社の經營であつても、所在地が全く離れて居るとか或は近接して居つても兩者が經營上全く分離して居ると云ふ様な場合には鑛山は鑛業事業體として、鑛業會社は事務所商店として別々に調査されることは勿論である。

第三條 本令ニ於テ工業事業體ト稱スルハ左ノ各號ノ一ニ該當スル事業體ヲ謂フ

- 一 一定ノ場所ニ於テ物ノ製造、加工、淨洗、選別、包裝又ハ修理ノ事業ヲ營ムモノ（工場）
- 二 一定ノ場所ニ於テガス、電氣若ハ各種動力ノ發生、變更若ハ傳導ヲ爲ス事業又ハ水道ノ事業ヲ營

ムモノ（ガス電氣水道事業體）

三 土木、建築其ノ他工作物ノ建設、改造、保存、修理、變更、破壞又ハ其ノ準備ノ事業ヲ營ムモノ

（土木建築事業體）

四 船舶（木造船舶ヲ除ク）ノ解體ノ事業ヲ營ムモノ（船舶解體事業體）

本令ニ於テ鑛業事業體ト稱スルハ左ノ各號ノ一ニ該當スル事業體ヲ謂フ

一 鑛業法ノ適用ヲ受クル事業ヲ營ムモノ（採鑛事業體）

二 砂鑛法ノ適用ヲ受クル事業ヲ營ムモノ（砂鑛事業體）

三 土石ヲ採取スル事業ヲ營ムモノ（土石採取事業體）

本令ニ於テ運輸事業ト稱スルハ左ノ各號ノ一ニ該當スル事業體ヲ謂フ

一 地方鐵道法ノ適用ヲ受クル事業ヲ營ムモノ（地方鐵道）

二 軌道法ノ適用ヲ受クル事業ヲ營ムモノ（軌道）

三 索道事業規則ノ適用ヲ受クル事業ヲ營ムモノ（架空索道）

四 自動車交通事業法ニ依ル旅客自動車運輸事業ヲ營ムモノ（乗合自動車運輸事業體）

五 自動車交通事業法ニ依ル旅客自動車運送事業ヲ營ムモノ（旅客自動車運送事業體）

六 自動車交通事業法ニ依ル貨物自動車運送事業ヲ營ムモノ（貨物自動車運送事業體）

七 小運送業法ノ適用ヲ受クル事業ヲ營ムモノ（小運送事業體）

八 前各號ノ事業以外ノ陸上運輸事業ヲ營ムモノ（其ノ他ノ陸上運輸事業體）

九 航空機ニ依リ旅客又ハ貨物ノ運送事業ヲ營ムモノ（航空輸送事業體）
十 回漕業ヲ營ムモノ（回漕事業體）

本條は工業、鑛業、運輸の各事業體の範圍を判然と示したのである。先づ工場とは通俗的に謂ふ物の製造或は加工工場の如きは其の代表的のものであるが、洗濯屋の如き常識的には工場とは思はれぬ様なものでも本調査では之を淨洗事業として工場の範圍に加へて調査され、紙、屑絲の選別所、藥品の詰替所、映畫撮影場（映畫館は調査範圍外）の如きものも同様調査されるし、販賣を目的としない製造工場又は工賃を目的としない加工或は修理工場等も洩れなく調査されるのである。

此の場合注意を要するのは一定の作業場の無いもの、或は山間の炭焼小屋の内でも常に作業場が轉轉と移動する様なものは調査を要しないし、季節工場のように調査の當日に勞務者か一人も居らない工場や全然作業を休んで居る工場は、假令五人以上の勞働者を使ふ設備があつても調査を要しないのである。ガス電氣水道事業體と言ふのは一定の場所でガスの發生を爲す事業とか、發電所、變電所、蓄電所とか上水道の揚水所、淨水場、貯水場等を言ふのであるが此の場合作業現場と分離してゐるガス會社、電氣會社の様な事務所は工場として調査をせず、事務所商店として調査されることは

前にも述べた通である。土木建築事業體と言ふのは條文にある様に土木工事、建築工事は勿論、其他の工作物の建設、改造、保存、修理、變更、破壊事業と此等事業の準備事業迄總て調査の範圍に加へるのであるか只注意を要するのは、鑛業事業體に於ても鑛山と引離すことの出来ない關係にある土木建築工事例へば、或鑛業事業體に於てその土木部又は營繕部等が爲しつある鑛山事務所、附屬病院、クラブ等の建築工事は鑛山に一括して調査し鑛山と分離出来る土木建築工事の如きは、土木建築事業體として鑛山とは別個に調査する取扱となつて居る尤もこのやうな一括調査の能否は、兩事業體が經營上勞務者其他の關係に於て分離出来るか否かに依つて定まるとは勿論である。

船舶解體事業體は木造船舶以外の船舶の解體事業を言ふのである。次に鑛業事業體の説明であるが、以下鑛業事業體及運輸事業體の項に掲げてある各法令は後述の第二十條に基き朝鮮に於ては朝鮮の法令に依ることになつて居る。

扱て鑛業事業體とは採鑛、砂鑛、土石採取の三事業體を謂ふのであつて、採鑛事業體は朝鮮鑛業令第一條に定めてある鑛物、「金鑛、銀鑛、銅鑛、鉛鑛、蒼鉛鑛、錫鑛、安質母尼鑛、水銀鑛、亞鉛鑛、鐵鑛、硫化鐵鑛、格魯謨鐵鑛、滿俺鑛、タングステン鑛、水鉛鑛、砒鑛、ニツケル鑛、コハ

ルト鑛、磷鑛、礪鑛、黑鉛、石炭、石油、土瀝青、硫黃、雲母、石綿、高嶺土、蠟石（滑石ヲ含ム）
明礬石、重晶石、螢石「マグネサイト」、霞石、藍晶石（紅柱石及硅線石ヲ含ム）、硅藻土、稀有元素
ヲ含有スル土石ニシテ朝鮮總督ノ指定シタルモノ」の採掘及之に附屬する事業を營むものを謂ひ、
砂鑛事業體は朝鮮鑛業令第一條に定めてある「硅砂、砂金、砂錫、砂鐵」の採取及其の附屬する事
業を營むものを謂ひ 土石採取事業體とは朝鮮鑛業令の適用を受けない例へば「大理石、花崗岩、
石灰岩、砂利等」の土石採取の事業を營むものを謂ふのである。

次に運輸事業體は之を十事業體に細分して居る。第一號の私設鐵道とは本書の附録に掲載の朝鮮
私設鐵道令（以下關係法令は本書末尾の附録参照）の適用を受けるものを謂ふのであつて、大正九年
府令第七十三號朝鮮專用鐵道規程に規定してある一般交通の用に供しない專用鐵道は含まない。

第二號の軌道は朝鮮輕便鐵道令の適用を受けるものを謂ひ、一般交通の用に供しない軌道やトロ
ツコ又は朝鮮輕便鐵道令に依らないで土砂、木材の運搬作業を行つてゐるものは該當しない。

第三號の架空索道は目下の處朝鮮に於ては該當するものが無いのであつて、將來出來るとして
一般交通の用に供する架空索道のみ調査を要するのである。

第四號の乗合自動車運輸事業體は朝鮮自動車交通事業令に依つて、一般交通の用に供する爲一定路線を定期に運行し旅客を運送する乗合自動車業、つまり俗に云ふ乗合ハスを謂ふのである。

第五號の旅客自動車運送事業體は前述の乗合自動車運輸事業體に該當しないもの、即ちタクシー業、遊覽ハス等の様に朝鮮自動車交通事業令に依り一般の需要に應じて旅客を運送する事業を謂ふのである。

第六號の貨物自動車運送事業體は、朝鮮自動車交通事業令に依つて一般の需要に應じて物品を運送する事業を謂ふのである。

第七號の小運送事業體は朝鮮小運送業令の適用を受け、物品運送の取次及鐵道や軌道等の運送に附隨して或は又此等を利用して物品を運送するものを謂ふのであつて、之を細別すると運送取扱業運送代辦業、附隨運送業、並利用運送業の四種となるのである。

第八號の其の他の陸上運輸事業體は前述の第一號から第七號迄の事業體に該當しないものを謂ひ人力車業、客馬車業、馬力業、貨物積込業、沖仲仕業、濱仲仕業、倉仲仕業、メツセンチャイ等の如きものが之に該るのである。

第九號の航空輸送事業體は航空機に依つて旅客又は貨物の運送事業を爲すものを謂ふのである。
第十號の回漕事業體は運送取扱業の中で主に海上運送の取次を行ふものを謂ふのである。

第四條 本令ニ於テ事業主ト稱スルハ事業體ヲ事實上管理スル者ヲ謂フ

本令ニ於テ勞務者ト稱スルハ他人ニ雇傭セラレ勞働ニ従事スル者（主トシテ家事ニ従事スル者ヲ除ク）ヲ謂フ

本令ニ於テ勞働者ト稱スルハ勞務者中小使、給仕、門衛及寫字、印字、電話交換、物品販賣、作業現場以外ノ運搬配達ニ關スル勞働其ノ他之ニ類スル勞働ニ従事スル者以外ノ者ヲ謂フ

本令ニ於テ技術者ト稱スルハ事業體ニ於テ現ニ技術ニ従事スル者（現技術者）、嘗テ技術ニ従事シタルコトアル者（元技術者）竝ニ内閣總理大臣ノ指定スル學歷ヲ有スル者及内閣總理大臣ノ指定スル資格ニ關スル試験又ハ檢定ノ合格者ニシテ現技術者又ハ元技術者ニ非サルモノ（技術能力者）ヲ謂フ

本條では事業主、勞務者、技術者に對する定義を述べて居るのである。先づ、事業主と謂ふのは事實上其の事業體を管理するものであつて通常は經營者であるが、本調査では工場長、事務所長、出張所長等の様に經營者に代つて事實上事業體を管理してゐる者をも事業主として認めて居るのである。本調査で謂ふ勞務者とは先づ他人に雇はれて勞働に従事すると云ふことが第一條件である。即ち

今少しく難かしい言葉で言へば労働に従事することが雇傭契約に基くものである。従つて家族が自分の家業である製造業や販賣業の労働に従事して居つても勞務者とは言はないのである。又主として家事に従事する者、例へば下男、女中、書生等の如きは勞務者として調査を要しないのである。

次に、勞務者とは労働に従事する者であると云ふが、ここで云ふ労働とは所謂筋肉労働の意味であつて人の肉體的な力を主とする勤勞である。即ち工場、鑛山、運輸事業體では職工、鑛夫、車掌、運轉手、仲仕等は其の代表的のものであり次に銀行、會社、商店では店員、賣子、一般事務雇員、タイヒスト、筆耕、集金人、配達人、電話交換手、守衛、給仕、小使、掃除夫等が之に含まれる。而して特に注意を要するのは、雇傭人の身分、待遇を受ける者ならその名稱の如何を問はず又常傭であらうと日傭であらうと差支ない、と云ふ風に本年から改正されたのである。此點が前二回の調査と趣を異にし其の範圍が擴張されたのであつて、即ち一般事務員の内でも雇傭員の待遇を受けて居る者であれば、假令後方勤務の算盤や簿記や計算事務をやつて居る様な者でも調査されるのであるから此の解釋から謂へば、特に事務所商店の店員、事務員の大部分は調査の範圍に加へられることとなるのであつて、前二回の調査に比して著しく勞務者の數が増加することとなるであらう。次に第

二條のところ、事務所商店の調査は、調査期日に労働者以外の勞務者十人以上を使用する事業體は總て調査すると云ふ様に、労働者と労働者以外の勞務者とを使ひ分けて居るが、これは本調査では調査の範圍を決めたり其他調査を行ふ上に非常に重要な役割を爲すものであつて、兩者の區分につき以下説明を加へることとする。先づ本調査では労働者を「労働者」と「労働者以外の勞務者」とに區分して居るのである。

一 労働者、職工、鑛夫、運轉手、車掌、仲仕等の様に直接間接に工場、鑛山、運輸事業場等の本來の作業に従事してゐる者であればその名稱の如何を問はないのである。従つて労働の内容が假りに事務所内に居る者でも、工場、鑛山、運輸事業體等の本來の作業に従事するものであれば労働者であることに變りはない。此の點は前に述べた二つの性質の異なる事業體が分離出来ない状態にある場合一括調査することになつて居つたが、此等の吸收調査された客體の内には純然たる労働者の居らないと思ふ事業體にも労働者の居る場合があることに想ひを致すべきである。尙工場、鑛山、運輸事業場等の本來の作業に従事して居らない者は、常識的に相當烈しい筋肉労働に従事して居つても労働者とは見ないのが本調査の特色である。例へば道路の清掃人夫、清潔夫の如き

代表的の者である。

二 労働者以外の勞務者、勞務者の中から前述の労働者を除いた者を謂ふのであつて之を細別すれば、

(イ) 物品の販賣、その他これに類する労働に従事する店員、賣子、外交員、注文取、集金人、御用聞等

(ロ) 場屋、物品の監守、その他これに類する労働に従事する門衛、看守、下足番等

(ハ) 小使、給仕、その他これに類する労働に従事する受付人、取次人、案内人等

(ニ) 場屋、道路の清掃、その他これに類する労働に従事する清潔夫、掃除夫等

(ホ) 寫字、印字、電話交換、その他これに類する労働に従事する一般事務員、タイピスト、筆耕、電話交換手等

(ヘ) 作業現場以外の物の運搬配達、其他これに類する労働に従事する配達人、運搬人、ポーター等
尙序に此の項で附言して置きたいことは第二條のところの説明した様に、工業、鑛業、運輸事業體では「労働者」の人數に依つて調査の客體が決定され、事務所商店では「労働者以外の勞務者」の

人數に依つて其の事業體が調査されるかされなかが決まるのであるが、此處で注意を要するのは、例へば或る工場が調査を受けることになつた以上は、其處に在る「労働者」は勿論「労働者以外の勞務者」をも調査より洩らしてはならないのであり、又之に反して或る事務所又は商店が調査されることに決まれば其處に在る「労働者以外の勞務者」は勿論「労働者」をも調査より洩らしてはならないのである。

次は技術者であるが、この調査では技術者を現技術者（現に技術方面の事務に従事して居る者）元技術者（現在は技術方面の事務に従事して居らないが嘗て従事したことのある者）技術能力者（現在に於ても過去に於ても技術方面の事務に従事したことはないが、次に示す朝鮮總督が指定する學歷のある者、或は朝鮮總督が指定する資格試験及檢定に合格して居る者）の三つに分けて居るのである。

従つて調査事業體に現に技術者として勤めて居る者ばかりでなく、事業主、職員、勞務者の中にも技術者があることは前にも述べた通である。

一 現技術者 醫學や工学や理學や農學の知識を實地に應用する工場や鑛山や、運輸事業等の事務

工程の管理、各種の設計、工事の見積或は検査、作業、醫療衛生、研究等の業務に現に従事してゐるか又は其の指導監督に従事してゐる者を謂ふのである。

唯此の場合、技術者の判定は非常に難かしいのであるが、主として其の事業體に於ける身分待遇等に依つて決定されるのであつて、勞務者と區分された待遇を受けて技術に従事し又は技術の指導監督に従事することを本態とする者を謂ふのであり、必ずしも學歷ばかりには依らないのである。即ち技師長、技師、技師補、技手、技手補等の名稱をつけられてゐる者は當然技術者として取扱ふが、假令二十年以上も同一工場に職工として勤務し職長とか、伍長とか、班長とか云ふ様な所謂役付工になつて居つても此は依然職工即ち勞務者として見て技術者としては取扱はないのである。

二 元技術者 現在は技術者ではないが以前に技術に従事したことがある者を謂ふのであつて、例へば現在は支配人であるが前は電氣技術者であつたとか、或は極端の例としては現在は鑛夫であるが、前は機械技術者であつたとかと言ふ様なのが之に該るのである。

三 技術能力者 現在は勿論過去に於ても技術者で無かつた者、即ち現技術者でも元技術者でもないか技術者としての立派な資格をもつて居るものを言ふのである。其の資格と云ふのは次に掲げ

る「朝鮮總督ノ指定スル學歷」をもつてゐる者や、「朝鮮總督ノ指定スル資格ニ關スル試験又ハ檢定」の合格者である。

◎勞働技術統計調査令第四條第四項ノ規定ニ依ル學歷並ニ資格

ニ關スル試験及檢定ノ指定

(昭和十六年五月二十八日
朝鮮總督府告示第七百六十號)

學歷ニ關スルモノ

- 一 工業學校、農業學校、商船學校、水産學校及技術ニ關スル職業學校ニシテ國民學校初等科修了程度ヲ入學資格トシ修業年限五年以上ノモノ、國民學校高等科修了程度ヲ入學資格トシ修業年限三年(夜間授業ノモノニ在リテハ四年)以上ノモノ及入學資格修業年限ニ於テ此等ト同等ト認ムベキモノ並ニ此等ニ準スル各種學校ノ卒業
- 二 工業、鑛業、農業、林業、獸醫學、水産、商船、理學、醫學、齒科醫學及藥學ニ關スル專門學校(實業專門學校ヲ含ム)ノ卒業又ハ二年以上ノ修業及此等ノ學校ニ於ケル修業年限二年以上ノ選科、別科、特科等ノ修了又ハ二年以上ノ修業並ニ此等ノ學校ニ準ズル各種學校ノ卒業又ハ二年以上ノ修業
- 三 師範學校、中學校、高等女學校又ハ第一號ノ學校卒業程度以上ヲ入學資格トスル講習所、養成所、練習所等ニ於ケル技術ニ關スル實習及學科ノ二年以上ノ修業
- 四 醫學、工學、理學及農學ニ關スル大學ノ卒業又ハ一年以上ノ修業

- 五 内地、臺灣、關東州、樺太、南洋群島及外國ノ學校ノ卒業又ハ修業ニシテ前各號ノ一ニ準ズルモノ
- 六 左ニ掲クル陸海軍ノ學校ノ修了
- (イ) 陸軍通信學校ノ生徒ノ課程ノ修了
- (ロ) 陸軍航空通信學校ノ生徒（水戸陸軍飛行學校ノ通信生徒ヲ含ム）ノ課程ノ修了
- (ハ) 陸軍航空技術學校ノ學生（所澤陸軍飛行學校ノ機關學生ヲ含ム）ノ課程ノ修了
- (ニ) 陸軍航空整備學校ノ生徒（技術生徒ヲ含ム）ノ課程ノ修了
- (ホ) 陸軍兵器學校ノ丙種學生、丁種學生又ハ生徒（陸軍工科學校ノ學生又ハ生徒ヲ含ム）ノ課程ノ修了
- (ト) 海軍機關學校ノ學生又ハ生徒ノ教程ノ修了
- (ト) 海軍工機學校及海軍通信學校ノ學生又ハ練習生（普通科練習生ヲ除ク）ノ教程ノ修了
- (チ) 海軍練習航空隊ノ整備術ニ關スル學生又ハ練習生（普通科練習生ヲ除ク）ノ教程ノ修了
- 資格ニ關スル試験及檢定ニ關スルモノ
- 一 大正十四年文部省令第三十號實業學校卒業程度檢定規程ニ依ル檢定（商業學校卒業程度ノモノヲ除ク）
- 二 航空法第十六條ノ規定ニ依ル考查
- 三 昭和七年逡信省令第五十四號電氣事業主任技術者資格檢定規則ニ依ル電氣事業主任技術者ノ資格檢定

- 四 大正十四年^{商工内務}省令瓦斯事業法施行規則第四十五條ノ規定ニ依ル詮衡
- 五 銃砲火藥類取締令施行規則第四十八條ノ規定ニ依ル詮衡
- 六 明治四十四年内務省令第二號銃砲火藥類取締法施行細則第四條及第六條ノ二ノ規定ニ依ル詮衡
- 七 昭和十一年内務省令第二十三號壓縮瓦斯及液化瓦斯取締法施行令第十一條ノ規定ニ依ル詮衡
- 八 無線通信士資格檢定規則ニ依ル無線通信士ノ資格檢定
- 九 昭和六年選信省令第八號無線通信士資格檢定規則ニ依ル無線通信士ノ資格檢定
- 十 醫師試驗規則ニ依ル試驗
- 十一 大正二年文部省令第二十七號醫師試驗規則ニ依ル試驗
- 十二 齒科醫師試驗規則ニ依ル試驗
- 十三 大正二年文部省令第二十八號齒科醫師試驗規則ニ依ル試驗
- 十四 藥劑師試驗規則ニ依ル試驗
- 十五 大正二年文部省令第二十九號藥劑師試驗規則ニ依ル試驗
- 十六 朝鮮獸醫師規則ニ依ル免許
- 十七 昭和十三年農林省令第十二號獸醫師試驗規則ニ依ル試驗(明治三十七年農商務省令第十四號獸醫師、蹄鐵工免許試驗規則ニ依ル獸醫師免許試驗ヲ含ム)
- 十八 大正八年文部省令第十號高等學校教員規程ニ依ル物理又ハ化學ノ教員檢定
- 十九 明治四十一年文部省令第三十二號師範學校中學校高等女學校教員檢定規程ニ依ル物理又ハ化學ノ

教員檢定

- 二十 大正十一年文部省令第四號實業學校教員檢定ニ關スル規程ニ依ル教員檢定（商業ニ關スル學科ニ係ルモノヲ除ク）
- 二十一 昭和十五年遞信省令第十三號電氣通信技術者資格檢定規則ニ依ル電氣通信技術者ノ資格檢定
- 二十二 昭和十五年厚生省令第八號機械技術者檢定規則ニ依ル檢定

右の指定の内學歷に關するもの、一は、甲種程度の中等實業學校の卒業者のことであり、二は、實業専門學校卒業者或は二年以上の修業者のことである。三は、大體専門程度の講習所等の場合であり、四は、大學で一年以上技術方面の學問を修業した者であつて、例へば中學校より高等學校を経て大學理工學部を卒業するか又は一年以上修業した者である。五は、朝鮮外の學校の卒業者又は修業者を謂ひ、六は、陸海軍の諸學校の修了者である。

次に資格に關する試験及檢定中注意を要するのは、五、八、十、十二、十四、十六は、朝鮮の法令に基くものであり、其の他は全部内地の法令に依るものである。

尙此の項で、第二條、三條並に第四條を總括した調査範圍一覽表を掲載することとする。

調査範圍一覽表

| 事業體 | 事業主 | 技術者 | 勞務者 |
|---|---|-----------|--|
| <p>一、工業事業體 工場 ガス電氣水道事業體 船舶解體事業體 土木建築事業體</p> | <p>常時五人以上ノ 労働者ヲ使用シ 又ハ五人以上ノ 労働者ヲ使用ス 又ハ五人以上ノ 労働者ヲ使用ス モノ</p> | <p>同上</p> | <p>常時五人以上ノ労働者ヲ使用シ又ハ五人以上ノ労働者ヲ使用スル設備ヲ有スル事業體ノ勞務者ニ付テハ事業主ト共ニ事業票ニ依リ總括的ニ調査ス 但シ調査期日ニ於テ三十人以上ノ労働者ヲ使用スル事業體ノ勞務者ニ付テハ別ニ勞務票ニ依リ個々ニ調査ス 延人員三百人以上ノ労働者ヲ使用スル土木建築工事ノ勞務者ニ付テハ事業主ト共ニ事業票ニ依リ總括的ニ調査ス 但シ調査期日ニ於テ三十人以上ノ労働者ヲ使用スルモノニ付テハ別ニ勞務票ニ依リ個々ニ調査ス</p> |
| <p>二、鑛業事業體 採鑛事業體 砂鑛事業體</p> | <p>常時五人以上ノ 労働者ヲ使用シ 又ハ五人以上ノ 労働者ヲ使用ス</p> | <p>同上</p> | <p>常時五人以上ノ労働者ヲ使用シ又ハ五人以上ノ労働者ヲ使用スル設備ヲ有スル事業體ノ勞務者ニ付テハ事業主ト共ニ事業票ニ依リ總括的ニ調査ス</p> |

| | |
|--|---|
| <p>三、運輸事業體 私設鐵道 軌道 架空索道 乘合自動車運送事業體 旅客自動車運送事業體 貨物自動車運送事業體 小運送事業體 其他陸上運輸事業體 航空送事業體 回漕事業體</p> | <p>土石採取事業體 ル設備ヲ有スルモノ</p> |
| <p>四、事務所商店</p> | <p>同上</p> |
| <p>調査期日ニ於テ 労働者以外ノ勞 務者十人以上ヲ 使用スルモノ</p> | <p>調査期日ニ於テ 労働者以外ノ勞 務者十人以上ヲ 使用スルモノ</p> |
| <p>調査期日ニ於テ 労働者以外ノ勞 務者十人以上ヲ 使用スル事務所 商店ノ労働者ニ 付テハ別ニ勞務 票ニ依リ個々 ニ調査ス</p> | <p>但シ調査期日ニ 於テ三十人以上 ノ労働者ヲ使用 スル事業體ノ勞 務者ニ付テハ別 ニ勞務票ニ依リ 個々ニ調査ス</p> |

第五條 事業主ニ付テハ左ノ事項ヲ調査ス

一 事業體ノ所在地

二 事業體ノ名

-
- 三 事業ノ種類
 - 四 勞務者現在數
 - 五 一箇年ノ解雇勞務者(日々雇入ルル者ヲ除ク)數
 - 六 一箇月ノ勞務者賃金支拂總額
- 勞務者ニ付テハ左ノ事項ヲ調査ス
- 一 氏名
 - 二 男女ノ別
 - 三 出生ノ年月日
 - 四 卒業シタル(卒業セザル者ニ付テハ最後ニ修業シタルトス)國民學校(小學校其ノ他國民學校ニ準ズルモノヲ含ム)ノ所在地
 - 五 配偶者ノ有無
 - 六 教育ノ程度
 - 七 職名
 - 八 職歴
-

九 賃金

十 就業時間

十一 民籍

技術者ニ付テハ左ノ事項ヲ調査ス

一 氏名

二 男女ノ別

三 出生ノ年月日

四 現技術者、元技術者又ハ技術能力者ノ別

五 職名

六 教育

本條の説明は記入心得の項に譲ることとするが、只勞務者の調査事項中朝鮮では、

④卒業したる國民學校の所在地

⑤配偶者の有無

⑥教育の程度の三項目は、勞働技術統計調査令第二十一條に基き朝鮮勞働技術統計調査施行規則

の附則に依り昭和十六年及昭和十七年には調査を行はなかつたのであるが、昭和十八年よりは内地同様之が調査を行ふのである。

第六條 調査ハ各事業體ニ就キ之ヲ行フ但シ調査ノ際事業體ニ出勤セザル者ニ付テハ其ノ居所ニ就キ之ヲ行フコトヲ得

調査は各事業體に就いて行ふのであるが、若し事業主、勞務者、技術者が調査の際に事業體に出勤して居ない場合は便宜其の居所で調査を行ふことが出来ると謂ふのであるが、之は日傭勞働者の如く毎日其の勤務場所を變更する様な者には適用されないのである。

第七條 事業主ハ第五條第一項各號ノ事項ヲ 勞務者ハ同條第二項各號ノ事項ヲ、技術者ハ同條第三項各號ノ事項ヲ申告スル義務アルモノトス

事業主、勞務者、技術者が率先して正しい申告をする様に法令に依つて申告の義務を判然としたのである。

第八條乃至第十九條は本令第二十二條の規定に依り朝鮮には適用されないの之を省略する。

第二十條 第三條中鑛業法ノ適用ヲ受クル事業トアルハ朝鮮、臺灣、關東州及南洋群島ニ於テ、砂鑛法ノ適用ヲ受クル事業トアルハ朝鮮、臺灣、關東州及南洋群島ニ於テ、地方鐵道法ノ適用ヲ受クル事業トアルハ朝鮮、臺灣、關東州及南洋群島ニ於テ、軌道法ノ適用ヲ受クル事業トアルハ朝鮮、臺灣、關東州、樺太及南洋群島ニ於テ、自動車交通事業法ニ依ル旅客自動車運送事業トアルハ朝鮮、關東州、樺太及南洋群島ニ於テ、自動車交通事業法ニ依ル旅客自動車運送事業トアルハ朝鮮、關東州、樺太及南洋群島ニ於テ、小運送業法ノ適用ヲ受クル事業トアルハ朝鮮、關東州、樺太及南洋群島ニ於テ各其ノ事業ニ準ズベキモノヲ謂フ

第四條第四項中内閣總理大臣トアルハ朝鮮、臺灣、關東州、樺太及南洋群島ニ於テハ各朝鮮總督、臺灣總督、滿洲國駐劄特命全權大使、樺太廳長官又ハ南洋廳長官トス

前項ノ規定ニ依リ朝鮮總督、臺灣總督、滿洲國駐劄特命全權大使、樺太廳長官又ハ南洋廳長官學歷又ハ資格ニ關スル試験若ハ檢定ヲ指定セントスルトキハ内閣總理大臣ノ承認ヲ受クヘシ

本條の第一項は、前に第三條の項で説明した通本調査施行上必要なる法令中朝鮮及各外地は夫々内地の法令に據らず各外地の法令に據ることを示したのであり、第二項は第四條第四項中の内閣總理大臣の職權を夫々朝鮮總督其の他の者に委任したものであり、第三項の「學歷又ハ資格ニ關スル試験若ハ檢定」の指定は内閣總理大臣の承認を受けねばならぬことを規定したものである。

第二十一條 朝鮮、臺灣、關東州、樺太及南洋群島ニ於テ必要アルトキハ各朝鮮總督、臺灣總督、滿洲國駐劄特命全權大使、樺太廳長官又ハ南洋廳長官内閣總理大臣ノ承認ヲ受ケ第一條乃至第三條及第五條ノ規定ニ拘ラズ調査ノ時期、範圍及事項ニ關シ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第二十二條 朝鮮、臺灣、關東州、樺太及南洋群島ニ於ケル勞働技術統計調査ノ執行ニ關シテハ第八條乃至第十九條ノ規定ヲ適用セズ各朝鮮總督、臺灣總督、滿洲國駐劄特命全權大使、樺太廳長官又ハ南洋廳長官ニ於テ内閣總理大臣ノ承認ヲ受ケ別ニ其ノ手續ヲ定ム

第二十一條及第二十二條は内地法令に依らず各外地毎に必要な法令を定むべき場合は何れも内閣總理大臣の承認を受くべきことを規定したものである。

而して勞働技術統計調査令第八條乃至第十九條の規定は朝鮮には適用されないから、其の手續は次に説明する朝鮮勞働技術統計調査施行規則に依つて規定されて居るのである。

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
勞働統計實地調査令ハ之ヲ廢止ス

第二 朝鮮勞働技術統計調査施行規則

(昭和十六年五月二十八日)
朝鮮總督府令第四百七十七號

四八

第一條 朝鮮ニ於ケル勞働技術統計調査ハ勞働技術統計調査令(以下調査令ト稱ス)ニ依ルモノノ本外令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 道知事ハ朝鮮總督ノ、郡守及島司ハ道知事ノ命ヲ承ケ管轄區域内ノ事業體ニ關スル調査ノ執行ヲ指揮監督ス

第三條 二以上ノ道又ハ郡島ニ跨ル事業體ニ付テハ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事又ハ郡守島司前條ノ職權ヲ行フ

第四條 府尹ハ道知事ノ、邑面長ハ郡守又ハ島司ノ指揮監督ヲ承ケ管轄區域内ノ事業體ニ關スル調査ノ執行ヲ管掌ス

(略)

第五條 事業體ノ所在地二以上ノ府邑面ニ跨リ調査ニ關スル所屬分明ナラザルモノアルトキハ關係府尹

邑面長ハ協議ノ上其ノ所屬ヲ定ムベシ協議調ハザルトキハ道知事又ハ朝鮮總督之ヲ指定ス

第三條の場合と大體同様で府邑面間に於ける事業體の所屬に關する規定であるが、府邑面間に於ける協定が調はない場合は道知事、各道間に於て問題が起つて解決し得ない場合は朝鮮總督が之を指定することになつて居るが、過去二回の調査に於て如斯事象は一件も起らなかつたことを茲に附言して置く。

第六條 調査ノ事務ノ執行ヲ指導セシムル爲必要アルトキハ道府郡島邑面ニ勞働技術統計調査指導員

(以下指導員ト稱ス)ヲ置クコトヲ得

大體前回の調査に於ては左記の如き割合に指導員が置かれて居る。

記

| | |
|---------|------------------|
| 京 畿 道 | 二九七 ^人 |
| 忠 清 北 道 | 一八三 |
| 忠 清 南 道 | 四一 |
| 全 羅 北 道 | 一〇三 |

| | |
|------|-----|
| 全羅南道 | 二 |
| 慶尙北道 | 一〇二 |
| 慶尙南道 | 二七九 |
| 黃海道 | 一六五 |
| 平安南道 | 二五八 |
| 平安北道 | 三六 |
| 江原道 | 三四七 |
| 咸鏡南道 | 二七五 |
| 咸鏡北道 | 一五九 |

第七條 調査ノ事務ヲ執行セシムル爲府邑面ニ勞働技術統計調査員（以下調査員ト稱ス）及勞働技術統計副調査員（以下副調査員ト稱ス）ヲ置ク

調査員は原則として一事業體毎に一人を置くのであるが、小規模の事業體では數事業體を通じて

一人の調査員を置いても差支なく、又副調査員は勞務者五十人以上を使つてゐる様な大きな事業體で置くこととなつて居るのである。

第八條 指導員、調査員及副調査員ハ毎年道知事ノ推薦ニ依リ朝鮮總督之ヲ命ズ

指導員、調査員及副調査員ハ名譽職トス

第九條 調査員又ハ副調査員故障アルトキハ府尹邑面長ハ之ニ代ルベキ適當ノ者ヲ選任シ其ノ職務ヲ執行セシムベシ

第十條 調査員及副調査員ハ府尹邑面長ノ指揮監督ヲ承ケ事業票用紙、勞務票用紙及技術票用紙ノ配付、事業票、勞務票及技術票ノ蒐集、調査事項ニ關スル質問記入其ノ他之ニ伴フ諸般ノ事務ヲ執行ス

(略)

第十一條 調査員及副調査員其ノ職務ヲ執行スル期間ハ毎年六月一日ヨリ同月二十日迄トス但シ調査事項ニ關シ質問ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

本條の詳細なる説明は次の朝鮮勞働技術統計調査施行細則の第三章以下に於て記述することとする。

第十二條 天災事變其ノ他已ムヲ得ザル事故ノ爲調査員及副調査員前條ノ期間内ニ其ノ職務ヲ執行シ又ハ之ヲ完結スルコト能ハザルトキハ府尹邑面長ハ該事故アル事業體ニ限り其ノ期間ヲ十日以内延長スルコトヲ得

(略)

第十三條 事業票用紙、勞務票用紙及技術票用紙ハ夫々別表第一號様式、別表第二號様式及別表第三號様式ニ依ル

本條各様式の説明は記入心得の項に譲ることとする。

第十四條 事業主ハ事業票用紙ニ各調査事項ヲ記入シ署名又ハ捺印ノ上調査期日後五日以内ニ之ヲ調査員ニ提出スベシ

署名又は捺印とあるが普通の場合捺印を主とすべきであり、署名は外國人以外は印判を紛失した等特別の場合を除き大體に於て無いものと考へて差支ないのである。

第十五條 調査員又ハ副調査員ハ勞務者又ハ技術者ニ就キ各調査事項ヲ問ヒ其ノ申告ニ基キ勞務票用紙又ハ技術票用紙ニ記入シ之ヲ勞務者又ハ技術者ニ示スベシ勞務者又ハ技術者ハ自己ノ勞務票又ハ技術票ノ記入事項ニ誤謬ナシト認メタルトキハ之ニ署名又ハ捺印スベシ

勞働者又は技術者の申告に基く記入事項を安心のゆく迄明示して、若し讀むことの出来ない者には讀み聞かせて充分其の納得を得て捺印させると云ふことが調査の正確を期する上に最も大切なことである。又此の場合の署名、捺印についても印判が創氏以前のものであつても便宜之を認めて居るし、又拇印も之を認めて居るから署名の場合は殆どないと考へて差支ないのである。

第十六條 調査員又ハ副調査員ハ調査期日後五日以内ニ前條ノ事務ヲ完結スベシ

調査期日後五日以内と云ふのは調査期日の翌日から五日以内の意であり、即ち六月十五日迄に事務を完結するのである。

第十七條 調査期日後五日ヲ經過スルモ居所不明其ノ他ノ事由ニ因リ調査不能ノ勞務者又ハ技術者アルトキハ調査員又ハ副調査員ハ勞務票用紙又ハ技術票用紙ニ調査不能ト記入スベシ

六月十五日を経過しても尙行先不明とか或は其の他の事由で調査が出来ない場合があつても、氏名とか、男女の別とか、幾分でも記入の出来るものは出来るだけ記入し、愈々不明なものは勞務票用紙又は技術票用紙の當該欄に「調査不能」と書くと言ふのであるが、この「調査不能」の取扱は事務整理上非常に支障があるから萬已むを得ないものに限つて書くこととし、尙「調査不能」の理由を調査欄餘白に詳しく書くと言ふ取扱になつて居る。

第十八條 府尹邑面長ハ調査漏ノ事業體アリト認メタルトキハ調査員ヲシテ速ニ調査ヲ爲サシメ又ハ便宜ノ方法ニ依リ之ヲ調査スベシ

萬一調査漏の事業體があつた場合には、府尹邑面長は早速該事業體最寄りの調査員に調査をさせるか、急を要する場合又は調査員に適當の者が無かつた場合は、便宜府尹邑面職員等に調査をさせると言ふのである。

第十九條 官營ニ屬スル工業事業體及鐵業事業體並ニ逓信局所管ノ郵便、電信及電話ノ事業ニ關シテハ調査令及本令ニ準ジテ其ノ調査ヲ行フ其ノ手續ハ別ニ之ヲ定ム

附 則

朝鮮ニ於ケル勞働技術統計調査ハ昭和十六年ニ限り八月十日現在ニ依リ之ヲ行フ
第十一條中六月一日トアルハ昭和十六年ニ限り八月一日トス
調査令第五條第二項第四號乃至第六號ノ規定ハ朝鮮ニ於テハ昭和十六年及昭和十七年ニ限り之ヲ適用
セズ

(略)

第三 朝鮮勞働技術統計調査施行細則

本細則は昭和十六年五月二十八日朝鮮總督府訓令第六十三號を以て公布せられたものであつて、
大體條文の通で別に解説を要しないが多少疑問と思はれる様な點のみに付いて説明を加へることと
する。

第一章 勞働技術統計調査指導員、勞働技術統計調査員及勞働技術統計副調

査員ノ選任及職務執行期間

第一條 勞働技術統計調査員(以下調査員ト稱ス)ハ各事業體ニ一人ヲ置ク但シ情況ニ依リ數事業體ヲ通
シテ一人ノ調査員ヲ置クコトヲ得

勞務者五十人未滿の事業體に對する調査員の割當を示したのであるが、極めて小規模の事業體が密集して居るやうな場合には、一人の調査員が數事業體を一括調査する場合もある。

第二條 勞務者五十人以上ヲ使用スル事業體ニ在リテハ凡ソ勞務者五十人毎ニ一人ノ割合ヲ以テ勞働技
術統計副調査員(以下副調査員ト稱ス)ヲ置ク但シ情況ニ依リ増減スルコトヲ得

凡そ勞務者五十人毎に一人の割合を以て副調査員を置くとあるは、例へば勞務者百人の事業體では調査員が勞務者五十人を受持ち、残りの勞務者五十人に對して大體副調査員一名を置くと云ふ意味であつて、假りに百四十五人の處では之を三分して一人の調査員と二人の副調査員とが受持つて差支ない、又六十人の勞務者に對し無理に副調査員を設ける必要はないのであつて、要するに大體の標準を示したのであるから、要は調査が漏なく圓滑に實施されるならば其處に幾分の融通は認められて居るのである。

第三條 道知事ハ道府郡島邑面ノ職員其ノ他ノ者ノ中ヨリ勞働技術統計調査指導員タルニ適當ト認ムル者ヲ、事業體ノ事業主、職員其ノ他ノ者ノ中ヨリ調査員タルニ適當ト認ムル者ヲ、事業體ノ職員、勞務者ノ中ヨリ副調査員タルニ適當ト認ムル者ヲ選定シ五月二十五日迄ニ別表第一號様式ニ依リ朝鮮總督ニ内申スベシ

指導員、調査員、副調査員の任命内申は道知事から總督宛は五月二十五日迄となつてゐるから、郡守、島司、府尹、邑面長は夫々所轄道知事の定めた期限迄に遅れない様に内申を要する譯である。

第四條 調査員及副調査員の任命アリタルトキハ府尹邑面長ハ調査員及副調査員の擔當スベキ事業體ヲ指定スベシ

第五條 府尹邑面長朝鮮勞働技術統計調査施行規則(以下規則ト稱ス)第九條ノ規定ニ依リ調査員又ハ副調査員ノ職務ヲ執行スル者ヲ選任シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ府尹ニ在リテハ道知事ニ、邑面長ニ在リテハ郡守又ハ島司ニ報告スベシ

郡守又ハ島司前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ道知事ニ報告スベシ

第六條 天災事變共ノ他已ムヲ得ザル事故ノ爲調査員及副調査員規則第十一條ノ期間内ニ其ノ職務ノ執行ヲ完結スルコト能ハザルトキハ直ニ其ノ旨ヲ府尹邑面長ニ申出デ指揮ヲ請フベシ

第七條 府尹邑面長規則第十二條ノ規定ニ依リ同第十一條ノ期間ヲ延長シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ府尹

ニ在リテハ道知事ニ、邑面長ニ在リテハ郡守又ハ島司ニ報告スベシ

郡守又ハ島司前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ道知事ニ報告スベシ

第八條 道知事前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

(略)

第二章 準備調査

第九條 府尹邑面長ハ準備調査トシテ五月十日現在ニ依リ其ノ管轄区域内ニ於テ勞働技術統計調査令

(以下令ト稱ス)第二條ノ規定ニ該當スル各事業體ニ就キ同月二十日迄ニ左ノ事項ヲ調査シ工業事業體、採鑛事業體及砂鑛事業體、土石採取事業體、運輸事業體竝ニ令第二條第四號ニ規定スル事業體(事務所商店)各別ニ番號ヲ定メ別表第二號様式ノ準備調査簿ヲ作成スベシ

- 一 事業體ノ所在地
- 二 事業體ノ名
- 三 事業體ノ勞務者數、勞働者數及技術者數

府尹、邑面長は前に調査令第二條の項で説明した調査範圍に依つて管内の該當事業體に對して、五月十日現在に依つて五月二十日迄に準備調査を行ふのであるが、特にこの準備調査は最も重要にして本調査の基本を爲すものであるから嚴格に而も漏なく行ふ必要があるのである。

第十條 府尹邑面長ハ準備調査後調査期日迄ニ事業體ノ新設、廢業其ノ他ノ事由ニ依リ調査スベキ事業體ニ異動アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ都度準備調査簿ヲ訂正スベシ

準備調査簿は各要計表記載の事業體の種類別に六種類に作成せられるのであつて、事業體の新設の場合は準備調査簿の番號は最終番號の次番號より順次記入することとし、廢業等の場合は準備調

査簿の番號を事業票其の他に移記後であれば缺番とし、移記前であれば訂正する取扱である。
(準備調査簿様式は六七頁参照のこと)

第十一條 調査員ハ其ノ擔當スル事業體ニ現在スル勞務者及技術者ニ付六月五日迄ニ副調査員ノ分擔スベキ範圍ヲ指定シ之ヲ副調査員ニ通知スベシ

(略)

第三章 事業票用紙、勞務票用紙及技術票用紙其ノ他ノ印刷物ノ交付

第十二條 道知事ハ朝鮮總督ヨリ事業票用紙、勞務票用紙及技術票用紙其ノ他ノ印刷物ノ交付ヲ受ケタルトキハ其ノ一部分ヲ豫備ノ爲保存シ其ノ他ハ速ニ之ヲ府尹、郡守又ハ島司ニ交付スベシ

豫備の爲保存すべき用紙は凡そ一割位が適當である。

第十三條 郡守及島司道知事ヨリ事業票用紙、勞務票用紙及技術票用紙其ノ他ノ印刷物ノ交付ヲ受ケタルトキハ其ノ一部分ヲ豫備ノ爲保存シ其ノ他ハ速ニ之ヲ邑面長ニ交付スベシ

第十四條 府尹邑面長ハ道知事、郡守又ハ島司ヨリ事業票用紙、勞務票用紙及技術票用紙其ノ他ノ印刷物ノ交付ヲ受ケタルトキハ其ノ一部分ヲ豫備ノ爲保存シ其ノ他ハ六月五日迄ニ適當ノ方法ニ依リ之ヲ調査員ニ交付スベシ

(略)

第十五條 府尹邑面長ハ事業票用紙ヲ調査員ニ交付スルニ當リ準備調査簿ノ番號及道府郡島邑面名ヲ各票ニ記入スルト共ニ工業事業體ニ關スルモノニ付テハ㊶、採鑛事業體及砂鑛事業體ニ關スルモノニ付テハ㊷、土石採取事業體ニ關スルモノニ付テハ㊸、運輸事業體ニ關スルモノニ付テハ㊹、令第二條第四號ニ規定スル事業體(事務所商店)ニ關スルモノニ付テハ㊺ノ記號ヲ附スベシ

㊻は土石採取事業體に關するものに附すべき記號であるが、前回調査には土木建築事業體に附したものが相當あつた。之は土木建築事業體の上の字、即ち「土」が偶然土石採取事業體と一致せる爲に起つた誤りである。土木建築事業體は㊼とすべきである點充分に注意を要する。

第十六條 調査員ハ府尹邑面長ヨリ事業票用紙、勞務票用紙及技術票用紙ノ交付ヲ受ケタルトキハ調査期日ノ前日迄ニ事業票用紙ハ之ヲ事業主ニ交付シ勞務票用紙及技術票用紙ハ自ラ之ヲ保管スベシ但シ副調査員ヲ置ク事業體ニ在リテハ副調査員ニ勞務票用紙及技術票用紙ヲ交付スベシ

(略)

第十七條 調査員又ハ副調査員ハ事業體ニ付其ノ保管スル各勞務票用紙及技術票用紙ニ事業票ニ記入シアル準備調査簿ノ番號及㊶、㊷、㊸、㊹又ハ㊺ノ記號並ニ事業體ノ所在地及事業體ノ名ヲ記入スベシ

本條中注意を要するのは調査員又は副調査員が保管してゐる勞務票用紙及技術票用紙の準備調査簿の番號と左上部○の中の記號と事業體の所在地及事業體の名は事業票用紙から轉記するのであるから、事業票、勞務票及技術票各用紙共其の記載事項が同一でなくてはならないと謂ふことである。

第十八條 調査員ハ事業票用紙、勞務票用紙若ハ技術票用紙ノ交付ヲ受ケザルトキハ直ニ府尹邑面長ニ請求シテ之ガ交付ヲ受クベシ

(略)

第十九條 府尹邑面長ハ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ豫備ノ爲保存シタル事業票用紙、勞務票用紙又ハ技術票用紙ヲ交付シ尙不足ヲ生ジタルトキハ府尹ハ道知事ニ、邑面長ハ郡守又ハ島司ニ請求シテ之ガ補給ヲ受クベシ

補給上急を要する場合、正規の手續を履んで居る餘裕のないときは隣接府邑面で一時補給を受けることも規定にはないが便宜の方法として悪いことではないと思ふ。

第四章 事業票、勞務票及技術票ノ検査及整理並ニ事業票、勞務票、技

術票其ノ他ノ附屬書類ノ提出

第二十條 調査員又ハ副調査員ハ規則第十五條ノ事務ヲ完結シタルトキハ左ノ各號ニ依リ處理スベシ

一 勞務票及技術票ノ記入事項ヲ各人別ニ検査スルコト

二 前號検査ノ結果調査漏又ハ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ規則第十五條ノ規定ニ準ジ調査シ又ハ訂正スルコト

三 勞務票ニ勞務票通シ番號及勞務者通シ番號ヲ、技術票ニ技術票通シ番號ヲ記入スルコト

第二十一條 調査員又ハ副調査員ハ前條ノ手續ヲ終ヘタルトキハ勞務票又ハ技術票ニ檢印スベシ

(略)

第二十二條 調査員ハ自己ノ調査シタル勞務票又ハ副調査員ヨリ提出シタル勞務票ニ就キ事業票記入ノ

勞務者現在數中就職徑路別勞務者數ノ總數ノ合計ト勞務票記入ノ勞務者數トヲ對照検査シ誤謬ナシト

認メタルトキハ勞務票ハ勞務票通シ番號順ニ、技術票ハ技術票通シ番號順ニ整理シ事業票ニ檢印ノ上

事業票ト共ニ一括シ六月二十日迄ニ府尹邑面長ニ提出スベシ

本條中注意を要するのは、調査員は、自分の調査した勞務票と副調査員の調査した勞務票との勞務者總人員を事業票の四の(イ)、就職徑路別勞務者數と對照して相違無いか否かを確めることである。この場合勞働者三十人未滿を使用する工業、鑛業、運輸事業體では勞務票を作成しないのであるから、事業票の四の(イ)、就職徑路別勞務者數と同じく事業票の四の(ロ)、年齢及民籍別勞務者數とは一致すべきものであるから必ず對照して相違無いか否かを確めて貰ひ度いのである。

第二十三條 府尹邑面長ハ調査員ヨリ事業票、勞務票及技術票ヲ受理シタルトキハ左ノ各號ニ依リ處理

スベシ

一 事業票ノ準備調査簿ノ番號及事業體ノ名ヲ準備調査簿ト對照檢査スルコト

二 事業票記入ノ勞務者現在數中就職徑路別勞務者數ノ總數ノ合計ト勞務票記入ノ勞務者數トヲ對照

檢査スルコト

三 事業票ノ記入事項ヲ一枚毎ニ檢査スルコト

四 勞務票ノ記入事項ヲ各人別ニ檢査スルコト

五 技術票ノ記入事項ヲ一枚毎ニ檢査スルコト

前項檢査ノ結果誤謬又ハ脱漏アルコトヲ發見シタルトキハ府尹邑面長ハ調査員ヲシテ直ニ之ガ訂正ノ

手續ヲ爲サシムベシ

第二十條と本條とは調査員、副調査員及府尹邑面長の申告書内容の検査に關する條文であるが、此の内容検査は最も重要な事柄であるから少しでも不審の點、不備の點は一々當該事業體に付いて再調の上完全な申告書を本府へ提出せられたいのである。尙参考迄に本府に於ける申告書内容検査の要綱を終に掲載するが、勿論本府に於てもこの要綱は單に基準を示すものであつて多數の係員が凡らゆる角度から精密な検査を實施するのである。唯附言したいことは本府に於ける検査は當該事業體を遠く距る關係上其の内容の検査は幾分抽象的となることを免れないのであるが、調査員、副調査員、府尹、邑面長の申告書検査は何處迄もその事業體から離れないで詳細なる實地検査を行ふべきである。

第二十四條 府尹邑面長ハ検査済ノ事業票ニ依リ別表第三號様式ノ府邑面要計表ヲ作成スベシ

府邑面要計表の勞務者數と、勞務票記入の勞務者數とは同一か又は後者が尠いのが當然である。とは、前者は勞務票で調査されない勞働者三十人未滿を使用する事業體の勞務者をも含めて居るからである。之等の點についても要計表作成に當り注意して記入する必要がある。

第二十五條 府尹邑面長ハ事業票、勞務票及技術票ヲ各工業事業體、採鐵事業體、砂鐵事業體、土石採取事業體、運輸事業體又ハ令第二條第四號ニ規定スル事業體(事務所商店)毎ニ一括シ之ヲ準備調査簿ノ番號順ニ整理シ府邑面要計表及準備調査簿ト共ニ適當ノ方法ニ依リ府尹ニ在リテハ道知事ノ定メタル期限迄ニ道知事ニ、邑面長ニ在リテハ郡守又ハ島司ノ定メタル期限迄ニ郡守又ハ島司ニ提出スベシ

本條以下の各期限は各道毎に道令に依り定められて居る通である。

第二十六條 郡守及島司ハ邑面長ヨリ提出シタル邑面要計表ニ依リ別表第四號様式ノ郡島要計表ヲ作成シ事業票 勞務票及技術票其ノ他ノ附屬書類ト共ニ道知事ノ定メタル期限迄ニ道知事ニ提出スベシ

第二十七條 道知事ハ府尹、郡守又ハ島司ヨリ提出シタル府要計表、郡要計表及島要計表ニ依リ別表第五號様式ノ道要計表ヲ作成シ事業票、勞務票及技術票其ノ他ノ附屬書類ト共ニ七月末日迄ニ朝鮮總督ニ提出スベシ

附 則

昭和十六年ニ限り第三條中五月二十五日トアルハ七月二十五日、第九條中五月十日トアルハ七月十日、第十一條及第十四條中六月五日トアルハ八月五日、第二十二條中六月二十日トアルハ八月二十日、第二十七條中七月末日トアルハ九月末日トス

(略)

第一號樣式甲

| | | | | | | | |
|-----------------|--|--|--|-----------------|--|--|--|
| 昭和 | | | | 昭和 | | | |
| 年勞働技術統計調査指導員内申書 | | | | 年勞働技術統計調査指導員内申書 | | | |
| 道 | | | | 道 | | | |
| 名 | | | | 名 | | | |
| 業 | | | | 業 | | | |
| 氏 | | | | 氏 | | | |
| 名 | | | | 名 | | | |
| 職 | | | | 職 | | | |
| 名 | | | | 名 | | | |
| 應 | | | | 應 | | | |
| 置 | | | | 置 | | | |
| 配 | | | | 配 | | | |

第一號樣式乙

| | | | |
|--------------------------|--|--------------------------|--|
| 昭和 | | 昭和 | |
| 年勞働技術統計調査員及勞働技術統計副調査員内申書 | | 年勞働技術統計調査員及勞働技術統計副調査員内申書 | |
| 道 | | 道 | |
| 名 | | 名 | |
| 勞働技術統計調査員 | | 勞働技術統計副調査員 | |
| 其ノ他ノ別 | | 職務者ノ別 | |
| 氏 | | 氏 | |
| 名 | | 名 | |
| 擔當勞務者數 | | 擔當事業 | |
| 名 | | 名 | |
| 府郡島名 | | 事業體所在 | |
| 名 | | 名 | |

第二號様式記入方

一 (用)ノ中ニハ夫々工業事業體、採鑛事業體及砂鑛事業體、土石採取事業體、運輸事業體又ハ事務所商店ト記入スルコト

二 各事業體共番號ノ順序ニ記入スルコト

第三號様式

| 昭和 | | 年 | | 府 | | 邑 | | 面 | | 要 | | 計 | | 表 | |
|--------|--|------|--|------|--|-------|--|------|--|----|--|----|--|----|--|
| 事業體ノ種類 | | 事業體數 | | 勞務者數 | | 内勞務者數 | | 技術者數 | | 總數 | | 總數 | | 總數 | |
| | | | | 男 | | 女 | | 男 | | 女 | | 男 | | 女 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |

第三號様式記入方

一 事業體ノ種類ハ工業事業體、採鑛事業體、砂鑛事業體、土石採取事業體、運輸事業體及事務所商店ノ順序ニ記入スルコト
 二 末尾ニ合計ヲ記入スルコト
 第四號様式

| 昭和 年 郡 島 要 計 表 | | 道 郡 島 | | | | | |
|----------------|------|-------|----|-------|----|------|----|
| 事業體ノ種類 | 事業體數 | 勞務者數 | | 内勞務者數 | | 技術者數 | |
| | | 總數 | 男女 | 總數 | 男女 | 總數 | 男女 |
| 一 工業事業體 | | | | | | | |
| 二 採鑛事業體 | | | | | | | |
| 三 砂鑛事業體 | | | | | | | |
| 四 土石採取事業體 | | | | | | | |
| 五 運輸事業體 | | | | | | | |
| 六 事務所商店 | | | | | | | |

第五號樣式

| 事業體ノ種類 | | 事業體數 | 勞務者數 | | 内勞務者票調數 | | 技術者數 | |
|--------|---------|------|------|---|---------|----|------|---|
| | | | 總數 | 男 | 女 | 總數 | 男 | 女 |
| 一 | 工業事業體 | | | | | | | |
| 二 | 採鑛事業體 | | | | | | | |
| 三 | 砂鑛事業體 | | | | | | | |
| 四 | 土石採取事業體 | | | | | | | |
| 五 | 運輸事業體 | | | | | | | |
| 六 | 事務所商店 | | | | | | | |
| 七 | 合計 | | | | | | | |

(參考) 勞働技術統計調査票本府検査要綱

(一) 事業票

△ 欄外事項

- 1 ○ノ中ノ記號ハ「事業の種類」ト對照シ誤リ無キヤ検査スルコト
- 2 各事項共記載漏若ハ捺印漏無キヤ検査スルコト

△ 欄内事項

一、事業體の所在地

- 1 番地迄正確ニ記載シアリヤ検査スルコト
- 2 不要文字ハ抹消シアリヤ検査スルコト

二、事業體の名

- 1 正確ニ記載シアリヤ検査スルコト
- 2 「事業の種類」ト一應對照検査スルコト

三、事業の種類

1 番號ト名稱トヲ各分類表（工業事業體ニ在リテハ工業分類内容例示）ト對照シ相違無キヤ確ムルコト

2 二種以上ノ番號ト名稱トヲ記載シアル場合ハ組長ヲ通ジ班長ニ申出ヅルコト

3 事業ノ種類ヲ「其ノ他何々」ト記載シ更ニ括弧ヲ附シテ其ノ内容ヲ附記シアル場合ハ組長ヲ通ジ班長ニ申出ヅルコト

班長ハ工業分類内容例示等ト對照シ誤リ無キヤ檢査スルコト

4 事業ノ種類ヲ單ニ「其ノ他何々」ト記載スルニ止マルモノアル場合ハ組長ヲ通ジ班長ニ申出ヅルコト

四、勞務者現在數

(イ) 就職徑路別勞務者數

1 各欄ノ計數ヲ一々檢算スルコト

2 調査期日ニ勞働者三十人未滿ヲ使用スル工業、鑛業、運輸事業體ニ在リテハ「(ハ)年齢

及民籍別勞務者數」ト男女合計共合致スルヤ検査スルコト

3 「事業の種類」ト對照推察シ就職徑路別ニ疑義アリト認ムル場合ハ組長ヲ通ジ班長ニ申出ツルコト

(b) 指定製品別從事勞働者數

1 製品名ハ指定製品分類表ノ番號ト名稱トヲ正確ニ記載シアリヤ検査スルコト

2 工場ニ限り而モ指定製品ノ製造、加工、修理等ニ直接従事スル勞働者ニ限り記載シアリヤ検査シ尙指定製品以外ノモノヲ記載シアラザルヤ指定製品内容例示ト對照シ検査スルコト

3 事業ノ種類ガ修理業ニシテ指定製品ヲ記入シアルモノハ一應組長ヲ通ジ班長ニ申出ツルコト

4 各欄ノ計數ヲ一々檢算スルコト

5 本欄ノ人員ガ「四ノ(イ)就職徑路別勞務者數」ノ人員ト相等シキ時ハ組長ヲ通ジ班長ニ申出ツルコト

6 工場ニシテ「三事業の種類」ヨリ推察シテ指定製品記載漏ニ非ズヤト認メラル、モノハ組長ヲ通ジ班長ニ申出ヅルコト

(6) 年齢及民籍別勞務者數

1 調査期日ニ勞働者三十人未滿ヲ使用スル工業、鑛業、運輸事業體ニ限り記載シアリヤ
 検査スルコト

2 「三事業の種類」ト對照シ記載人員甚ダシク不均衡ノモノ無キヤ検査スルコト

3 各欄ノ計數ヲ一々檢算スルコト

4 勞務者總數ガ三十人以上トナリ居ル場合ハ末尾ノ備考欄ニ「勞働者以外ノ勞務者」ノ
 内譯ヲ記載シアリヤ検査スルコト

5 日本人ノ其ノ他ノ欄ニ掲記シアル場合ハ組長ヲ通ジ班長ニ申出ヅルコト

五、一箇年ノ解雇勞務者數

1 各欄ノ計數ヲ一々檢算スルコト

2 「三事業の種類」ヨリ推察シ解雇勞務者數甚ダシク過少ニ非ラズヤト疑ヘル、モノ、又勞

務者現在數ニ比シ解雇勞務者數甚シク過多ナルモノ無キヤ検査スルコト

六、一箇月の勞務者賃金支拂總額

1 「三事業の種類」、「四ノ(イ)就職徑路別勞務者數」及「五、一箇年の解雇勞務者數」欄ノ勞務者數ニ比シ賃金支拂總額特ニ不均衡ノモノ無キヤ検査スルコト

(二) 勞 務 票

△ 欄 外 事 項

1 欄外各事項共記載漏又ハ捺印漏無キヤ検査スルコト

2 勞務票通シ番號及勞務者通シ番號ハ一事業體毎ニ順ヲ追ヒテ記載シアリヤ検査スルコト

3 勞務者通シ番號中缺號アル場合ハ組長ヲ通ジ班長ニ申出ヅルコト

△ 欄 内 事 項

一、氏 名

1 記載漏無キヤ検査スルコト

二、男 女 の 別

1 氏名ト一應對照スルコト

2 所定ノ記入方法タル○印ヲ附セズ一方ヲ抹消シタルモノ無キヤ檢査スルコト

3 男女何レニモ○印ヲ附セザルモノ又ハ兩方ニ○印ヲ附シタルモノハ組長ヲ通ジ班長ニ申出ヅルコト

三、出生の年月日

1 正確ニ記載シアリヤ申告漏レノモノ無キヤ檢査スルコト

2 明治、大正等ノ年號脱落セルモノハ無キヤ檢査スルコト

四、卒業又は修業國民學校所在地

1 府部、郡部ニ○印ヲ正確ニ附シアリヤ檢査スルコト

2 「教育の程度」ト對照シ不就學ノ者ニ對スル記載事項ハ正確ナリヤ檢査スルコト

五、配偶者の有無

1 有無何レニモ○印ヲ附セザルモノ又ハ兩方ニ○印ヲ附シタルモノハ組長ヲ通ジ班長ニ申出ヅルコト

六、教育の程度

- 1 教育程度分類表ニ依リ番號ト名稱トヲ正確ニ記入シアリヤ検査スルコト

七、職名

- 1 職業分類内容例示ト對照検査スルコト
- 2 其ノ他ニ屬スルモノハ括弧ヲ附シ其ノ職名ヲ附記シアリヤ検査シ更ニ職業分類内容例示ト仔細ニ對照検査スルコト
- 3 勞務票欄外ニ符號班ニ於テ朱書シアル事業ノ種類ト對照検査シ符合セザル場合ハ組長ヲ通シ班長ニ申出ヅルコト
- 4 鑛業事業體（土石採取事業體ヲ除ク）ニアリテハ内、外ノ何レカニ運輸事業體ニ在リテハ乘、非ノ何レカニ○印ヲ附シアリヤ検査スルコト

八、職歴

- 1 記載漏無キヤ検査スルコト
- 2 日々雇傭先ヲ異ニスル日傭勞働者ハ「日傭」ト記載シアリヤ検査スルコト

3 出生ノ年月日ト對照シ甚シク不鈞合ノモノ無キヤ検査スルコト

4 「當該事業體在職年月數」ト「當該職業に従事する年月數」トヲ對照シ著シク不均衡ト認メラル、モノ無キヤ検査スルコト

賃 金

(イ) 定額給又は請負給の別

1 所定ノ〇印ヲ附セズ一方ヲ抹消シタルモノ無キヤ検査スルコト

2 定、請ノ何レニモ〇印ヲ附セザルモノ又ハ兩方ニ〇印ヲ附シタルモノハ組長ヲ通ジ班長ニ申出ヅルコト

3 事務所商店ニ在リテハ定、請ノ文字ヲ抹消シ「日給」、「月給」、「其ノ他」ト記載シアリヤ検査スルコト

(ロ) 一時間の基本給

1 「一箇月の賃金總額」「一日の平均賃金」又ハ「一時間の平均賃金」ト混同解釋シ記載セリト認メラル、モノ無キヤ検査スルコト

- 2 甲事業體ハ一時間當、乙事業體ハ日額、丙事業體ハ月額ヲ記載シアリヤ検査スルコト
- 3 甲事業體ニ於テハ「一時間の平均賃金」、乙事業體ニ於テハ「一日の平均賃金」、丙事業體ニ於テハ「一箇月の賃金總額」ト對照シ著シク不均衡ノモノ無キヤ検査スルコト
- 4 就業時間ト夫々對照シ甚シク低額又ハ高額ノモノハ組長ヲ通ジ班長ニ申出ヅルコト
- 5 斜線ハ正當ニ引カレアリヤ検査スルコト

(6) 一箇月の賃金總額

- 1 内實物給與額ト對照シ實物給與ノ換算額ヲ合算シアリヤ検査スルコト
- 2 賃金總額著シク少額又ハ多額ノモノハ一應組長ヲ通ジ班長ニ申出ヅルコト
- 3 「就業時間」「一時間の基本給」等ヨリ考察シ賃金總額著シク不均衡ノモノ無キヤ検査スルコト

(7) 一日の平均賃金

- 1 「一箇月の賃金總額」ヲ「一箇月の實際労働日數」ニテ除シアリヤ検査スルコト

2 丙事業體へ斜線ヲ引キアリヤ検査スルコト

(4) 一時間の平均賃金

1 「一日の平均賃金」ヲ「一日の平均實就業時間」ニテ除シケリヤ検査スルコト

2 月給者ト認メラル、モノハ月額ヲ三十ニテ除シタル日額ヲ「所定就業時間」ニテ除シ

アリヤ検査スルコト

3 乙事業體、丙事業體へ斜線ヲ引キアリヤ検査スルコト

4 甲事業體ニ於テ定額、請負給共「一時間の平均賃金」ガ「一時間の基本給」ヨリ少額

ノ場合ハ組長ヲ通ジ班長ニ申出ヅルコト

一〇、就業時間

(イ) 一箇月の實際労働日數

1 一箇月ノ賃金總額ニ對スル労働日數ヲ記載シアリヤ検査スルコト

2 職名ト對照シ月給者ト認メラル、モノハ三十日ト記載シアリヤ検査スルコト

3 實際労働日數甚ダシク變則ノモノ又ハ三十二日以上ト記載セルモノハ組長ヲ通ジ班長

ニ申出ヅルコト

(四) 一日の所定就業時間

1 「事業體の名」及「職名」ヨリ考察シテ適當ト認メラル、時間ヲ記載シアリヤ検査スル
コト

2 休憩時間ヲ含ミ居ルヤ一應検査スルコト

3 乙事業體、丙事業體ハ斜線ヲ引キアリヤ検査スルコト

(五) 一日の平均實就業時間

1 必ズ時間換算表ト對照シ正確ニ記載シアリヤ検査スルコト

2 小數點以下ハ二位迄記載シアリヤ検査スルコト

3 「事業體の名」「職名」「所定就業時間」ト對照シ著シク不均衡ノモノ無キヤ検査スルコト

4 丙事業體ハ斜線ヲ引キアリヤ検査スルコト

一一、民 籍

1 朝鮮人ハ斜線、内地人ハ内地、外地人ハ臺灣等、外國人ハ其ノ國名ヲ記載シアリヤ検査
スルコト

2 記載漏ノモノハ組長ヲ通シ班長ニ申出ヅルコト

二、其ノ他

勞務票各事項中「調査不能」ト記載シアル場合ハ組長ヲ通ジ班長ニ申出ヅルコト

(三) 技 術 票

△ 欄 外 事 項

1 各事項共記載漏若ハ捺印漏無キヤ検査スルコト

2 技術票通シ番號ハ順ヲ追ヒテ記載シアリヤ検査スルコト

△ 欄 内 事 項

一、氏 名

1 記載漏無キヤ検査スルコト

2 半島出身者ノ本籍地道名記載漏無キヤ検査スルコト

二、男 女 の 別

1 氏名ト對照シ男女別ヲ検査スルコト

2 所定ノ記入方法タル○印ヲ附セズ一方ヲ抹消シタルモノ無キヤ検査スルコト

3 男女何レニモ○印ヲ附セザルモノ又ハ兩方ニ○印ヲ附シタルモノハ組長ヲ通ジ班長ニ申出ヅルコト

三、出生の年月日

- 1 明治、大正等ノ年號ヲ冠セザルモノ無キヤ又記載漏無キヤ検査スルコト
- 2 甚ダシク若年ノモノ無キヤ検査スルコト

四、現技術者、元技術者又は技術能力者の別

- 1 現、元、能ニ附セル○印ハ正當ナリヤ検査スルコト

五、職名

- 1 勞務者ニ非ズヤト疑ハル、モノハ組長ヲ通ジ班長ニ申出ヅルコト
- 2 現技術者タルモノハ技術者分類表ニ依ル番號ト名稱トヲ記入シアリヤ検査スルコト
- 3 「其他」ニ内譯ヲ附記シアリヤ検査スルコト
- 4 元技術者タルモノハ現職名ノ次ニ元ノ文字ヲ冠シテ技術者分類表ノ番號ト名稱トヲ記入シアリヤ検査スルコト

5 技術能力者タルモノハ現ニ従事スル職業ヲ記入シアリヤ検査スルコト

六、教 育

(イ) 卒業又は修業學校名

1 「卒業」又ハ「修業」ノ別ヲ記載セザルモノ無キヤ検査スルコト

2 本欄ニ記載無キモノハ組長ヲ通ジ班長ニ申出ヅルコト

(ロ) 専攻學科名

1 技術ニ關スル學校ノ専攻學科名ヲ記載シアリヤ検査スルコト

(ハ) 資格に關する試験名又は檢定名

1 朝鮮總督ノ指定ニ非ラザル試験名又ハ檢定名ヲ記載セルモノ無キヤ検査スルコト

2 技術ニ關スル中等學校以上ノ學校卒業者又ハ試験、檢定ノ合格者ニ非ラザルモノハ本

欄ニ技術ニ従事セル年月等ヲ具體的ニ記載シアリヤ検査シ技術者タルノ資格薄弱ト認め

ラル、モノハ組長ヲ通ジ班長ニ申出ヅルコト

四 各票對照竝再検査

- 1 ○ノ中ノ記號ハ事業ノ種類ト對照シ各票共符合スルヤ検査スルコト
- 2 「準備調査簿の番號」、「事業體の所在地」、「事業體の名」、「事業の種類」ハ各票共符合スルヤ検査スルコト
- 3 調査期日ニ勞働者三十人以上ヲ使用スル工業、鑛業、運輸事業體並事務所商店ニアリテハ事業票ノ「一箇月の賃金總額」ト勞務票ノ「一箇月の賃金總額」ノ合計ガ特ニ著シキ差異無キヤ検査スルコト
- 4 調査期日ニ勞働者三十人以上ヲ使用スル工業、鑛業、運輸事業體並事務所商店ニ在リテハ勞務票ノ勞務者總數及男女別ノ數ガ事業票ノ就職徑路別勞務者ノ總數及男女別ノ數ト符合スルヤ検査スルコト
- 5 技術票ニ申告シアル元技術者及技術能力者ニシテ現ニ勞務者タル者ハ勞務票ニモ申告シアリヤ検査スルコト
- 6 各票ノ再検査ハ本要綱ノ事業票、勞務票、技術票ノ検査要領ニ準ジ綜合的ニ誤リ無キヤ検査スルコト

第四 調査票記入心得

一 事業票

事業票は前にも述べた通事業主が記入するのであつて、此の調査に該当する事業體では各事業體毎に全部提出を要するのである。

欄外事項

左上部の○の中には府尹邑面長が㊤、㊦、㊧、㊨の記號を記入するのであつて之は工業、鑛業、運輸各事業體及事務所商店の頭文字である。

昭和 年 月 日現在の中には調査期日を記入するので例へば、昭和十八年では昭和十八年6月10日と算用數字で記入するのであるが、調査期日後例へば六月十五日に事業を再始した事業體では昭和十八年6月10日現在と記入した次に（ ）して昭和十八年6月15日再始と書くのである。

次の㊩の記號は本調査に於ける各調査事項は絶対に秘密を要する爲に附してあるので、附録の大正十一年法律第五十二號の第三條には嚴重な罰則迄定められて居るのである。

大正十一年法律第五十二號

第三條 實地調査ニ關スル事務ニ従事シタル者其ノ職務執行ニ關シ知得タル個人、法人、組合又ハ業務ニ關スル事項ヲ故ナク他ニ漏洩シタルトキハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

「準備調査簿の番號」は府尹、邑面長は毎年五月十日現在を以て準備調査を行ふのであつて、その番號を府尹、邑面長が此處に記入して調査員又は副調査員に渡すのである。

「労働技術統計調査員檢印」欄は施行細則第二十二條の項で詳細に説明した要領に依つて、調査員が事業票の内容を充分検査した上で間違が無かつた時に自分の認印を押すのである。

「申告者氏名」、「捺印」欄は事業主が申告事項を更によく検査して間違が無かつたら名前を書いて認印を押すのである。

事業主とはどんなものであるかと言ふ詳しい説明は調査令第四條の項の説明を参照されたい。
(記載例)

昭和18年6月10日現在

事業主 朝鮮總督府

| | | | |
|----------|-----------------|---------|------|
| 準備調査簿の番號 | 労働技術統計調査員檢印 | 申告者氏名 | 捺印 |
| 第 3 5 號 | (左欄は府尹邑面長之を記入す) | 田 中 榮 一 | (田中) |

昨年調査の實蹟に依つて注意を要するのは○の中の記號が事業票と勞務票、技術票と合致しないもの。調査員の檢印洩れ、申告者氏名欄に事業主の氏名を書かないで會社又は工場名を記載したものが相當多數あつたのである。

一、事業體の所在地

事業體のある所を番地迄記入するのであるが私設鐵道、電車、乗合バス、貨物自動車のような事業體では事務所のある所を記入し、土木建築工事、土石採取場の如きは現場のある所を書くのである。尙府郡島邑面町洞里の文字で不用のものは一本の斜線で消すこととなつて居る。

二、事業體の名

工場名、鑛山名、事務所名、店舗名、作業場名、工事場名等を書くのであるが、名稱、商號等のない事業體では事業主の名前を、例へば田中榮一商店等の如く記入するのである。

三、事業の種類

「事業の種類」は必らず以下掲載の工業、鑛業、運輸業、事務所商店分類表に依つて書くのである。先づ工業事業體では次の工業分類表の中のどれに該るかよく見定めて、例へば¹²⁰製藥業、²²⁶製綿業

の様子番號を落さないで書くのであるが、仲々この「事業の種類」の決め方は難しいので何れに該るか不確實の場合は一應これであらうと思ふ分類名を書いて、其の次に括弧を付けて仕事の内容を出来る丈精しく書いて置くのである。

工業分類表について言へば自分の經營して居る業態が此の分類表十一の大分類の何れに屬するかを検討し、然る後其の大分類の内の小分類につき該當する事業の種類を記入するのである。尙例へば精鍊業では、「1鐵精鍊業及材料品製造業」から「9アンチモン精鍊業及材料品製造業」迄に該當しない精鍊業は全部「10其ノ他ノ金屬精鍊業及材料品製造業」に入れて宜しいのであるが、この様に「其ノ他何々」の場合は整理上必要があるから更に括弧を付けて仕事の内容を詳しく書いて置く必要がある。又同じ工場で二つ以上の事業をやつてゐる場合は勞務者の人數の多いか少ないか、或は事業の規模の大小等に依つてどちらが主な事業であるかを決めて分類表の番號と名稱を書くのであるが、勞務者の人數が同じであるとか、作業設備の状態、或は生産高等も同様であつて何れを主な事業と定めることの困難な場合は其の事業主の判定に任すより仕方がないのである。

次に工業分類表の名稱に「何々製造業」とある場合は、製造業は勿論加工、淨洗、選別、包裝、

修理の各業もこれに包含され、又「78自轉車製造業」の様に其の次に「自轉車部分品及附品製造業」の項が無い場合は、自轉車の部分品及附屬品のみ製造業も「78自轉車製造業」に包含されるのである。

工業分類表

(自己の經營する事業の種類を決定するには先づゴシツクにて示したる大分類(一乃至十一)の何れに該當するか)を檢討し、次に大分類中の該當分類を檢討すること

一 金屬工業

- | | | | |
|---|--------------------|----|------------------|
| 1 | 鐵精鍊業及材料品製造業 | 9 | アンチモン精鍊業及材料品製造業 |
| 2 | 銅精鍊業及材料品製造業 | 10 | 其ノ他ノ金屬精鍊業及材料品製造業 |
| 3 | 亜鉛精鍊業及材料品製造業 | 11 | 黃銅材料品製造業 |
| 4 | 鉛精鍊業及材料品製造業 | 12 | 其ノ他ノ銅合金材料品製造業 |
| 5 | アルミニウム精鍊業及材料品製造業 | 13 | 其ノ他ノ合金材料品製造業 |
| 6 | マグネシウム精鍊業及材料品製造業 | 14 | 銑鐵鑄物業 |
| 7 | 錫精鍊業及材料品製造業 | 15 | 可鍛鑄鐵鑄物業 |
| 8 | 金屬タンクステン精鍊業及材料品製造業 | 16 | 鋼鑄物業 |
| | | 17 | 青銅(磷青銅ヲ含ム)鑄物業 |
| | | 18 | アルミニウム鑄物業 |

- 19 其ノ他ノ鑄物業
- 20 亜鉛メッキ業
- 21 錫メッキ業
- 22 ニッケルメッキ業
- 23 其ノ他ノメッキ業
- 24 鍍銀製造業
- 25 パネ製造業
- 26 鋼索製造業
- 27 金網製造業
- 28 ボルト、ナット、座金及鉄製造業
- 29 釘類製造業
- 30 針類製造業
- 31 金屬板製品製造業
- 32 建築用及家具用金物製造業
- 33 金屬製建具、家具類製造業
- 34 建築、橋梁、鐵塔等ノ建設材料製造業
- 35 金屬器類製造業

- 36 金屬製ペン先製造業
 - 37 剃刀、食卓用ナイフ、フォーク及スプーン製造業
 - 38 洋傘骨製造業
 - 39 金屬製玩具製造業
 - 40 金屬製小間物類製造業
 - 41 蹄鐵及蹄釘製造業
 - 42 火造(鍛冶)業
 - 43 金屬切斷業
 - 44 熔接業
 - 45 其ノ他ノ金屬品製造加工業
- 二 機械器具工業**
- 46 蒸氣罐製造業
 - 47 蒸氣機關及蒸氣タービン製造業
 - 48 内燃機關製造業
 - 49 水車製造業
 - 50 其ノ他ノ原動機製造業

- 51 原動機部分品及附屬品製造業
- 52 電氣機械器具製造業
- 53 無線及有線通信機械器具製造業
- 54 電線及電纜製造業
- 55 電池製造業
- 56 切削研磨用金屬工作機械製造業
- 57 其ノ他ノ金屬工作機械製造業
- 58 金屬工作機械部分品及附屬品製造業
- 59 製材及木工機械製造業
- 60 工具製造業
- 61 採鑛、選鑛及精鍊鑛械器具製造業
- 62 化學工業用機械器具製造業
- 63 窯業用機械器具製造業
- 64 製紙機械器具製造業
- 65 紡織機械器具製造業
- 66 蠶絲機械器具製造業
- 67 ガス發生裝置製造業

-
- 68 食料品製造加工用機械器具製造業
 - 69 印刷機械器具製造業
 - 70 製本機械器具製造業
 - 71 ミシン製造業
 - 72 其ノ他ノ製造加工用機械器具製造業
 - 73 鐵道車輛製造業
 - 74 大型自動車製造業
 - 75 小型自動車製造業
 - 76 自動二輪車及自動三輪車製造業
 - 77 自動車部分品及附屬品製造業
 - 78 自轉車製造業
 - 79 其ノ他ノ車輛製造業
 - 80 鋼船製造業
 - 81 其ノ他ノ船舶製造業
 - 82 航空機製造業
 - 83 航空機部分品及附屬品製造業
 - 84 運搬機械製造業

- 85 ポンプ及水壓機製造業
 86 送風機及氣體壓縮機製造業
 87 農業用機械器具製造業
 88 土木建築用機械器具製造業
 89 度量衡器製造業
 90 ガスメートル及水量メートル製造業
 91 寒暖計製造業
 92 體溫計製造業
 93 電氣計器製造業
 94 計壓器類製造業
 95 其ノ他ノ計器製造業
 96 電氣時計製造業
 97 其ノ他ノ時計製造業
 98 測量機械器具製造業
 99 試験及検査機械器具製造業
 100 學術用機械器具製造業
 101 醫療用機械器具製造業

- 102 寫眞機類製造業
 103 其ノ他ノ光學機械器具製造業
 104 電球製造業
 105 其ノ他ノ照管用機械器具製造業
 106 樂器類製造業
 107 蓄音機製造業
 108 銃砲、彈丸、兵器類製造業
 109 事務用機械製造業
 110 金庫製造業
 111 ガス器具製造業
 112 弁及コック製造業
 113 軸受製造業
 114 齒車製造業
 115 ベルト車、車輪及車軸製造業
 116 前掲以外ノ部分品及附屬品製造業
 117 其ノ他ノ機械器具製造業
 118 電氣機械器具裝置業

三 化學工業

119 其ノ他ノ機械器具裝置業

120 製藥業

121 ソーダ製造業

122 硫酸製造業

123 燐製造業

124 壓縮ガス製造業

125 カーバイド製造業

126 其ノ他ノ工業藥品製造業

127 製塩業

128 天然染料製造業

129 硫化染料製造業

130 其ノ他ノ合成染料及中間物製造業

131 漆液製造業

132 塗料製造業

133 顔料製造業

134 マツチ製造業

135 其ノ他ノ發火物製造業

136 コールタール及コールタール分溜物製造業

137 石油精製業

138 人造石油製造業

139 植物油脂製造業

140 樟腦製造業

141 薄荷製造業

142 其ノ他ノ植物性揮發油製造業

143 魚油製造業

144 獸脂類製造業

145 木蠟製造業

146 蠟燭製造業

147 加工油製造業

148 ゴム製品製造業

149 再製ゴム絮地製造業

150 バルブ製造業

167 166 165 164 163 162 161 160 159 158 157 156 155 154 153 152 151

製紙業

セロファン紙製造業

セルロイド素地製造業

セルロイド製品製造業

再製セルロイド素地製造業

人造絹絲製造業

ステープルファイバー製造業

其ノ他ノ化學纖維製造業

植物質肥料製造業

動物質肥料製造業

礦物質及配合肥料製造業

製革業

精製毛皮製造業

石鹼及化粧品製造業

人造レジン素地及製品製造業

蓄音機レコード製造業

バルカナイズドファイバー製造業

179 178 177 176 175 174 173 172 171 170 169 168

ワトリウム製造業

防水布、擬革布類製造業

建築用防水紙及防水布製造業

フィルム、乾板類製造業

人造香料製造業

タンニン製造業

糊料製造業

殺蟲劑及防腐劑製造業

研磨材料及研磨用品製造業

炭素製品製造業

コークス製造業

其ノ他ノ化學製品製造業

四 ガス業、電氣業及水道業

ガス業

電氣業

水道業

182 181 180

五 窯業及土石工業

- 183 陶磁器製造業
- 184 陶磁器繪付業
- 185 ガラス及ガラス製品製造業
- 186 セメント製造業
- 187 煉瓦及耐火物製造業
- 188 屋根瓦製造業
- 189 石灰製造業
- 190 珐瑯鐵器製造業
- 191 其ノ他ノ窯業製品製造業
- 192 セメント製品製造業
- 193 石棉製品製造業
- 194 石工品製造業
- 195 其ノ他ノ土石工業

六 紡織工業

-
- 196 生絲製造業
 - 197 玉絲製造業
 - 198 野蠶絲製造業
 - 199 生皮苧、戾斗絲類製造業
 - 200 綿絲紡績業
 - 201 絹絲紡績業
 - 202 麻絲紡績業
 - 203 毛絲紡績業
 - 204 ステールプルフアイバー絲紡績業
 - 205 其ノ他ノ紡績業
 - 206 綿捻絲業
 - 207 絹捻絲業
 - 208 其ノ他ノ捻絲及加工捻絲業
 - 209 純綿織物製造業
 - 210 混紡綿織物及交織綿織物製造業
 - 211 純絹織物製造業
 - 212 人造絹絲トノ交織絹織物製造業

229 228 227 226 225 224 223 222 221 220 219 218 217 216 215 214 213

綿糸トノ交織絹織物製造業
 其ノ他ノ絹織物製造業
 麻織物製造業
 純毛織物製造業
 混紡毛織物及交織毛織物製造業
 純人造絹織物製造業
 交織人造絹織物製造業
 ステールプルフアイバー織物製造業
 其ノ他ノ織物製造業
 メリヤス素地編立業
 メリヤス製品製造業
 其ノ他ノ編物、ドロノウォーク、レース類製造業
 絲組物製造業
 製綿業
 眞綿製造業
 機械捺染業
 其ノ他ノ捺染業

七

244 243 242 241 240 239 238 237 236 235 234 233 232 231 230

無地染及絞染業
 絲染色、精練及漂白業
 精練、漂白及整理業
 起毛業
 洗張洗濯業
 フェルト製造業
 裁縫業
 刺繡業
 反毛業
 其ノ他ノ紡織品製造加工業

製材業
 防腐、耐火等ノ木材處理業
 ベニア合板製造業
 木製建具及家具製造業
 包装用木箱、樽及桶製造業

八 食料品工業

- 248 木管製造業
- 247 コルク製品製造業
- 246 挽物、曲物類製造業
- 245 其ノ他ノ木製品製造業
- 259 精麩業
- 258 製粉業
- 257 澱粉製造業
- 256 製糖業
- 255 和酒製造業
- 254 朝鮮酒製造業
- 253 麥酒製造業
- 252 其ノ他ノ酒類製造業
- 251 醬油、味噌及食酢製造業
- 250 清涼飲料製造業
- 249 菓子、パン、飴類製造業

九 印刷業及製本業

- 269 織詰製造業
- 268 蠟詰製造業
- 267 畜産食料品製造業
- 266 水産食料品製造業
- 265 製茶業
- 264 煙草製造業
- 263 製氷業
- 262 冷凍食料品製造業
- 261 製麵業
- 260 其ノ他ノ食料品製造業
- 271 印刷業
- 270 製本業
- 272 一〇 土木建築業
- 土木建築業

二 其ノ他ノ工業

287 286 285 284 283 282 281 280 279 278 277 276 275 274 273
紙製品製造業
竹製品製造業
杞柳製品製造業
籐製品製造業
其ノ他ノ莖及莖製品製造業
壘製造業
蕨、花、花莖及野草莖製造業
藁製品及棕櫚製品製造業
麻、真田製造業
麥稈及經木製品製造業
綿、麻、毛及絹製網、繩及網製造業
織維板製造業
革靴製造業
其ノ他ノ皮革製品製造業
鈕釦（金屬製ノモノヲ除ク）製造業

304 303 302 301 300 299 298 297 296 295 294 293 292 291 290 289 288
刷毛及刷子製造業
漆器製造業
フェルト製帽子製造業
其ノ他ノ帽子製造業
玩具（金屬製ノモノヲ除ク）製造業
映畫製作業
寫眞業
塗裝業
骨、角、蹄、甲、牙及貝類製品製造業
醫療材料品製造業
毛筆製造業
萬年筆製造業
鉛筆及クレヨン製造業
和傘製造業
洋傘製造業
草履（革製及ゴム製ノモノヲ除ク）爪草類製造業
羽毛及獸毛漂白整理業

305 人造眞珠製造業
306 寶石類加工業

307 魔法鑛製造業
308 其ノ他ノ製造加工業

鑛業事業體では、次の鑛業分類表に依るのであつて大體工業事業體の記入要領と同じであるが、事實現在採掘してゐる鑛種に依つて分類の番號と名稱を、例へば「2 石炭鑛業」の様に書くのである。尙採掘してゐる鑛種が二種以上ある場合は主な鑛種に依り、又「其ノ他ノ鑛業」の場合には更に括弧を附けて其の鑛業の内容を詳しく書くのである。

「4 其ノ他ノ鑛業」は大體燐鑛、硼鑛、黒鉛、土瀝青、硫黄、雲母、石綿、高嶺土、蠟石(滑石を含む)、明礬石、重晶石、螢石、(マグネサイト)、霞石、藍晶石(紅柱石及硅線石を含む)、硅藻土等である。

鑛業分類表

| | |
|--------|----------|
| 採 鑛 業 | 4 其ノ他ノ鑛業 |
| 1 金屬鑛業 | 二 砂 鑛 業 |
| 2 石炭鑛業 | 5 砂 鑛 業 |
| 3 石油鑛業 | 三 土石採取業 |
| | 6 土石採取業 |

運輸事業體は次の運輸業分類表に依るのであつて、現に營んでゐる事業の番號と名稱とを例へば、

「7小運送業」等の様へ書き、又小運送業と貨物自動車運送業とを兼營してゐる様な場合、若しそれが分離出來ないときは勞務者の人數等に依つて主な事業を決定して假りに貨物自動車運送業が主であるならば小運送業も含めて「6貨物自動車運送業」と書くのである。

「8其ノ他ノ陸上運輸業」の場合は更に括弧を附けて、例へば8其ノ他ノ陸上運輸業（人力車業）の様へ書くのである。

運輸業分類表

| | | | |
|---|----------|----|-----------|
| 1 | 私設鐵道 | 5 | 旅客自動車運送業 |
| 2 | 軌道 | 6 | 貨物自動車運送業 |
| 3 | 架空索道 | 7 | 小運送業 |
| 4 | 乗合自動車運送業 | 8 | 其ノ他ノ陸上運輸業 |
| | | 9 | 航空輸送業 |
| | | 10 | 回漕業 |

次に事務所商店は次の分類表に依るのであるが、物品販賣業、倉庫業、物品預り業を營むものは個人の經營であらうと會社組織であらうと全部分類表の1、2、3に入るのである。唯會社組織のもので、1物品販賣業、2倉庫業、3物品預り業に入らないものは、4農業會社から9交通會

社迄の内のどれかに該るのである。尙「10 其ノ他ノ事務所」は漁業組合事務所、商工會議所、銀行集會所、私立圖書館、私立養老院等であるがこの場合も更に括弧を附して、例へば10 其ノ他ノ事務所（漁業組合事務所）と書くのである。

事務所商店分類表

- 一 物品販賣又ハ保管業
 - 1 物品販賣業
 - 2 倉庫業
 - 3 物品預り業
- 二 會社
 - 4 農業會社
 - 5 水産會社
- 三 其ノ他ノ事務所
 - 6 鑛業會社
 - 7 工業會社
 - 8 商業會社（銀行、信託會社、保險會社等ヲ謂ヒ物
品販賣業、倉庫業及物品預り業ヲ除ク）
 - 9 交通會社
 - 10 其ノ他ノ事務所

（記載例）

| 一 事業體の所在地 | 二 事業體の名称 | 三 事業の種類 |
|-------------------|----------|---------|
| 京畿道 京城市 瀬田區 102番地 | 田中製綹所 | 226 製綹業 |

此の項で間違ひの多かつたのは「一事業體の所在地」では番地の記入して無いもの、府郡島、邑面の文字中不要文字を消してないものがあり、又「三事業の種類」では分類表に依らないで勝手に思ふ儘を記入したもの、番號と名稱とが合はないもの、名稱のみを書いて分類番號を漏したものの、又分類表中の事業種類「其ノ他何々」の場合更に括弧をしてその事業の内譯を書かなかつたもの等が多數であつた。

四、勞務者現在數

(1) 就職徑路別勞務者數

其の事業體に六月十日現在する勞務者がどんな徑路から傭はれたかと謂ふ調査で徑路は四區分となつてゐる。即ち京城職業紹介所等の様に官公營職業紹介所の紹介に依るものか、道知事の認可を得た營利募集業者或は會社工場等の募集専門の職員の募集に依るものか、會社工場等の職員其他の緣故に依る採用か或は右以外の徑路に依る採用かの四區分である。道府郡島廳の幹旋勞務者の如きは「其他」の項に入れるのである。尙勞務者は常傭たると臨時傭たるとを問はず調査當日現在して居る勞務者全部が含まれるのであつて、調査當日缺勤して居る者も當然調査されるの

であるが、應召中、入營中、徴用中の者は假令其の事業體に籍があつても調査しないことになつて居る。

(ロ) 指定製品別従事労働者數（工場に限る）

本項は次に示した指定製品表にある指定製品を製造する工場の労働者（労働者以外の勞務者は調査しない）に限り調査するのであつて、ガス電気水道、船舶解體、土木建築、鑛業、運輸各事業體並事務所商店では調査を要しないし、又給仕、小使、門衛等の労働者以外の勞務者も調べる必要が無いのである。

指定製品と謂ふのは次に掲げた朝鮮總督の指定する品物を謂ふのであつて大體日用必需品、輸出品、軍需品等である

此處で注意を要するのは労働者とは指定製品の製造（加工、淨洗、選別、包装、修理を含む）に直接従事する労働者を言ふのであつて、例へば麥酒製造工場に於ける製樽に従事する労働者、汽罐火夫等は麥酒の製造に直接従事する労働者では無いのであるから(イ)の就職徑路別勞務者數には加へるが本欄には加へないのである。

重ねて言ふ様であるが、(イ)の就職経路別勞務者數にはその工場の全部の勞務者が掲記されるが此處には勞働者中指定製品の製造に直接従事する者のみが掲記されるのであるから大多數の工場では、(イ)就職経路別勞務者數と、(ロ)指定製品別従事勞働者數の總數とが合致しない譯である
即ち、(ロ)欄の數は(イ)欄の數より多くの場合少數でなければならぬのである。又指定製品二以上の製造に従事して居る様な勞働者があればどちらが主體であるかを定めて其の主な方に書き入れるのである。尙本調査では事業票、勞務票、技術票の各欄共原則として該當事項のないものは空欄の儘として置くのであるが、この欄では該當のない場合は次の記載例の様に製品名の欄に必ず斜線を引き記入洩でない事を明にする必要がある。

指 定 製 品 表

一 金 屬 工 業

- 1 鐵 及 鋼
- 2 鐵 製 品
- 3 黃 銅

二 機 械 器 具 工 業

- 4 銅製品及眞鍮製品
- 5 自轉車竝ニ自轉車ノ部分品及附屬品
- 6 醫療用機械器具

7 電 球

8 ランプ及同部分品

9 ガス器具

10 眼 鏡

三 化 學 工 業

11 醫藥、賣藥及賣藥類似品

12 グリセリン

13 食 鹽

14 マ ッ チ

15 植 物 油

16 樟 腦

17 薄 荷 油

18 薄 荷 腦

19 魚油及鯨油

20 食用油脂

21 木 蠟

22 硬化油及脂肪酸

23 ゴム製タイヤ

24 ゴム靴

25 地下足袋

26 紙 類

27 人造絹絲

28 ステープルファイバー

29 石 検

30 除蟲菊及除蟲菊製品

31 煉炭及炭團

32 齒 磨

四 窯 業

33 陶磁器製飲食器及ガラス製飲食器

34 陶 磁 器

35 ガラス及ガラス製品

36 セメント

37 珐瑯鐵器

五 紡織工業

38 生絲

39 玉絲

40 綿織絲

41 毛絲

42 ステープルファイバース

43 絹摺絲

44 綿織物(生地)

45 綿織物(晒)

46 綿織物(其ノ他)

47 綿ブランケット

48 綿タオル

49 絹織物

50 絹製手巾

51 毛織物

52 人造絹織物

53 ステープルファイバース織物

54 メリヤス製品

55 軍手

56 メリヤス靴下

57 打綿

58 眞綿

59 足袋

60 布靴

61 カラ

62 手拭

63 蚊帳

六 製材及木製品工業

64 木材

65 木製家具

66 下駄

七 食料品工業

| | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|-------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 81 | 80 | 79 | 78 | 77 | 76 | 75 | 74 | 73 | 72 | 71 | 70 | 69 | 68 | 67 |
| 寒 | バ | 煉 | 罐詰食料品及罐詰食料品 | 菓 | 食 | 味 | 醬 | 酒 | 麥 | 砂 | 澱 | 穀 | 精 | 精 |
| 天 | ！ | 乳 | | 子 | 酢 | 噌 | 油 | 類 | 酒 | 糖 | 粉 | 粉 | 穀 | 米 |

八 其ノ他ノ工業

| | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|-------|----|----|--------|----|----|----|----|----|----|----|
| 96 | 95 | 94 | 93 | 92 | 91 | 90 | 89 | 88 | 87 | 86 | 85 | 84 | 83 | 82 |
| フ | 鈕 | 革 | 花 | 製帽用眞田 | 竹 | 竹 | ソ | 豆 | 麵 | 氷 | 茶 | 煮 | 漬 | 乾 |
| レ | 釦 | 靴 | 苳 | | 品 | 材 | ース及ジヤム | 腐 | 類 | | | 物 | 物 | 物 |

97 帽子及帽體
 98 玩具
 99 脫脂綿
 100 ガーゼ及綳帶

101 和傘
 102 洋傘
 103 實用草履

四 勞務者在現數

| (ア) 就職経路別 | 勞務者數 | | (イ) 指定製品別 | 勞働者數 (工場に限る) | | |
|-------------------------|------|-----|-----------|--------------|-----|-----|
| | 總數 | 男女別 | | 製品名 | 總數 | 男女別 |
| 官公營職業紹介所の紹介に依るもの募集に依るもの | 人 | 人 | 57 打綿 | 26人 | 15人 | 11人 |
| 縁故採用 | 8人 | 7人 | | 人 | 人 | 人 |
| 其他 | 21人 | 10人 | | 人 | 人 | 人 |
| 合計 | 29人 | 17人 | | 人 | 人 | 人 |

(イ) 就職経路別勞務者數の項では、その事業體の勞務者全部を「官公營職業紹介所の紹介に依るもの」欄に記入したり、或は又事業票の内容より推察し「緣故採用」又は「其の他」の欄に記載すべきものと認められるものを、「募集従事者の募集に依るもの」欄に記入したものが相當あつたのであるが、これは要するに調査提要或は當局の指示を離れて勝手に記載申告したものであると思はれるのである。尙各欄の計が合計と不符合のもの、男、女別の欄を間違つたもの等も相當にあつたが特に著しい誤りと思はれるのは、三十人未滿の事業體ではこの(イ)欄と次に説明する(ウ)年齢及民籍別勞務者數欄の勞務者人員が又三十人以上の事業體並事務所商店ではこの(イ)欄と勞務票の勞務者人員とが一致すべきであるにも不拘相違したものが相當あつたのであるが、本調査に於て最も重要なことは調査期日に現在する勞務者數の正確を期すると言ふことが主眼であるから、特にこれ等の點に付ては齟齬を來さない様充分注意を要すべきものと考へるのである。

(ロ) 指定製品別従事勞働者數の項では、曩にも説明の通工場に限り而も指定製品の製造に直接従事する勞働者のみを記入すべきにも拘らず、「勞働者以外の勞務者」を混入したり、指定製品の製造に直接當らない勞働者を加へたものが相當あつたのであるが、小規模工場或は特殊の工場

を除いては必ず其の中には、「労働者以外の労働者」又は「指定製品の製造に直接従事しない労働者」が現在する筈であり、この様な工場では當然(イ)欄の労働者人員よりも本欄の労働者人員が少かるべき筈であるから、本欄の検査を實施する場合には此様な點に着眼して見るべきである。次に指定製品表に依る番號と名稱とが不符合の儘記入されたもの、本欄の下部に必要なない計欄を設け記入したもの等があつたのである。

四 労働者現在數の(ウ)年齢及民籍別労働者數(労働者三十人未滿を使用する工業事業體、鑛業事業體、運輸事業體に限る)

本項は労働者三十人以上を使用する工業、鑛業、運輸各事業體並事務所商店では労働票に依つて申告されるから本欄には記載する必要がないのである。即ち小規模事業體(三十人未滿の労働者を使用するもの)では労働票を使用しないから、本欄に依り年齢別及簡単な民、國籍別の分類を取つたのである。「(イ) 就職徑路別労働者數」欄に記入した労働者を數へ年(次に掲載の年齢早見表を使ふと便利である)並内鮮外地其の他別に區分して記載するのであるから、本欄の労働者數は(イ)欄に記載した労働者數と必らず合致しなくてはならないのである。

調査當日缺勤した者は調べるが、應召中、入營中、徵用中の者は假令籍があつても調査しない事

は既に述べた通りである。尙日本人欄に「其の他」とあるのは臺灣人、樺太人、南洋人のことで其の下の「其の他」の欄には外國人を一括記載することになつて居り、本項では該當事項の無いところは其儘何も書かないで空欄として置くのである。

最後に特に注意を要するのは、此の欄に書くか書かないかは勞働者が三十人未滿つまり二十九人以下の工業、鑛業、運輸事業體に限るのであつて何處迄も勞働者の人員に依るのであるが、本欄に書くことに決まつた以上は實際に書くのは勞務者つまり勞働者も勞働者以外の勞務者である給仕、小使等も記載しなくてはならないのであるから、記載された勞務者合計は三十人以上の場合が明にあることに注意され度いのである。其の實例として、或る工場で勞働者が二十九人と勞働者以外の勞務者である小使と給仕が二人居るとすれば、此の客體では勞働者が三十人未滿であるから勞務票は使用されずこの欄に記載を要するのであつて、其の勞務者總數は兩者を合計した三十一人となるのである。此の場合單に一見ただけでは勞務票が必要である様に思はれるから、明らかに此の事業體では勞働者は二十九人であると謂ふことを立證する爲に事業票の最下部備考欄に小使一名、給仕一名と必らず書く取扱となつて居るのである。

數へ年早見表

(昭和十八年標準)

| 年 齡 | 生 | | 朝 |
|---------|---------|--------|-------------------|
| | 帝 | 國 | |
| 一四歳以下 | 昭和五年以後 | | |
| 一五歳―一六歳 | 昭和三年ヨリ | 昭和四年迄 | |
| 一七歳―二〇歳 | 大正一三年ヨリ | 昭和二年迄 | |
| 二一歳―二五歳 | 大正八年ヨリ | 大正一二年迄 | |
| 二六歳―三〇歳 | 大正三年ヨリ | 大正七年迄 | |
| 三一歳―三五歳 | 明治四二年ヨリ | 大正二年迄 | 隆熙三年竝明治四三年ヨリ大正二年迄 |
| 三六歳―四〇歳 | 明治三七年ヨリ | 明治四一年迄 | 光武 八 年ヨリ 隆熙 二 年迄 |
| 四一歳―四五歳 | 明治三二年ヨリ | 明治三六年迄 | 光武 三 年ヨリ 光武 七 年迄 |
| 四六歳―五〇歳 | 明治二七年ヨリ | 明治三一年迄 | 開國五〇三年ヨリ 光武 二 年迄 |
| 五一歳―五五歳 | 明治二二年ヨリ | 明治二六年迄 | 開國四九八年ヨリ 開國五〇二年迄 |
| 五六歳―六〇歳 | 明治一七年ヨリ | 明治二一年迄 | 開國四九三年ヨリ 開國四九七年迄 |
| 六一歳―六五歳 | 明治一二年ヨリ | 明治一六年迄 | 開國四八八年ヨリ 開國四九二年迄 |
| 六六歳以上 | 明治一一年以前 | | 開國四八七年以前 |

(品欄室)

(イ) 年齢及尺籍別勞務者数 (勞働者三十人未満を使用する工業事業體、礦業事業體、運輸事業體に限る)

| 年 齢 | 男 | | | | | | | | | | | | | 女 | | | | | | | | | | | | | 合 計 | | |
|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|---|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|---|
| | 14歳以下 | 15歳 | 17歳 | 21歳 | 26歳 | 31歳 | 36歳 | 41歳 | 46歳 | 51歳 | 56歳 | 61歳 | 66歳以上 | 計 | 14歳以下 | 15歳 | 17歳 | 21歳 | 26歳 | 31歳 | 36歳 | 41歳 | 46歳 | 51歳 | 56歳 | 61歳 | | 66歳以上 | 計 |
| | 2 | 6 | 5 | 2 | 2 | | | | | | | | 17 | 2 | 5 | 2 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | 12 | |
| 内地人 | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | 2 | | |
| 朝鮮人 | | | 2 | 6 | 5 | 1 | 2 | | | | | | 16 | | | 2 | 5 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | 11 | 27 | | |
| 日本人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 其他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 其他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 總 數 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(ロ) 年齢及尺籍別勞務者數欄では前述の通、(イ)欄の男、女、勞務者總數と其の人數が合致しないもの、各欄の計數が合致しないもの、總數欄の記載漏のもの、滿洲國人等の外國人を間違つて日本人欄の其他の欄に記載したもの等があつたのである。

五 一箇年の解雇勞務者數

本項は調査當日から遡る一箇年間、例へば昭和十八年に於ては昭和十七年六月十日から昭和十八年六月九日迄に解雇した全部の勞務者數を其の勞務者の在職期間の長短別に、即ち一箇月未滿其の事業體に在職して辭職した者、三箇月未滿、六箇月未滿、一箇年以上と謂ふ様に五階級に區別して調査するのであるが、此の勞務者の中調査令第五條に述べた通り毎日々々傭先の異ふ日傭勞務者(日傭勞務者でも常傭的のものは調査する)は調査しないのである。

其の他一、二注意を要するのは在職期間の計算は滿月計算であつて、例へば昭和十八年一月二十五日に採用した者が同年五月十日に解雇せられた場合は、その勞務者の在職期間は滿三ヶ月以上であつて本項の六箇月未滿の欄に加へるのである。

又勞務者が社員になつた様に身分に變更のあつた者や、同一事業主の經營する工場から工場へ勤務替した者や、在籍の儘で入營、應召、徵用中の者は解雇者としなが死亡した者は便宜上解雇者として取扱ふのである。

(配賦例)

田一箇年の解雇勞務者數

| 在職期間 | 一箇月未滿 | 三箇月未滿 | 六箇月未滿 | 一箇年未滿 | 一箇年以上 | 合計 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|----|
| 總數 | 2 | 9 | 4 | 3 | 1 | 18 |
| 男 | 2 | 3 | 2 | 2 | | 9 |
| 女 | | 6 | 2 | 1 | | 9 |

調査期日を遡る一箇年間の解雇者數を其の勞務者の在職した期間別に調査すべきであるが、在職期間の意味を取り違へて調査期日、例へば昭和十七年六月十日より遡つて一箇月、三箇月、六箇月、一箇年間及一箇年以上の間に解雇した者を夫々掲記したものが相當多數あつたのである。

六 一箇月の勞務者賃金支拂總額

此處で謂ふ一箇月とは調査期日より遡る最近の一箇月間と謂ふ意味であるが、勞務者の賃金總額を調査する關係上大體調査期日より最近の賃金締切日を遡る一箇月間になるのである。而して本項では、其の一箇月間に兎に角勞務者に支拂つた貨幣賃金と實物給與の評価額との總額を記入す

るのであるから、調査期日の六月十日には退職して現在しない労務者でも前述の一箇月間に賃金を支拂つて居れば其の賃金は當然算入しなくてはならないのである。

唯在籍の儘で入營、應召、徴用中の労務者に支拂つた分は算入しないのである。尙貨幣賃金と實物給與の評價額の説明は勞務票の「一箇月の賃金總額」の項を参照されたい。一切の賃金を合計して圓未滿の端數が出た場合は五十錢以上は一圓に切上げ、五十錢未滿は切捨てるのである。

此處で一吋附加へたいことは、事業票の四の(イ)就職徑路別勞務者數謂ひ替へれば、勞務者現在數と本賃金總額は前者は調査期日に現在の勞務者であり、後者は賃金締切日を遡る一箇月間に勞務者に支拂つた賃金總額であるから勿論比較對照することは出来ないが、而しあまり勞務者の異動しない事業體では大體に於て此の一箇月の賃金總額と勞務者現在數とは均衡が執れなくてはならないと思ふのである。

又勞務票を使用する事業體では、勞務票の一箇月の賃金總額は調査期日に現在する勞務者の最近の賃金締切日より遡る一箇月間の賃金總額であり、且締切日以後に採用せる勞務者に對しては賃金の支拂債務額が確定して居る場合は之を記入することとなつて居るから、本項の賃金總額とは

其の本質に於て多少の相違があるから完全に一致はしないが、之又勞務者の比較的異動の少ない事業體では勞務票の一箇月の賃金總額の合計と本項の賃金總額とに莫大な差異がないのが當然であると思ふ。

(記載例)

| | | |
|----------------------|---|---|
| 十一月の勞務者賃金及雜費額 1,037圓 | 證 | 考 |
|----------------------|---|---|

前回調査の事業票及勞務票の検査に當り、本項の賃金總額と事業票の四の(イ)欄の勞務者人員或は勞務票の一箇月の賃金總額の合計等と比較對照の結果不審と認め照會せるものの中、本項の賃金總額に相當の誤謬があり、又全然賃金總額の記入を爲さざるもの或は圓位未滿迄記入したるもの等が相當多數あつたのである。

以上で大體事業票の記入方の解説を終つたのであるが以下參考として、事業票の記載例を若干登載することとする。

事業票記載例目次

- 一 労働者三十人未満使用ノ工業事業體ニシテ指定製品製造工場ノ記載例 一二二頁
- 二 労働者三十人未満使用ノ工業事業體ニシテ指定製品無キ工場ノ記載例 一二二頁
- 三 労働者三十人以上使用ノ工業事業體ニシテ指定製品製造工場ノ記載例 一二三頁
- 四 労働者三十人以上使用ノ工業事業體ニシテ指定製品無キ工場ノ記載例 一二四頁
- 五 労働者三十人未満ヲ使用シ他ニ「労働者以外ノ勞務者」二人ヲ使用スル工業事業體ノ記載例 一二五頁
- 六 労働者延三百人以上ヲ使用シ調査期日ニ労働者三十人未満ヲ使用スル土木建築事業體ノ記載例 一二六頁
- 七 事業ノ種類二種以上ニ互ル労働者三十人以上ノ工業事業體ノ記載例 一二七頁
- 八 調査期日ニ接近シ開業シタル労働者三十人未満ノ工業事業體ニシテ賃金支拂無キ場合ノ記載例 一二八頁

九 作業休止中ノ處六月十五日ニ再始セル労働者三十人未滿ノ工業事業體

ノ記載例

一二九頁

一〇 労働者三十人未滿使用ノ鑛業事業體ノ記載例

一三〇頁

一一 労働者三十人以上使用ノ鑛業事業體ノ記載例

一三一頁

一二 調査期日ニ労働者一人ヲ使用スルモ労働者五人以上ヲ使用スル設備

ノアル鑛業事業體ノ記載例

一三二頁

一三 労働者三十人未滿使用ノ運輸事業體ノ記載例

一三三頁

一四 労働者三十人以上使用ノ運輸事業體ノ記載例

一三四頁

一五 調査期日ニ労働者一人ヲ使用シ他ニ家族労働者四人ニテ經營ノ運輸

事業體ノ記載例

一三五頁

一六 労働者以外ノ勞務者十人以上ヲ使用スル事務所商店ノ記載例

一三六頁

3 労働者30人以上使用ノ工業事業體ニシテ指定製品製造工場ノ記載例

㊦

昭和18年6月10日現在

㊧

事 業 票

労働部 労働局

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---------------------------------|---------------------|----------------------|-----------|-----------------------------------|---------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|---|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|---|---|--|
| 申告書 第 1 号 | 検査 印 | (在職は右尹西面 長之を記入す) | 労働技術統計 調査員検査 印 | 題 目 | 申告者 氏名 | 中 村 武 夫 | 捺 印 | 印 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一 事 業 體 の 所 在 地 | | 二 事 業 體 の 名 | | | 三 事 業 體 の 種 別 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 京 畿 道 京 城 府 西 区 船 場 10 番 地 | | 中 村 マ ッ チ 工 場 | | | 134 マ ッ チ 製 造 業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 四 勞 務 者 現 在 数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (a) 就 職 総 数 別 勞 務 者 数 | | | | | (b) 指 定 産 品 別 従 業 勞 務 者 数 (工場に限る) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 總 数 | 男 | 女 | 製 品 名 | 總 数 | 男 | 女 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 官公 の 集 に 依 る 者 の 数 | 社 に 依 る 者 の 数 | 63人 | 21人 | 42人 | マ ッ チ | 60人 | 57人 | 43人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 探 の 位 | 探 の 位 | 18人 | 15人 | 3人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 其 の 位 | 其 の 位 | 15人 | 12人 | 3人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | | 96人 | 51人 | 45人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (c) 年 齡 及 民 族 別 勞 務 者 数 (勞 務 者 三 十 人 未 滿 を 使 用 す る 工 業 事 業 體、 採 炭 事 業 體、 運 輸 事 業 體 に 限 る) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 男 | | | | | | | | | | 女 | | | | | | | | | | 合 計 | | | | | | | | | |
| | | 14歳以下 | 15歳 | 17歳 | 21歳 | 25歳 | 31歳 | 35歳 | 41歳 | 45歳 | 51歳 | 55歳 | 61歳 | 65歳以上 | 計 | 14歳以下 | 15歳 | 17歳 | 21歳 | 25歳 | 31歳 | 35歳 | 41歳 | 45歳 | 51歳 | 55歳 | 61歳 | 65歳以上 | 計 | 計 | |
| 種 数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日 本 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 其 の 他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 五 一 箇 年 の 解 雇 勞 務 者 数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 止 職 期 間 | 箇 月 未 滿 | 三 箇 月 未 滿 | 六 箇 月 未 滿 | 一 箇 年 未 滿 | 一 箇 年 以 上 | 合 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種 数 | | 1 | | 0 | | | 11 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 男 | | | 4 | 3 | | | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 女 | | 1 | | 3 | | | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 六 一 箇 月 の 勞 務 者 賃 金 支 拂 總 額 5,761 圓 備 考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

4 労働者30人以上使用ノ工業事業場ニテ指定製品ヲキ工場ノ記録簿

㊦

昭和18年6月19日現在

㊧

専 業 票

新 鮮 産 物

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|----------------------|----------------------------|-----------|---------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 労働調査簿の番號 第 1 紙 | (左欄は府尹署名) 長之を記入す | 労働検査統計 調査員捺印 | 日付 氏名 | 吉 永 藤 一 | 捺 印 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一 事業場の所在地 京畿道 京城 府 院 路 西 四 町 六丁目10番地 | 二 事業場の名 三 和 工 作 局 | 三 事業場の種別 53 マンブ及水産機械製造業 | 四 労働者管理在数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (a) 就職保証労働者数 | | (b) 指定製品用従事労働者数(工場に限る) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総数 | 男 | 女 | 総数 | 男 | 女 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 官公營職業紹介所の紹介に依るもの身元を兼ねるもの | 8 | 6 | 2 | / | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 専任採用 | 13 | 12 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 其の他 | 13 | 8 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 34 | 27 | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (c) 年齢及性別別労働者数 (労働者三十八未満と使用する工業事業場、製菓事業場、三陸之製菓に限る) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種 数 | 男 | | | | | | | | | | 女 | | | | | | | | | | 合 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 14歳以下 | 15 | 17 | 21 | 26 | 31 | 36 | 41 | 45 | 51 | 56 | 61 | 66 | 71 | 76 | 81 | 86 | 91 | 96 | 101 | | 106 | 111 | 116 | 121 | 126 | 131 | 136 | 141 | 146 | 151 | 156 | 161 | 166 | 171 | 176 | 181 | 186 | 191 | 196 | 201 | 206 | 211 | 216 | 221 | 226 | 231 | 236 | 241 | 246 | 251 | 256 | 261 | 266 | 271 | 276 | 281 | 286 | 291 | 296 | 301 | 306 | 311 | 316 | 321 | 326 | 331 | 336 | 341 | 346 | 351 | 356 | 361 | 366 | 371 | 376 | 381 | 386 | 391 | 396 | 401 | 406 | 411 | 416 | 421 | 426 | 431 | 436 | 441 | 446 | 451 | 456 | 461 | 466 | 471 | 476 | 481 | 486 | 491 | 496 | 501 | 506 | 511 | 516 | 521 | 526 | 531 | 536 | 541 | 546 | 551 | 556 | 561 | 566 | 571 | 576 | 581 | 586 | 591 | 596 | 601 | 606 | 611 | 616 | 621 | 626 | 631 | 636 | 641 | 646 | 651 | 656 | 661 | 666 | 671 | 676 | 681 | 686 | 691 | 696 | 701 | 706 | 711 | 716 | 721 | 726 | 731 | 736 | 741 | 746 | 751 | 756 | 761 | 766 | 771 | 776 | 781 | 786 | 791 | 796 | 801 | 806 | 811 | 816 | 821 | 826 | 831 | 836 | 841 | 846 | 851 | 856 | 861 | 866 | 871 | 876 | 881 | 886 | 891 | 896 | 901 | 906 | 911 | 916 | 921 | 926 | 931 | 936 | 941 | 946 | 951 | 956 | 961 | 966 | 971 | 976 | 981 | 986 | 991 | 996 | 1001 | 1006 | 1011 | 1016 | 1021 | 1026 | 1031 | 1036 | 1041 | 1046 | 1051 | 1056 | 1061 | 1066 | 1071 | 1076 | 1081 | 1086 | 1091 | 1096 | 1101 | 1106 | 1111 | 1116 | 1121 | 1126 | 1131 | 1136 | 1141 | 1146 | 1151 | 1156 | 1161 | 1166 | 1171 | 1176 | 1181 | 1186 | 1191 | 1196 | 1201 | 1206 | 1211 | 1216 | 1221 | 1226 | 1231 | 1236 | 1241 | 1246 | 1251 | 1256 | 1261 | 1266 | 1271 | 1276 | 1281 | 1286 | 1291 | 1296 | 1301 | 1306 | 1311 | 1316 | 1321 | 1326 | 1331 | 1336 | 1341 | 1346 | 1351 | 1356 | 1361 | 1366 | 1371 | 1376 | 1381 | 1386 | 1391 | 1396 | 1401 | 1406 | 1411 | 1416 | 1421 | 1426 | 1431 | 1436 | 1441 | 1446 | 1451 | 1456 | 1461 | 1466 | 1471 | 1476 | 1481 | 1486 | 1491 | 1496 | 1501 | 1506 | 1511 | 1516 | 1521 | 1526 | 1531 | 1536 | 1541 | 1546 | 1551 | 1556 | 1561 | 1566 | 1571 | 1576 | 1581 | 1586 | 1591 | 1596 | 1601 | 1606 | 1611 | 1616 | 1621 | 1626 | 1631 | 1636 | 1641 | 1646 | 1651 | 1656 | 1661 | 1666 | 1671 | 1676 | 1681 | 1686 | 1691 | 1696 | 1701 | 1706 | 1711 | 1716 | 1721 | 1726 | 1731 | 1736 | 1741 | 1746 | 1751 | 1756 | 1761 | 1766 | 1771 | 1776 | 1781 | 1786 | 1791 | 1796 | 1801 | 1806 | 1811 | 1816 | 1821 | 1826 | 1831 | 1836 | 1841 | 1846 | 1851 | 1856 | 1861 | 1866 | 1871 | 1876 | 1881 | 1886 | 1891 | 1896 | 1901 | 1906 | 1911 | 1916 | 1921 | 1926 | 1931 | 1936 | 1941 | 1946 | 1951 | 1956 | 1961 | 1966 | 1971 | 1976 | 1981 | 1986 | 1991 | 1996 | 2001 | 2006 | 2011 | 2016 | 2021 | 2026 | 2031 | 2036 | 2041 | 2046 | 2051 | 2056 | 2061 | 2066 | 2071 | 2076 | 2081 | 2086 | 2091 | 2096 | 2101 | 2106 | 2111 | 2116 | 2121 | 2126 | 2131 | 2136 | 2141 | 2146 | 2151 | 2156 | 2161 | 2166 | 2171 | 2176 | 2181 | 2186 | 2191 | 2196 | 2201 | 2206 | 2211 | 2216 | 2221 | 2226 | 2231 | 2236 | 2241 | 2246 | 2251 | 2256 | 2261 | 2266 | 2271 | 2276 | 2281 | 2286 | 2291 | 2296 | 2301 | 2306 | 2311 | 2316 | 2321 | 2326 | 2331 | 2336 | 2341 | 2346 | 2351 | 2356 | 2361 | 2366 | 2371 | 2376 | 2381 | 2386 | 2391 | 2396 | 2401 | 2406 | 2411 | 2416 | 2421 | 2426 | 2431 | 2436 | 2441 | 2446 | 2451 | 2456 | 2461 | 2466 | 2471 | 2476 | 2481 | 2486 | 2491 | 2496 | 2501 | 2506 | 2511 | 2516 | 2521 | 2526 | 2531 | 2536 | 2541 | 2546 | 2551 | 2556 | 2561 | 2566 | 2571 | 2576 | 2581 | 2586 | 2591 | 2596 | 2601 | 2606 | 2611 | 2616 | 2621 | 2626 | 2631 | 2636 | 2641 | 2646 | 2651 | 2656 | 2661 | 2666 | 2671 | 2676 | 2681 | 2686 | 2691 | 2696 | 2701 | 2706 | 2711 | 2716 | 2721 | 2726 | 2731 | 2736 | 2741 | 2746 | 2751 | 2756 | 2761 | 2766 | 2771 | 2776 | 2781 | 2786 | 2791 | 2796 | 2801 | 2806 | 2811 | 2816 | 2821 | 2826 | 2831 | 2836 | 2841 | 2846 | 2851 | 2856 | 2861 | 2866 | 2871 | 2876 | 2881 | 2886 | 2891 | 2896 | 2901 | 2906 | 2911 | 2916 | 2921 | 2926 | 2931 | 2936 | 2941 | 2946 | 2951 | 2956 | 2961 | 2966 | 2971 | 2976 | 2981 | 2986 | 2991 | 2996 | 3001 | 3006 | 3011 | 3016 | 3021 | 3026 | 3031 | 3036 | 3041 | 3046 | 3051 | 3056 | 3061 | 3066 | 3071 | 3076 | 3081 | 3086 | 3091 | 3096 | 3101 | 3106 | 3111 | 3116 | 3121 | 3126 | 3131 | 3136 | 3141 | 3146 | 3151 | 3156 | 3161 | 3166 | 3171 | 3176 | 3181 | 3186 | 3191 | 3196 | 3201 | 3206 | 3211 | 3216 | 3221 | 3226 | 3231 | 3236 | 3241 | 3246 | 3251 | 3256 | 3261 | 3266 | 3271 | 3276 | 3281 | 3286 | 3291 | 3296 | 3301 | 3306 | 3311 | 3316 | 3321 | 3326 | 3331 | 3336 | 3341 | 3346 | 3351 | 3356 | 3361 | 3366 | 3371 | 3376 | 3381 | 3386 | 3391 | 3396 | 3401 | 3406 | 3411 | 3416 | 3421 | 3426 | 3431 | 3436 | 3441 | 3446 | 3451 | 3456 | 3461 | 3466 | 3471 | 3476 | 3481 | 3486 | 3491 | 3496 | 3501 | 3506 | 3511 | 3516 | 3521 | 3526 | 3531 | 3536 | 3541 | 3546 | 3551 | 3556 | 3561 | 3566 | 3571 | 3576 | 3581 | 3586 | 3591 | 3596 | 3601 | 3606 | 3611 | 3616 | 3621 | 3626 | 3631 | 3636 | 3641 | 3646 | 3651 | 3656 | 3661 | 3666 | 3671 | 3676 | 3681 | 3686 | 3691 | 3696 | 3701 | 3706 | 3711 | 3716 | 3721 | 3726 | 3731 | 3736 | 3741 | 3746 | 3751 | 3756 | 3761 | 3766 | 3771 | 3776 | 3781 | 3786 | 3791 | 3796 | 3801 | 3806 | 3811 | 3816 | 3821 | 3826 | 3831 | 3836 | 3841 | 3846 | 3851 | 3856 | 3861 | 3866 | 3871 | 3876 | 3881 | 3886 | 3891 | 3896 | 3901 | 3906 | 3911 | 3916 | 3921 | 3926 | 3931 | 3936 | 3941 | 3946 | 3951 | 3956 | 3961 | 3966 | 3971 | 3976 | 3981 | 3986 | 3991 | 3996 | 4001 | 4006 | 4011 | 4016 | 4021 | 4026 | 4031 | 4036 | 4041 | 4046 | 4051 | 4056 | 4061 | 4066 | 4071 | 4076 | 4081 | 4086 | 4091 | 4096 | 4101 | 4106 | 4111 | 4116 | 4121 | 4126 | 4131 | 4136 | 4141 | 4146 | 4151 | 4156 | 4161 | 4166 | 4171 | 4176 | 4181 | 4186 | 4191 | 4196 | 4201 | 4206 | 4211 | 4216 | 4221 | 4226 | 4231 | 4236 | 4241 | 4246 | 4251 | 4256 | 4261 | 4266 | 4271 | 4276 | 4281 | 4286 | 4291 | 4296 | 4301 | 4306 | 4311 | 4316 | 4321 | 4326 | 4331 | 4336 | 4341 | 4346 | 4351 | 4356 | 4361 | 4366 | 4371 | 4376 | 4381 | 4386 | 4391 | 4396 | 4401 | 4406 | 4411 | 4416 | 4421 | 4426 | 4431 | 4436 | 4441 | 4446 | 4451 | 4456 | 4461 | 4466 | 4471 | 4476 | 4481 | 4486 | 4491 | 4496 | 4501 | 4506 | 4511 | 4516 | 4521 | 4526 | 4531 | 4536 | 4541 | 4546 | 4551 | 4556 | 4561 | 4566 | 4571 | 4576 | 4581 | 4586 | 4591 | 4596 | 4601 | 4606 | 4611 | 4616 | 4621 | 4626 | 4631 | 4636 | 4641 | 4646 | 4651 | 4656 | 4661 | 4666 | 4671 | 4676 | 4681 | 4686 | 4691 | 4696 | 4701 | 4706 | 4711 | 4716 | 4721 | 4726 | 4731 | 4736 | 4741 | 4746 | 4751 | 4756 | 4761 | 4766 | 4771 | 4776 | 4781 | 4786 | 4791 | 4796 | 4801 | 4806 | 4811 | 4816 | 4821 | 4826 | 4831 | 4836 | 4841 | 4846 | 4851 | 4856 | 4861 | 4866 | 4871 | 4876 | 4881 | 4886 | 4891 | 4896 | 4901 | 4906 | 4911 | 4916 | 4921 | 4926 | 4931 | 4936 | 4941 | 4946 | 4951 | 4956 | 4961 | 4966 | 4971 | 4976 | 4981 | 4986 | 4991 | 4996 | 5001 | 5006 | 5011 | 5016 | 5021 | 5026 | 5031 | 5036 | 5041 | 5046 | 5051 | 5056 | 5061 | 5066 | 5071 | 5076 | 5081 | 5086 | 5091 | 5096 | 5101 | 5106 | 5111 | 5116 | 5121 | 5126 | 5131 | 5136 | 5141 | 5146 | 5151 | 5156 | 5161 | 5166 | 5171 | 5176 | 5181 | 5186 | 5191 | 5196 | 5201 | 5206 | 5211 | 5216 | 5221 | 5226 | 5231 | 5236 | 5241 | 5246 | 5251 | 5256 | 5261 | 5266 | 5271 | 5276 | 5281 | 5286 | 5291 | 5296 | 5301 | 5306 | 5311 | 5316 | 5321 | 5326 | 5331 | 5336 | 5341 | 5346 | 5351 | 5356 | 5361 | 5366 | 5371 | 5376 | 5381 | 5386 | 5391 | 5396 | 5401 | 5406 | 5411 | 5416 | 5421 | 5426 | 5431 | 5436 | 5441 | 5446 | 5451 | 5456 | 5461 | 5466 | 5471 | 5476 | 5481 | 5486 | 5491 | 5496 | 5501 | 5506 | 5511 | 5516 | 5521 | 5526 | 5531 | 5536 | 5541 | 5546 | 5551 | 5556 | 5561 | 5566 | 5571 | 5576 | 5581 | 5586 | 5591 | 5596 | 5601 | 5606 | 5611 | 5616 | 5621 | 5626 | 5631 | 5636 | 5641 | 5646 | 5651 | 5656 | 5661 | 5666 | 5671 | 5676 | 5681 | 5686 | 5691 | 5696 | 5701 | 5706 | 5711 | 5716 | 5721 | 5726 | 5731 | 5736 | 5741 | 5746 | 5751 | 5756 | 5761 | 5766 | 5771 | 5776 | 5781 | 5786 | 5791 | 5796 | 5801 | 5806 | 5811 | 5816 |

5 労働者30人未満ヲ使用シ他「労働者以外ノ労働者」ヲ使用スル工業事業種ノ記載例

㊦

昭和16年6月10日現在

㊧

事 業 票

統計總務府

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-----------|---------------------|-----------------|-------------------------|-----------|--------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|---|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|---|---|----|
| *第1種調査種別の番號 第 1 種 | | (左欄は府尹邑長 長之を記入す) | 労働技術員計 調査員檢印 | 附 | 申告者 氏名 | 安田 忠誠 | 捺印 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一 事業種別の所在地 東京都 京橋区 本町三丁目一番地 | | 二 事業種別の名 三味酒造場 | | 三 事業種の種類 253和酒製造業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 四 労働者 現在 数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (a) 就 職 経 路 別 労働者数 | | | | (b) 指定製品別従事労働者数 (工場に限る) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総数 | 男 | 女 | 製 品 名 | 総数 | 男 | 女 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 官公營職に就くもの の紹介に依るもの | | | | 73 酒 51 | 24 | 24 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 専ら事業に依るもの | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 家族採用 | 27 | 27 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 其の他 | 4 | 2 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | 31 | 29 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (c) 年齢及性別別労働者数 (労働者三十人未満を使用する工業事業種、建設事業種、運輸事業種に限る) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | | | | | | | | | | 女 | | | | | | | | | | 合 計 | | | | | | | | | | | | |
| | 14 歳以下 | 15 歳 | 17 歳 | 21 歳 | 25 歳 | 29 歳 | 31 歳 | 33 歳 | 40 歳 | 45 歳 | 50 歳 | 55 歳 | 59 歳 | 63 歳 | 65 歳以上 | 計 | 14 歳以下 | 15 歳 | 17 歳 | 21 歳 | 25 歳 | 29 歳 | 31 歳 | 33 歳 | 40 歳 | 45 歳 | 50 歳 | 55 歳 | 59 歳 | 63 歳以上 | 計 | | |
| 総 数 | | | | 4 | 6 | 2 | 5 | 7 | 3 | | | | | | 25 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 31 |
| 日 本 人 | 内 地 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 外 籍 人 | | | | 4 | 6 | 4 | 6 | 7 | 5 | | | | | 23 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 31 |
| 其の他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 五 一 箇 年 以 上 の 解 雇 労働者数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 在 職 期 間 | 一 箇 月 未 満 | 三 箇 月 未 満 | 六 箇 月 未 満 | 一 箇 年 未 満 | 一 箇 年 以 上 | 合 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総 数 | | | | | 4 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 男 | | | | | 4 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 女 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 六 一 箇 月 の 労働者賃金を得給員 1,055 圓 | | | | 備 考 | | 給 仕 1 名 降 給 1 名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

6 労働者延300人以上ヲ使用シ調査月日ニ労働者30人
未滿ヲ使用スル土木建築事業體ノ記載例

㊦

昭和15年6月10日現在

㊧

報 告 票

朝鮮總督府

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---------------------|------------------|------------------------|---------------------------|--------|-----|----|----|----|----|----|----|-------|---|-------|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|-----|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|---|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|---|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|-------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|-------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 準備調査簿の番號 第 44 號 | (左側は府尹官印) 長之を記入す | 労務技術統計 調査員捺印 | 申告者 氏名 | 高 橋 平 一 | 捺 印 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一 事業體の所在地 成徳南邊 元山 肝野郡 西 旭 町 125 番地 | | 二 事業體の名 高 橋 組 | | 三 事業體の種別 273 土 木 建 築 業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 四 労働者 現 在 数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (1) 総数 | | | (2) 指定製品製造労働者数 (工場に限る) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 官公營に在るもの 若しくは 若しくは 若しくは | | | 製 品 名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 数 額 採 用 | | | 總 数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 其 の 他 | | | 男 女 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | | | 男 女 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (7) 年齢及性別別労働者数 (労働者三十人未滿を使用する工事業體、貸業事業體、運輸事業體に在る) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td rowspan="2"></td> <td colspan="10">男</td> <td colspan="10">女</td> <td rowspan="2">合 計</td> </tr> <tr> <td>14歳以下</td><td>15</td><td>17</td><td>21</td><td>25</td><td>31</td><td>38</td><td>41</td><td>48</td><td>51</td><td>58</td><td>61</td><td>68歳以上</td><td>計</td> <td>14歳以下</td><td>15</td><td>17</td><td>21</td><td>25</td><td>31</td><td>38</td><td>41</td><td>48</td><td>51</td><td>58</td><td>61</td><td>68歳以上</td><td>計</td> </tr> <tr> <td>總 数</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>日 本 人</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>其 の 他</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table> | | | | | | | 男 | | | | | | | | | | 女 | | | | | | | | | | 合 計 | 14歳以下 | 15 | 17 | 21 | 25 | 31 | 38 | 41 | 48 | 51 | 58 | 61 | 68歳以上 | 計 | 14歳以下 | 15 | 17 | 21 | 25 | 31 | 38 | 41 | 48 | 51 | 58 | 61 | 68歳以上 | 計 | 總 数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 日 本 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 其 の 他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | | | | | | | | | | 女 | | | | | | | | | | 合 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 14歳以下 | 15 | 17 | 21 | 25 | 31 | 38 | 41 | 48 | 51 | 58 | 61 | 68歳以上 | 計 | 14歳以下 | 15 | 17 | 21 | 25 | 31 | | 38 | 41 | 48 | 51 | 58 | 61 | 68歳以上 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 總 数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日 本 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 其 の 他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 五 一 箇 年 の 解 雇 労働者 数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 在 職 期 間 | 一箇月未滿 | 三箇月未滿 | 六箇月未滿 | 一箇年未滿 | 一箇年以上 | 合 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 總 数 | | | 15 | | | 15 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 男 | | | 15 | | | 15 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 女 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 六 一箇月の労働者賃金支拂總額 1,054 圓 備 考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

7 事業ノ種類二種以上ニ亙ル労働者30人以上ノ工業事業體ノ記載例

㊦

昭和15年6月10日現在

㊧

事業票

統計總督府

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---------------------|-----------------|-----------------------|-----------|---------------|--------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|-------|---|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|-------|---|--|
| 事業票発給の番號 第 20 號 | (左欄は許す已む 長之を記入す) | 労働技術統計 調査員捺印 | 製 鋸 | 申告者 氏名 | 金 海 洪 林 洪 印 國 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一 事業體の所在地 | | 二 事業體の名 | | 三 事業の種類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高 級 精 米 所 | | 高 級 精 米 所 | | 249 精 穀 業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 四 労働者現在数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 初 級 級 別 別 労働者数 | | | ② 指定製品別従事労働者数 (工場に在る) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総数 | 男 | 女 | 製 品 名 | 総数 | 男 | 女 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 官公・専・職・業・社・介・所 の紹介に依るもの | | | | 67 精 米 | 18 | 18 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 企業従事者の 募集に依るもの | | | | 69 穀 粉 | 11 | 11 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰 取 採 用 | 23 | 23 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 其 の 他 | 5 | 4 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | 33 | 32 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ 年齢及性別別労働者数 (労働者三十人未満を使用する工業事業體、農業事業體、運輸事業體に限る) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | | | | | | | | | | | | 女 | | | | | | | | | | | | 合 計 | | | | | | |
| | 14歳以下 | 15 | 17 | 21 | 28 | 31 | 39 | 41 | 48 | 51 | 53 | 61 | 63 | 63歳以上 | 計 | 14歳以下 | 15 | 17 | 21 | 23 | 31 | 38 | 41 | 48 | 51 | 56 | 61 | 66 | 66歳以上 | 計 | |
| 職 数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日 本 人 | 内地人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 朝鮮人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 其の他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 其の他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 五 一 箇 年 の 解 雇 労働者数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 在 職 期 間 | 一箇月未満 | 三箇月未満 | 六箇月未満 | 一箇年未満 | 一箇年以上 | 合 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 職 数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 男 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 女 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 六 一箇月の労働者賃金支払総額 1,700 圓 | | | | 備 考 | | 給付金と労働者トフ賃金スルニ精穀業ノ所属労働者多数ニ付精穀業トシテ申告ス | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

8 調査期日 = 接近シ開業シタル労働者三十人未満ノ工業事業種ニシテ賃金支拂ナキ場合ノ記載例

(工)

昭和18年6月10日現在

(被)

事 業 票

新 詳 總 査 計

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-------------------|------------------------|-------------------------|---------------------------|-----------|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|---|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|---|----|
| 労働調査簿の番號 第 01 號 | (左欄は府尹(邑兩)長之を記入す) | 労働技術統計 調査員捺印 | 申告者 氏名 松 橋 正 夫 | 捺印 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一 事業種の所在地 全羅北道 蔚山 市 西 區 洞 101 番 地 | | 二 事業種の名 松 橋 絨 物 工 場 | | 三 事業種の種別 211 絨 物 製 造 業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 国 勞 務 者 現 在 数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 印 記 職 種 別 勞 務 者 数 | | | (c) 指定製品別従事労働者数 (工場に限る) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総 数 男 女 | | | 製 品 名 総 数 男 女 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 官公營に 係する者 其の他 | | | 49 絨 物 10 2 8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 其の他 | | | 合 計 13 5 8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (d) 年齢及民籍別労働者数 (労働者三十人未満と使用する工業事業種、農業事業種、運輸事業種に限る) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 男 | | | | | | | | | | 女 | | | | | | | | | | 合 計 | | | | | | | | |
| | | 14歳以下 | 15歳 | 17歳 | 21歳 | 26歳 | 31歳 | 36歳 | 41歳 | 46歳 | 51歳 | 56歳 | 61歳 | 63歳以上 | 計 | 14歳以下 | 15歳 | 17歳 | 21歳 | 26歳 | 31歳 | 36歳 | 41歳 | 46歳 | 51歳 | 56歳 | 61歳 | 63歳以上 | 計 | 計 |
| 總 数 | 女 | | | 1 | 2 | 1 | | | | | | | | | 5 | | | 3 | 5 | | | | | | | | | | 8 | 13 |
| 日 本 人 | 内地人 | | | | 3 | | | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | 3 | 3 |
| 人 其の他 | 朝鮮人 | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | 2 | | | 2 | 5 | | | | | | | | | | 6 | 10 |
| 其の他 | 其の他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 五 一 箇 年 の 解 雇 勞 務 者 数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 在 職 期 間 | | 一 箇 月 未 滿 | 三 箇 月 未 滿 | 六 箇 月 未 滿 | 一 箇 年 未 滿 | 一 箇 年 以 上 | 合 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 總 数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 男 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 女 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 六 一 箇 月 の 勞 務 者 賃 金 支 拂 總 額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 注 考 昭和18年6月1日附屬ニシテ労働者ノ賃金未 納ナリ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

10 労働者 30 人未滿使用ノ鑛業事業體ノ記載例

昭和 18 年 6 月 10 日現在

鑛業票

精計監督府

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-------------------|----------------------|---------|-------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|----|----|
| 申請書番号の表紙 第 1 號 | (左欄は府尹(長官)比之を記入す) | 労働技術統計 調査員捺印 | 国 | 申告者 氏名 | 位 務 務 | 捺印 | 印 | | | | | | | | |
| 一 事業體の所在地 成城北道 明川 茨城 316 番地 | | 二 事業體の名 位 務 鐵 業 所 | | 三 事業體の種類 石 炭 鑛 業 | | | | | | | | | | | |
| 四 労働者 現 在 数 | | | | | | | | | | | | | | | |
| (a) 就 職 経 路 別 労働者数 | | | | (b) 指定製品同従事労働者数 (工場に限る) | | | | | | | | | | | |
| | 总数 | 男 | 女 | 製 品 名 | 数 | 男 | 女 | | | | | | | | |
| 官公營の 委託に 依るもの 募集に 依るもの | | | | | | | | | | | | | | | |
| 紹介の 依るもの | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種 故 採 用 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 其 の 他 | 24 | 24 | | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | 24 | 24 | | | | | | | | | | | | | |
| (c) 年齢及性別別労働者数 (労働者三十人未滿を使用する工業事業體、鑛業事業體、建設事業體に限る) | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | | | | 女 | | | | 合 計 | | | | | | |
| | 14 以下 | 15 歳 | 17 歳 | 21 歳 | 25 歳 | 31 歳 | 36 歳 | 41 歳 | 46 歳 | 51 歳 | 56 歳 | 61 歳 | 66 歳以上 | 計 | |
| 總 数 | | | | 4 | 0 | 0 | 2 | | | | | | | 24 | 24 |
| 日 本 人 | 内地人 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 朝鮮人 | | | 4 | 0 | 0 | 2 | | | | | | | 24 | 24 |
| 其 の 他 | | | | | | | | | | | | | | 2 | 2 |
| 五 一 箇 年 の 解 雇 労働者数 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 在 職 期 間 | 一箇月未滿 | 三箇月未滿 | 六箇月未滿 | 一箇年未滿 | 一箇年以上 | 合 計 | | | | | | | | | |
| 總 数 | | 1 | 15 | 10 | 1 | 27 | | | | | | | | | |
| 男 | | 1 | 15 | 10 | 1 | 27 | | | | | | | | | |
| 女 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 六 一 箇 月 の 労働者賃金支拂總額 1,630 圓 | | | | | | | | | | | | | | | |

11. 労働者30人以上使用ノ工業事業種ノ記載例

昭和18年6月10日現在

専業票

朝鮮總督府

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---------------------|-----------------|-----------|-------------------------|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|---|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|---|---|
| 労働調査簿の番號 第 1 號 | (左記は合尹邑西 長之を記入す) | 労働技術統計 調査員捺印 | 國 | 申告者 氏名 | 岸本 次郎 | 捺印 | 國 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一 事業種の所在地 | 二 事業種の名 | | 三 事業の種類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 咸鏡南道 惠山郡 興西山下羊川洞 10番地 | 製糖社 下山羊川製糖所 | | 1 合 屬 糖 業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 四 労働者 現 在 数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (A) 就職在務別労働者数 | | | | (B) 特定製品別従事労働者数 (工場に限る) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総数 | 男 | 女 | 製 品 名 | 總数 | 男 | 女 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 官公署に 紹介されるもの | 47人 | 47人 | 0人 | / | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 専ら従事するもの | 24人 | 24人 | 0人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 兼従用 | 23人 | 22人 | 1人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 其 の 他 | 50人 | 14人 | 33人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | 147人 | 103人 | 37人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (C) 年齢及性別別労働者数 (労働者三十人未満を使用する工業事業種、農業事業種、運輸事業種に限る) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | | | | | | | | | | 女 | | | | | | | | | | 合 計 | | | | | | | | |
| | 14歳以下 | 15歳 | 17歳 | 21歳 | 23歳 | 31歳 | 33歳 | 41歳 | 43歳 | 51歳 | 53歳 | 61歳 | 63歳以上 | 計 | 14歳以下 | 15歳 | 17歳 | 21歳 | 23歳 | 31歳 | 33歳 | 41歳 | 43歳 | 51歳 | 53歳 | 61歳 | 63歳以上 | 計 | 計 |
| 總 数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日 本 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 其 の 他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 其 の 他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 五 一 箇 年 の 解 雇 労働者 数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 在 職 期 間 | 一 箇 月 未 満 | 三 箇 月 未 満 | 六 箇 月 未 満 | 一 箇 年 未 満 | 一 箇 年 以 上 | 合 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 總 数 | | 7 | 19 | 4 | 81 | 91 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 男 | | 4 | 12 | 2 | 43 | 61 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 女 | | 3 | 7 | 2 | 38 | 50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 六 一 箇 月 の 労働者貸金支拂總額 11,610 圓 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 備 考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

13 労働者30人未満使用ノ運輸事業種ノ記載例



昭和18年6月10日現在



事 業 票

朝鮮總督府

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|----------|--------------------------|-----------------|-----------------------|----------|----------|--------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----|
| 準則別表第幾の号就 第 1 號 | | (主観は府尹總面 長之を記入す) | 労働技術校計 調査員後印 | 申告者 氏名 | 松平 春治 | 捺印 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一 事業種の所在地 成徳南道成州郡川原邑上中洞里21番地 | | 二 事業種の名 神崎運送株式会社川原倉庫所 | | 三 事業種の種別 7 小 運 送 業 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 四 労働者数 現在数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (a) 就職経路別労働者数 | | | | (b) 指定製品別労働者数(工場に限る) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 總数 | 男 | 女 | 製 品 名 | 總数 | 男 女 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 官公營職業紹介所の紹介に依るもの募集に依るもの | | | | / | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 縁故採用 | 6 | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 其の他 | 8 | 8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | 14 | 14 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| PY 年齢別種別労働者数 (労働者三十人未満と使用する工場事業種、商業事業種、運輸事業種に限る) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | | | | | | 台 計 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 14 以下 | 15 16 | 17 18 | 21 22 | 23 24 | 25 26 | | 27 28 | 31 32 | 33 34 | 35 36 | 41 42 | 43 44 | 45 46 | 51 52 | 53 54 | 55 56 | 61 62 | 63 64 | 65 以上 | 計 |
| 總 数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 14 |
| 日 本 人 | 内 22 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 朝鮮人 | | | 2 | 3 | 3 | 8 | | | | | | | | | | | | | | 10 |
| | 其の他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 其の他 | | | | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 |
| 五 一 箇 年 の 解 雇 労働者数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 在 職 期 間 | 一箇月未満 | 三箇月未満 | 六箇月未満 | 一箇年未満 | 一箇年以上 | 合 計 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 總 数 | | | | 5 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 男 | | | | 3 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 女 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 六 一箇月の労働者賃金支持総額 533 圓 45 銭 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

一三三

14 労働者30人以上使用ノ運輸事業體ノ記載例

昭和18年6月10日現在

事業票

新幹線資研

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---------------------|-----------------|-------------------------|-----------|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|--|--|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|--|--|
| 事業票番号の表記 第 1 号 | | (左側は府尹区町 支庁を記入す) | 労働技術統計 訂正員捺印 | ⑤ | 申告者 氏名 | 高木 常雄 | 捺印 | ⑥ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一 事業體の所在地 | | 二 事業體の名 | | 三 事業の種別 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 静岡県大田郡本町 | | 三南自動車株式会社 | | 自動車運送業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 四 労働者現在数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (A) 鉄道區路別労働者数 | | | | (B) 指定製造別従事労働者数 (工場に在る) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 総数 | 男 | 女 | 製品名 | 総数 | 男 | 女 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 官公営の事業に在るもの | 5 | 5 | | / | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 民間企業に在るもの | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 株主探用 | 14 | 10 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 26 | 20 | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 45 | 35 | 10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (C) 年齢及民籍別労働者数 (労働者三十人未満を使用する工場を除く、特殊な職種、運輸事業に在る) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="8">男</td> <td colspan="8">女</td> <td>合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>14歳以下</td> <td>15</td> <td>17</td> <td>21</td> <td>28</td> <td>31</td> <td>38</td> <td>41</td> <td>48</td> <td>51</td> <td>59</td> <td>61</td> <td>69</td> <td>計</td> <td>14歳以下</td> <td>15</td> <td>17</td> <td>21</td> <td>28</td> <td>31</td> <td>38</td> <td>41</td> <td>48</td> <td>51</td> <td>59</td> <td>61</td> <td>69</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>歳</td> <td>以上</td> <td></td> <td>歳</td> <td>以上</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | | | | | | | | | 男 | | | | | | | | 女 | | | | | | | | 合 | | 14歳以下 | 15 | 17 | 21 | 28 | 31 | 38 | 41 | 48 | 51 | 59 | 61 | 69 | 計 | 14歳以下 | 15 | 17 | 21 | 28 | 31 | 38 | 41 | 48 | 51 | 59 | 61 | 69 | 計 | | | | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 以上 | | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 以上 | | |
| | 男 | | | | | | | | 女 | | | | | | | | 合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 14歳以下 | 15 | 17 | 21 | 28 | 31 | 38 | 41 | 48 | 51 | 59 | 61 | 69 | 計 | 14歳以下 | 15 | 17 | 21 | 28 | 31 | 38 | 41 | 48 | 51 | 59 | 61 | 69 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 以上 | | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 以上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日本人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 朝鮮人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 五 一年間の解雇労働者数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 左 解 雇 期 間 | 一 月 未 満 | 三 月 未 満 | 六 月 未 満 | 一 年 未 満 | 一 年 以 上 | 合 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 總 数 | 5 | 3 | 10 | 2 | 2 | 22 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 男 | | | 8 | 2 | 2 | 12 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 女 | 5 | 3 | 2 | | | 10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 六 一 月 間 の 労 務 者 賃 金 支 拂 總 額 | 2,809 圓 | | 備 考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

15 調査期日=労働者1人ヲ使用シ他=家族労働者4人ニテ櫻島ノ運輸事業體ノ記載例



昭和15年6月10日現在



専 業 票

精詳検査済

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---------------------|---------------------------------|-------------------------|-----------|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|---|--|--|--|
| 労働調査票の番號 第 5 號 | (左欄は必ず記入) 我之を記入す | 労働技術統計 調査員捺印 | ⑧ | 申告者 氏名 | ⑨ | ⑩ | ⑪ | | | | | | | | | | | |
| 一 事業體の所在地 京畿道京城野 田區教岩町475番地 | 二 事業體の名 福 本 商 店 | 三 事業の種類 8 其ノ他ノ陸上運輸業 (馬力支) | 四 労働者 現 在 数 | | | | | | | | | | | | | | | |
| (a) 就 職 種 別 別 労働者数 | | | (b) 指定製品別従事労働者数 (工場に限る) | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 總 数 | 男 | 女 | 製 品 名 | 總 数 | 男 | 女 | | | | | | | | | | | |
| 官公營事業に の紹介に依るもの | | | | / | | | | | | | | | | | | | | |
| 社会事業に依るもの | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 家族に依るもの | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 繰返採用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 其の他 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (c) 年齢及性別別労働者数 (労働者三十人未満を供用する工業事業體、農業事業體、運輸事業體に限る) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男 | | | | | | 女 | | | | | | 合 計 | | | | | |
| | 14歳以下 | 15歳 | 17歳 | 21歳 | 25歳 | 30歳 | 35歳 | 40歳 | 45歳 | 50歳 | 55歳 | 60歳 | 65歳 | 66歳以上 | 計 | | | |
| 總 数 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| 日 本 人 | 内地人 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 朝鮮人 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 其の他 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 其の他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 五 一 箇 年 の 雇 用 労働者数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 在 職 期 間 | 一 箇 月 未 満 | 三 箇 月 未 満 | 六 箇 月 未 満 | 一 箇 年 未 満 | 一 箇 年 以 上 | 合 計 | | | | | | | | | | | | |
| 總 数 | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | |
| 男 | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | |
| 女 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 六 一 箇 月 の 労働者賃金支持總額 50 圓 初 歩 家族労働者 4人ア? | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

一三五

16 労働者以外ノ労働者10人以上ヲ使用スル事務所商店ノ記載例

昭和18年6月10日現在

事業票

朝鮮總督府

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|------------------------|-----------------|-------------------------|-----------|-----|----|----|-------|----|----|-------|-----|-----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|--|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|-----|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|-----|---|
| 事務所支店ノ番號 第 1 號 | (左欄に府尹(官)長之を記入す) | 労働技術統計 調査員捺印 | 型 | 申告者 氏名 | 山口 昭之助 | 捺印 | 認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一 事業體の所在地 府 本 町 三丁目2番地 京 畿 道 京 城 府 本 町 三丁目2番地 | 二 事業體の名 山 口 商 店 | 三 事業の種類 1 物 品 販 賣 業 | 目 勞 務 者 者 現 在 數 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (a) 総 務 係 階 級 別 持 者 數 | | | | (b) 指定製品別従事労働者數 (工場に限る) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 總 數 | 男 | 女 | 規 品 名 | 總 數 | 男 | 女 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 官公營職業紹介所の紹介に依るもの募集に依るもの | | | | / | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 株 式 採 用 | 6 | 4 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 其 の 他 | 8 | 5 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | 14 | 9 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (c) 年齢及性別別労働者數 (労働者三十人未満を雇用する工場事務所、興業事業體、定住事業體に限る) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="8">男</td> <td colspan="8">女</td> <td>合 計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>14</td><td>15</td><td>17</td><td>21</td><td>26</td><td>31</td><td>38</td><td>41</td><td>49</td><td>51</td><td>56</td><td>61</td><td>68</td> <td>14</td><td>15</td><td>17</td><td>21</td><td>25</td><td>31</td><td>33</td><td>41</td><td>49</td><td>51</td><td>56</td><td>61</td><td>68</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>歳以下</td><td>歳</td><td>歳</td><td>歳</td><td>歳</td><td>歳</td><td>歳</td><td>歳</td><td>歳</td><td>歳</td><td>歳</td><td>歳</td><td>歳以上</td> <td>歳以下</td><td>歳</td><td>歳</td><td>歳</td><td>歳</td><td>歳</td><td>歳</td><td>歳</td><td>歳</td><td>歳</td><td>歳</td><td>歳</td><td>歳以上</td> <td>計</td> </tr> </table> | | | | | | | | | 男 | | | | | | | | 女 | | | | | | | | 合 計 | | 14 | 15 | 17 | 21 | 26 | 31 | 38 | 41 | 49 | 51 | 56 | 61 | 68 | 14 | 15 | 17 | 21 | 25 | 31 | 33 | 41 | 49 | 51 | 56 | 61 | 68 | 計 | | 歳以下 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳以上 | 歳以下 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳以上 | 計 |
| | 男 | | | | | | | | 女 | | | | | | | | 合 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 14 | 15 | 17 | 21 | 26 | 31 | 38 | 41 | 49 | 51 | 56 | 61 | 68 | 14 | 15 | 17 | 21 | 25 | 31 | 33 | 41 | 49 | 51 | 56 | 61 | 68 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 歳以下 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳以上 | 歳以下 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳 | 歳以上 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 性 別 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日 本 人 | 内・地 人 | | | | | | | | 朝 鮮 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 其 の 他 | 其 の 他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 其 の 住 居 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 五 一 箇 年 の 解 雇 勞 務 者 數 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 在 職 期 間 | 一 箇 月 未 滿 | 三 箇 月 未 滿 | 六 箇 月 未 滿 | 一 箇 年 未 滿 | 一 箇 年 以 上 | 合 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 總 數 | | | 2 | 4 | | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 男 | | | | | | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 女 | | | 2 | 4 | 1 | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 六 一 箇 月 の 勞 務 者 員 金 支 拂 結 算 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | 735 圓 | 備 考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

二 勞務票

勞務票は調査員又は副調査員が勞務者から一々調査事項を聞いて記入するのであつて、調査當日に勞働者を三十人以上使つてゐる工業、鑛業、運輸各事業體と本調査に該當する事務所商店では總て使ふのである。先づ欄外左上部の○の中には調査員又は副調査員が事業票から⑤、⑥、⑦、⑧の記號を移記するのである。

昭和 年 月 日現在のところは事業票の記入と全く同様であるから省略する。

「準備調査簿の番號」は調査員、副調査員が事業票から其の番號を移記するのである。

「勞務票通し番號」は、例へば或る工場で勞務票を十枚使用する場合はこの番號は十枚の内第一號から第十號迄となるのであつて、これは次の「勞務者通し番號」を記入し終つてから書くのであるが、假りに勞務票を一枚しか使用しない場合であつても一枚の内一號と書くのである。

「調査員檢印」は、全部の勞務票を作成してからよく其の内容を檢査して間違がなかつたら捺印するのであつて、内容の檢査もせず給仕に捺印せしめるが如きことのない様注意を要する。

次の「事業體の所在地」及「事業體の名」の二欄も調査員、副調査員が各受持の分に記入するのである。

「勞務者通し番號」は、勞務票の内容検査を完了し間違ひのないことを確かめた上で、一連番號を記入するのであつて絶対に缺番はないのである。

尙副調査員を使用する大規模の工場、鑛山等では調査員と副調査員の調査した勞務者の合計が一連番號として調査員の分が先きに副調査員の分が後に順次記入されるのであるが、此の場合各受持の勞務票の最終用紙には無記入の欄の出来る場合もあるし、又誤記、移動等により途中を抹消した場合も起るから通し番號を附けるときはよく下欄の記入の如何を確かめた上で缺番の起らぬ様記入を要するのである。

㊦

昭和18年6月10日現在

㊧

労務票

朝鮮總督府

| | | | | | | | | | | |
|----------|---------|---------|---------------|------|---|---|---|---|---|----|
| 準備調査簿の番號 | 第 67 號 | 勞務票通し番號 | 第 1 號 | 検査員印 | ㊦ | | | | | |
| 事業體の所在地 | 府 慶 院 風 | 事業體の名称 | 大 陸 鋼 材 工 業 所 | | | | | | | |
| 勞務者通し番號 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |

前項の記入上の注意を誤つた爲、大規模事業體等に於て勞務者通し番號と勞務者の總人員と合致しないものがあつて之が整理に相當の手續を要したのである。

一 氏 名

名前を正確に書入れるのである。

二 男女の別

男は「男」、女は「女」の文字を圍んで㊦、㊧の様に○印をつけるのである。

三 出生の年月日

實際生れた年月日を書くのであるが、例へば日傭労働者などで出生の年月日が不明の者があれば推定年齢を何歳と書くのである。

(記載例)

| | | | | | | | | | | | |
|---|------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|----------------------|---------------|---------------|-----------------|------|
| 一 | 氏名 | 清水一郎 | 吉永在男 | 高山 | 男松山豊榮 | 水村義男 | 金本一龍 | 國本泰秀 | 女田徳泰 | 松山英子 | 岸 慶子 |
| 二 | 男の 女の | ㊦ | ㊦ | ㊦ | ㊦ | ㊦ | ㊦ | ㊦ | ㊦ | ㊦ | ㊦ |
| 三 | 出生の 年月日 | 明治44年 3月16日 | 明治43年 8月26日 | 明治24年 10月7日 | 大正11年 8月20日 | 大正14年 10月26日 | 34歳 大正7年 10月6日 | 大正7年 5月12日 | 大正9年 4月12日 | 大正12年 10月18日 | 昭和2年 |

男女の別欄では男、女双方共○印を附けたもの、全然○印を附けないもの、○印を附けないで斜線で消したものがあり、出生の年月日欄では記入洩のもの、漢字で記入したもの、明治、大正、昭和等の年號を附けないもの又は明、大、昭の如く略記したものが相當あつたがこれ等は何れも本府に於ける事務處理上支障が多かつたのである。

四 卒業又は修業國民學校所在地

本項目は朝鮮に於ては昭和十八年より始めて調査を行ふものであつて、勞務者の卒業又は修業の國民學校の所在道名と更にその所在地が府部か、郡部かと言ふことを調べるのである。

1 國民學校初等科又は六年制度の國民學校を修了又は卒業した者（尋常小學校又は六年制度の普通學校を卒業した者）はその學校の所在する道名を、例へば「全羅南道」の如く記入し、更にその學校が府にあれば「府部」に、郡又は島にあれば「郡部」に○印をつけるのである。此の場合修了又は卒業した時はその學校が郡に在つたが、現在では府に編入されて居れば府部に○印をつけるのである。

2 國民學校初等科を修了、又は六年制度の國民學校を卒業し更に國民學校高等科をも修了した者（尋常小學校又は六年制度の普通學校を卒業し高等小學校をも卒業した者）は、卒業した高等科を置く國民學校（高等小學校）の所在地を1のとこで説明した様に記入するのである。

3 國民學校初等科又は六年制度の國民學校を中途退學した者（尋常小學校又は六年制度の普通學校を中途退學した者、四年制度の普通學校又は簡易學校を卒業或は中途退學した者）は、最後

に修業した初等科を置く國民學校又は六年制度の國民學校（尋常小學校、普通學校、簡易學校）の所在地を1と同様に記入するのである。

4 國民學校高等科を中途退學した者（高等小學校を中途退學した者）は、卒業した初等科を置く國民學校（尋常小學校）又は六年制度の國民學校（六年制度の普通學校）の所在地を1と同様に記入するのである。

5 不就學の者は出生地の道名及府部、郡部の別を1に倣つて記入するのである。

6 内地の國民學校を卒業した者は道と印刷してある文字の左側に「内地」と書き、朝鮮以外の外地の國民學校（これに準ずるものを含む）を卒業した者は道の左側に「臺灣」、「樺太」、「關東州」、「南洋群島」等の様に書くのである。尙内地及朝鮮以外の外地の國民學校を中途退學した者、内地及朝鮮以外の外地で生れて不就學の者も右と同様に道の左側に「内地」「臺灣」、「樺太」、「關東州」、「南洋群島」等の様に記入するのである。

7 外國で國民學校に類する學校を卒業した者は道の左側にその國名を、例へば「滿洲國」の如く記入し又外國で國民學校に類する學校を中途退學した者、外國で生れて不就學の者も右に倣つ

て記入するのである。

五 配偶者の有無

本項目も朝鮮に於ては始めて調査するのであるが、現に妻又は夫のある者は籍を入れてなくとも「有」、妻又は夫の無い者は「無」の文字を圍んで㊦又は㊧の如く○印をつけるのである。

六 教育の程度

本項目も朝鮮では始めて調査を行ふのであるが、勞務者の卒業又は修業した學校を次の「教育程度分類表」に依つて其の分類の番號と名稱を、例へば「3 國初卒」、「16 實業退」の様に記入するのである。此の場合若し同程度の二つ以上の學校を卒業するか又は修業して居れば最後の學校に依るのである。

尙一、二の例を申述べれば、六年制度の普通學校を卒業し修業年限一年乃至三年程度の實業補習學校を卒業した者は「6 青年退」と記入し、又内地の青年學校普通科を修了した者又は青年學校普通科を修了し、本科を中途退學した者も同様「6 青年退」に入るのである。鎮南浦商工學校を卒業した者の如きは商科は「15 商業卒」工科は「13 工業卒」と記入するのである。

又同一程度の學校を二箇所卒業した様な場合には最後に卒業した學校名を書くのである。

教育程度分類表

- 1 不就學 (不就學のもの)
- 2 國初退 (國民學校初等科、六年制度の國民學校、尋常小學校、六年制度の普通學校を中途退學のもの及四年制度の普通學校、簡易學校を卒業又は中途退學のもの)
- 3 國初卒 (國民學校初等科、六年制度の國民學校、尋常小學校、六年制度の普通學校を卒業したるもの)
- 4 國高退 (國民學校高等科、高等小學校を中途退學のもの)
- 5 國高卒 (國民學校高等科、高等小學校を卒業したるもの)
- 6 青年退 (青年學校を中途退學のもの)
- 7 青年卒 (青年學校を卒業したるもの)
- 8 中學退 (中學校を中途退學のもの)
- 9 中學卒 (中學校を卒業したるもの)

- 10 高女退 (高等女學校を中途退學のもの)
- 11 高女卒 (高等女學校を卒業したるもの)
- 12 工業退 (工業學校を中途退學のもの)
- 13 工業卒 (工業學校を卒業したるもの)
- 14 商業退 (商業學校を中途退學のもの)
- 15 商業卒 (商業學校を卒業したるもの)
- 16 實業退 (其の他の實業學校を中途退學のもの)
- 17 實業卒 (其の他の實業學校を卒業したるもの)
- 18 専門退 (専門學校以上の學校を中途退學のもの)
- 19 専門卒 (専門學校以上の學校を卒業したるもの)
- 20 其他退 (其の他の學校を中途退學のもの)
- 21 其他卒 (其の他の學校を卒業したるもの)

(記号)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------------------------------------|----|-------------|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 四 | 職業分類 は思 は な い 地 域 | 府部 | 内 地 道 | 京畿道 | 府部 | 黄 海 道 | 府部 | 京 畿 道 | 府部 | 京 畿 道 | 府部 | 江 原 道 | 府部 | 平 安 道 | 府部 | 全 羅 道 | 府部 | 京 畿 道 | 府部 | 京 畿 道 | |
| | | 郡部 | 郡部 | 郡部 | 郡部 | 郡部 | 郡部 | 郡部 | 郡部 | 郡部 | 郡部 | 郡部 | 郡部 | 郡部 | 郡部 | 郡部 | 郡部 | 郡部 | 郡部 | 郡部 | 郡部 |
| 五 | 配偶者 の有 無 | 無 | 無 | 無 | 無 | 無 | 無 | 有 | 無 | 無 | 無 | 無 | 無 | 有 | 有 | 有 | 有 | 有 | 有 | 有 | |
| 六 | 教育 の 程 度 | 5 | 國 高 卒 | 2 | 國 初 退 | 1 | 不 就 學 | 3 | 國 初 卒 | 3 | 國 初 卒 | 16 | 實 業 退 | 3 | 國 初 卒 | 3 | 國 初 卒 | 10 | 高 女 退 | 3 | 國 初 卒 |

七 職 名

勞務者の職名は自由に記入するのではなくて左に掲載の職業分類表に依つて記入するのである。例へば金屬工業のレンズ検査工ならば「2 レンズ検査工」と記入し、分類表中「1 製圖手、企劃手」から「29 荷造工、運搬工、雑役工」迄にない勞働者は「30 其ノ他ノ勞働者」と書いて更に括弧をして職名表には無いが自分の職名を書くのである。又分類表の31から35迄は勞働者以外の勞務者に對するもので、小使なら「31 小使」、タイピストなら「33 タイピスト」と書き、31から34迄にない勞働者以外の勞務者は、「35 其ノ他ノ勞働者以外ノ勞務者」と書き更に括弧をして、例へば「35 其

ノ他ノ勞働者以外ノ勞務者(看護婦)等と書くのである。

工業、鑛業、運輸事業體の職業分類表の仕組及書き方は大體以上の通であるが、最後の事務所商店の職業分類表は1から9迄が勞働者以外の勞務者で、10から13迄が勞働者となつてゐるのである。尙職名がどれに入るか不明確の場合は一應これであらうと思はれる職名を書いて、更に括弧をして職業の内容を精しく書いて置くのである。

尙職名欄に内外乗非とあるのは、鑛業事業體(土石採取事業體を除く)の勞務者で坑内で働いてゐる者は「内」、坑外で働いてゐる者は「外」の文字を圍んで㊦又は㊧の如く○印を付け、運輸事業體の勞務者で乗務員は「乗」、乗務員でないものは「非」の文字を圍んで㊨又は㊩の如く○印を付けるのである。

職業分類表

工業事業體

一 金屬工業

二 機械器具工業 (共通)

- 1 製圖手、企劃手
- 2 機械検査工、試運轉工、金屬試驗工、實驗工、
レンズ検査工、分析工
- 3 木型工、木工、造船工、製材工、合板工

- | | | | |
|----|---|----|------------------------|
| 4 | 製銑工、製鋼工、非鐵金屬製錬工 | 18 | 航空機組立工、自動車工 |
| 5 | 鑄物工、金屬熔融工 | 19 | 機裝工 |
| 6 | 壓延伸張工 | 20 | 電池工 |
| 7 | 鍛工 | 21 | 電球工 |
| 8 | 剪斷工、金屬プレス工、板金工 | 22 | 光學ガラス工 |
| 9 | 熱處理工、操爐工 | 23 | 目盛工 |
| 10 | 製罐工、鋸打工、填隙工 | 24 | 鍍金工 |
| 11 | 銅工、配管工、保温工 | 25 | 電線被裝工、熱線工、巻線工、絶縁工 |
| 12 | 撈鐵工、鐵工 | 26 | 塗裝工 |
| 13 | 鐵木工、現圖工、罫書工 | 27 | 電力電機工、汽罐士、機械運轉工、起重機運轉工 |
| 14 | 熔接工 | 28 | 電力電路工、通信電路工 |
| 15 | 旋盤工、タレット工、中グリ工、研磨工、ボ ル盤工、平削工、形削工、フライス工、齒切工 | 29 | 荷造工、運搬工、雜役工 |
| | 特殊機械工 | 30 | 其ノ他 労働者 |
| 16 | 仕上工、工具仕上工 | 31 | 給仕、小使、掃除夫 |
| 17 | 電機組立工、電氣通信機組立工、精密組立工 | 32 | 門衛、看守 |
| | 機械組立工 | 33 | 一般事務職員、タイピスト、筆耕 |

三 化學工業

- 34 電話交換手
35 其ノ他ノ勞働者以外ノ勞務者
- 36 製藥工(醫藥、寶藥及寶藥類似品ノ製造)
37 工業藥品製造工
38 食鹽製造工
39 染料工
40 顔料塗料工
41 マツチ製造工
42 火藥工、火工
43 タール分留工、石油工、人造石油工
44 油脂工
45 ゴム工
46 パルプ工
47 抄紙工
48 セルロイド工
- 49 人絹工
50 動植物質肥料製造工
51 織物質及配合肥料製造工
52 製革工
53 電極工
54 石炭乾留工、ガス發生爐工
55 其ノ他ノ製造工
56 其ノ他ノ加工工、仕上工
57 包裝工
58 實驗工、分析工
59 電力電機工、汽罐士、機械運轉工、起重機運轉工
60 電力電路工、通信電路工
61 荷造工、運搬工、雜役工
62 其ノ他ノ勞働者
63 給仕、小使、掃除夫
64 門衛、看守

- 65 一般事務員、タイピスト、筆耕
- 66 電話交換手
- 67 其ノ他ノ労働者以外ノ勞務者

四 ガス業、電氣業及水道業

- 68 石炭乾溜工、ガス發生爐工、清淨工
- 69 電力電機工
- 70 機械運轉工
- 71 其ノ他ノ労働者
- 72 給仕、小使、掃除夫
- 73 門衛、看守
- 74 一般事務員、タイピスト、筆耕
- 75 電話交換手
- 76 其ノ他ノ労働者以外ノ勞務者

五 窯業及土石工業

77 原料工

- 78 成型工
- 79 繪付工
- 80 釉施工
- 81 燒成工
- 82 セメント燒成工
- 83 ガラス製造工、特殊ガラス工
- 84 其ノ他ノ製造工
- 85 電力電機工、汽機士、機械運轉工、起重機運轉工
- 86 荷造工、運搬工、雜役工
- 87 其ノ他ノ労働者
- 88 給仕、小使、掃除夫
- 89 門衛、看守
- 90 一般事務員、タイピスト、筆耕
- 91 電話交換手
- 92 其ノ他ノ労働者以外ノ勞務者

六 紡織工業

- 93 製絲工
- 94 製麻工
- 95 製綿工
- 96 紡績工
- 97 撚絲工
- 98 機織工
- 99 綳工、組工
- 100 染色工、捺染工、漂白工、精練工
- 101 整理仕上工
- 102 裁断工、裁縫工
- 103 検査工
- 104 電力錠機工、汽錠士、機械運轉工、起重機運轉工
- 105 電力電路工、通信電路工
- 106 荷造工、運搬工、雜役工

- 107 其ノ他ノ労働者
 - 108 給仕、小使、掃除夫
 - 109 門衛、看守
 - 110 一般事務員、タイピスト、筆耕
 - 111 電話交換手
 - 112 其ノ他ノ労働者以外ノ労働者
- イ 製材及木製品工業
- 113 製材工
 - 114 合板工
 - 115 木製家具工
 - 116 其ノ他ノ木製品工
 - 117 荷造工、運搬工、雜役工
 - 118 其ノ他ノ労働者
 - 119 給仕、小使、掃除夫
 - 120 門衛、看守
 - 121 一般事務員、タイピスト、筆耕

123 122
電話交換手
其ノ他ノ勞働者以外ノ勞務者

八 食料品工業

136 135 134 133 132 131 130 129 128 127 126 125 124
精穀工、製粉工
澱粉工
製糖工
麥酒醸造工
其ノ他ノ醸造工
清涼飲料製造工
菓子類製造工
罐詰工、壘詰工
製茶工
製氷工
其ノ他ノ食料品製造工
包装工
荷造工、運搬工、雜役工

142 141 140 139 138 137
其ノ他ノ勞働者
給仕、小使、掃除夫
門衛、看守
一般事務雇員、タイピスト、鑑封
電話交換手
其ノ他ノ勞働者以外ノ勞務者

九 印刷業及製本業

151 150 149 148 147 146 145 144 143
活字鑄造工、文選工、植字工、製版工、印刷工
製本工
荷造工、運搬工、雜役工
其ノ他ノ勞働者
給仕、小使、掃除夫
門衛、看守
一般事務雇員、タイピスト、鑑封
電話交換手
其ノ他ノ勞働者以外ノ勞務者

十 土木建築業

- 152 大工
- 153 左官
- 154 石工
- 155 煉瓦積工、タイル職、築造工
- 156 屋根職
- 157 土工、坑夫
- 158 鳶職
- 159 鐵筋工、鐵網工
- 160 ペンキ塗工
- 161 コンクリート工
- 162 雜役人夫
- 163 其ノ他ノ労働者
- 164 給仕、小使、掃除夫
- 165 門衛、看守
- 166 一般事務雇員、タイピスト、縫紉

十一 其ノ他ノ工業

- 167 電話交換手
- 168 其ノ他ノ労働者以外ノ勞務者
- 169 紙製品製造工
- 170 竹、杞柳、籐、壘、藁、棕枙及眞田類製品製造工
- 171 製網工、製綱工
- 172 皮革製品製造工
- 173 刷毛、刷子製造工
- 174 漆器製造工
- 175 製帽工
- 176 玩具(金屬製ノモノヲ除ク)製造工
- 177 骨、角、蹄、甲、牙及貝類製品製造工
- 178 萬年筆製造工
- 179 鉛筆及クレヨン製造工
- 180 和傘製造工

188 187 186 185 184 183 182 181

洋傘製造工

人造眞珠、寶石類製造加工工

其ノ他ノ労働者

給仕、小使、掃除夫

門衛、看守

一般事務履員、タイピスト、筆耕

電話交換手

其ノ他ノ労働者以外ノ勞務者

鑛業專業體

1 金屬鑛業

1 坑内探鑛夫、坑内試鑛夫

2 坑外探鑛夫、坑外試鑛夫

3 坑内選鑛夫

4 坑外選鑛夫

2 石炭鑛業

5 支柱夫

6 坑内運搬夫

7 坑外運搬夫

8 坑内機械夫

9 坑外機械夫

10 工作夫

11 電工夫

12 精鍊夫

13 其ノ他ノ坑内労働者

14 其ノ他ノ坑外労働者

15 給仕、小使、掃除夫

16 門衛、看守

17 一般事務履員、タイピスト、筆耕

18 電話交換手

19 其ノ他ノ労働者以外ノ勞務者

- 20 坑内採炭夫
- 21 坑外採炭夫
- 22 坑内選炭夫
- 23 坑外選炭夫
- 24 支柱夫
- 25 坑内運搬夫
- 26 坑外運搬夫
- 27 坑内機械夫
- 28 坑外機械夫
- 29 工作夫
- 30 電工夫
- 31 其ノ他ノ坑内勞働者
- 32 其ノ他ノ坑外勞働者
- 33 給仕、小使、掃除夫
- 34 門衛、看守
- 35 一般事務雇員、タイピスト、筆耕
- 36 電話交換手

3 石油鑛業

- 37 其ノ他ノ勞働者以外ノ勞務者
- 38 鑿井夫、汲油夫
- 39 製油夫
- 40 運搬夫
- 41 機械夫
- 42 工作夫
- 43 電工夫
- 44 其ノ他ノ勞働者
- 45 給仕、小使、掃除夫
- 46 門衛、看守
- 47 一般事務雇員、タイピスト、筆耕
- 48 電話交換手
- 49 其ノ他ノ勞働者以外ノ勞務者
- 4 其ノ他ノ採鑛業

- 50 坑内探鑛夫
- 51 坑外探鑛夫
- 52 坑内選鑛夫
- 53 坑外選鑛夫
- 54 支柱夫
- 55 坑内運搬夫
- 56 坑外運搬夫
- 57 坑内機械夫
- 58 坑外機械夫
- 59 工作夫
- 60 電工夫
- 61 精鍊夫
- 62 其ノ他ノ坑内労働者
- 63 其ノ他ノ坑外労働者
- 64 給仕、小使、掃除夫
- 65 門衛、看守
- 66 一般事務職員、タイピスト、筆耕

1 私設鐵道

運輸事業體

- 67 電話交換手
- 68 其ノ他ノ労働者以外ノ勞務者
- 5 砂鑛業
- 6 土石採取業 (共通)
- 69 精鍊夫
- 70 土石採取夫
- 71 運搬夫
- 72 其ノ他ノ労働者
- 73 給仕、小使、掃除夫
- 74 門衛、看守
- 75 一般事務職員、タイピスト、筆耕
- 76 電話交換手
- 77 其ノ他ノ労働者以外ノ勞務者

- | | | | |
|----|--|----|-----------------|
| 2 | 軌道 | 12 | 一般事務履員、タイピスト、筆耕 |
| 3 | 架空索道 (共通) | 13 | 電話交換手 |
| 4 | 乗合自動車運輸業 | 14 | 其ノ他ノ勞働者以外ノ勞務者 |
| 1 | 蒸氣機關車運轉手 | 5 | 旅客自動車運送業 |
| 2 | 内燃機關車運轉手、電車運轉手、電氣機關車運轉手 | 6 | 貨物自動車運送業 |
| 3 | 自動車運轉手 | 7 | 小運送業 (共通) |
| 4 | 車掌 | 8 | 其ノ他ノ陸上運輸業 |
| 5 | 連結手、轉轍手、檢車手、機關夫、炭水夫、洗車夫、給油夫、信號手、驛夫、踏切番 | 9 | 航空輸送業 |
| 6 | 線路工夫 | 10 | 回漕業 |
| 7 | 電工、電氣工夫 | 15 | 沖仲仕 |
| 8 | 有線電信通信夫、無線電信通信夫 | 16 | 濱仲仕 |
| 9 | 其ノ他ノ勞働者 | 17 | 貨物積卸人夫 (驛仲仕) |
| 10 | 給仕、小使、掃除夫 | 18 | 倉庫人夫 |
| 11 | 門衛、看守 | 19 | 牛馬車曳 |
| | | 20 | 自動車運轉手 |
| | | 21 | 車夫、荷車曳 |

職名欄で誤つてゐたのは事業の種類が例へば「金屬鑛業」であるにも拘はらず、勞務票の職名は「其ノ他ノ採鑛業」に屬するものを記入した様なものがあつたが、何處迄も、例へば事業の種類が機械器具工業に屬する場合は職名も必らず機械器具工業の範圍内の職名を記入すべきである。

尙前段の場合不可分の關係から「其ノ他ノ採鑛業」を「金屬鑛業」に包含せしめて調査した時も、やはり職名は全部金屬鑛業の範圍内の職名に依るのである、又職業分類表に無い職名を記入したもの、番號を洩らしたもの、番號と名稱と相違せるもの、職名が「其ノ他何々」に屬する場合括弧書をして精しく職業の内容を書かないもの等があつたのである。

尙工場、鑛山等に於ては普通一般的でない其の工場又は鑛山獨特の職名を記入したものがあつたが、これ等は出來得る限り本職業分類表に依る職名に直して書いて貰ひ度いのである。

其の他「内外乗非」の欄では何れにも○印の無いもの、或は鑛山等に於て給仕等の如く明らかに坑外勞務者であると認められるのに⊙としたもの、又反對に坑内勞務者を⊙としたもの等があつたのである。

八 職 歴

イ 當該事業體在職年月數

本項はその事業體に就職してから、引續いて足かけ何年何箇月になるかと言ふことを調べるのであつて、其の間身分上に異動があつても問題ではないのである。例へば甲の工場に五箇月勤務し、乙の工場へ轉勤して三箇月勤め、更に甲の工場へ再就職してから六箇月になると言ふ場合は、中斷してゐるから最終の六箇月がその勞務者の甲の工場に於ける在職年月數となるのである。但し若し中途で在籍の儘應召、入營、徵用の場合は勤續したものととして取扱ふのである。又日傭勞務者でも同一の事業體に繼續して雇はれてゐる者は最初に傭はれてから調査當日迄の年月數を書き、毎日々々傭先の異ふ所謂「日傭勞務者」はこの欄に「日傭」と書くのである。

ロ 當該職業に従事する年月數

本項はイの場合と異り事業體には關係なく、例へば其の勞務者が電球工なら電球工として足かけ何年何箇月従事してゐるかを調べるのである。従つて就職の中斷は問題でないのであつて、例へば電球工として一箇年勤め、其の後田舎で三箇年農業に従事し、更に電球工として復活し、調査日に三年二箇月勤めてゐる場合は最初の一年と最後の三年二箇月を合算記入するのである。

が、又これと反對に事業體は變らなかつたが勞務の内容が異つた場合例へば始めは電球工として勤務してゐたが調査の當日は電池工となつてゐる様なきは、調査當日やつて居る職名の電池工だけの經驗年月數を記入するのである、尙勞務者の應召、入營、徵用の期間は前述のイの場合と異り全然計算から除き又日傭勞務者は已むを得ないから、日傭を始めてから調査の期日迄の足かけ年月數を記入するのである。

最後に特殊の取扱として本項では同一勞務つまり同じ仕事であれば通算して記入するのであるが、此の場合は大體職業分類表の小分類の範圍内の職名は同じ勞務として取扱ふのである。例へば金屬工業の 2 機械検査工、試運轉工、金屬試験工、實驗工、レンズ検査工、分析工は何れも同じ内容の勞務と看做すのであるから一例が或る勞務者が機械検査工に一箇年、實驗工に二箇年従事して居ればこれは同じ仕事と看做して、三箇年がその勞務者の當該職業に従事する年月數となるのである。

(記載例)

| 入職歴 | 在職年月数 | |
|-----|--------------------|--------------------------|
| | (イ) 当該事業体 在職年月数 | (ロ) 当該職業に 従事する 年月数 |
| | 3年4月 | 7年1月 |
| | 7年0月 | 3年3月 |
| | 0年8月 | 4年2月 |
| | 4年2月 | 0年3月 |
| | 0年3月 | 0年2月 |
| | 0年2月 | 0年4月 |
| | 0年4月 | 1年2月 |
| | 17年6月 | 15年3月 |
| | 18年5月 | 3年3月 |
| | 0年8月 | 5年3月 |
| | 2年2月 | 0年2月 |
| | 0年2月 | 0年4月 |
| | 0年4月 | 1年2月 |

イ 当該事業体^イ在職年月数のところでは一般的に本欄の記載洩のもの、次の口欄と混同して記載したもの、年齢と対照して不釣合のもの、雇入れた年月日を其の儘記入したものが^ロあり又前に説明した「日傭」の^イ解釋を誤つたもの、在職年月数は足かけの勘定で、例へば五月十日に採用した者は六月十日現在では二箇月とすべきを満月計算にして一箇月としたものなどがあつたのである。

ロ 当該職業に^ロ従事する年月数のところでは大體其の誤りは前述の当該事業体^イ在職年月数のところと似通つてゐたのであるが、特に全然記入してないもの、年齢と甚しく不釣合のもの等があつたのである。

九 賃 金

本欄の書き方は全部の事業體が同一ではなく、事業體の性質に依り多少相違してゐるのであつて、一見相當複雑の様に見えるから便宜上これを區分して解説することとする。

尙事業體の範圍の決定の項で説明した事業體の區分と、本欄の事業體の區分とは丙の事務所商店は別として、工業、鑛業、運輸業の三區分が左記の如く甲、乙の二區分となり、甲に屬する工業事業體は其の内の土木建築事業體が除外され鑛業事業體中の採鑛事業體が加へられ、運輸事業體中の私設鐵道、軌道、架空索道、乗合自動車等の事業體が之に加へられて同一記入方法に依り、其の他の事業體は總て「乙」の記入方法を探つて居る點調査の範圍に於ける區分と異なつて居る爲、稍ともすれば誤記を生じ易いから注意を要するのである。

| | |
|---|---|
| 甲 | 工業事業體（土木建築事業體を除く） 採鑛事業體 |
| 乙 | 土木建築事業體 砂鑛事業體 土石採取事業體 旅客自動車運送事業體 |
| 丙 | 事務所商店 |

| 問 時 一 (ロ) | 給負請は又給額定 (イ) 別の | |
|--|---|---|
| <p>イのところ⑤と記入した者はその日給額（月給者の場合は三十で割つて日給額を算出す）をその事業體の所定就業時間で割つた一時間當りの金額を書くの</p> | <p>定額給即ち日給、時給、月給等の様に一定時間の仕事に對して定つた賃金が支給せらるる勞務者に對しては⑤の如く定の字に〇印をつけるのである又請負給即ち單價請負、時間請負或は一月の中何日かは定額給を受け何日かは請負給を受ける様な定、請併用の勞務者に對しては⑥とするのである、尙賃金は一回も支給されないが雇傭契約に依つて定額給か請負給かが定つてゐる勞務者には同様定請の何れかに記入を要する。</p> | <p>私設鐵道 軌道 架空索道 乗合自動車運輸事業體</p> <p>貨物自動車運送事業體 小運送事業體 其の他の陸上運輸事業體 航空輸送事業體 回漕事業體</p> |
| <p>一日の基本給を記入するのである つて⑤の者は大體上欄の要領に依つて日額を記入するのである が月給者は月給を三十で割つて日給を出すのである。</p> | <p>「定」「請」の文字を消して日給勞務者は「日給」月給勞務者は「月給」日給者でも月給者でも無い例へば年給とか週給とかと言ふ様な場合は「其の他」と書くのである。</p> | |

| 箇 一 (ハ) | 給 本 基 の |
|--|--|
| <p>六月十日に一番近い賃金締切日から遡る一箇月間に貰つた賃金を記入するのである、即ち或る工場 の賃金締切日が五月三十一日とすれば五月一日から五月三十一日の賃金を記入するのであつて賃 金の中から貯金とか食費とか前借金とかと言ふものを差引かれた場合は差引前の賃金總額を記入す るのである。</p> <p>尙最近雇はれた爲一箇月に満たない者は雇はれた日から賃金締切日迄の賃金總額を記入するのであ つて例へば五月二十五日に雇はれ六月五日が賃金締切日とすれば五月二十五日から六月五日迄の十</p> | <p>である。</p> <p>此の場合若し錢位未滿の端數が 出たときは五厘以上ならば一錢 に切上げ五厘未滿ならば切捨て るのである。</p> <p>イのところ、㊦と記入した者は 請負給であつてそれに保證給の あつた場合は保證給の日額を所 定就業時間で割るのである。</p> <p>尙請負給であつて保證給のない 者はこの欄に斜線を必ず引く のである。</p> <hr/> <p>㊦の者は保證給があればその保 證給の日額を記入するのであ る。</p> <p>尙請負給であつて保證給のない ものはこの欄に斜線を必ず引く のである。</p> |

| 内給 賃物 給與 物 一 (二) | 月 の 賃 金 の 總 額 |
|---|--|
| <p>前に述べた賃金の中に含まれてゐる實物給與の換算額をこの欄に記入するのである。</p> <p>本項は次に説明する十就業時間と關係があるのであつて前に説明した一箇月の賃金總額を十就業時間の(イ)一箇月の實際労働日數で</p> <p>調査をしないこととなつてゐるから必ず斜線を引くのであ</p> | <p>二日間の賃金を記入するのである。此の場合一ヶ月の實際労働日數は十二日となるのであつて本欄と關聯して居るから對照して書く必要がある。</p> <p>賃金締切日以後に雇はれた者でも受取るべき賃金總額の判つてゐるものはその金額を記入し日々傭先の異なる日傭勞務者は調査當日の賃金額を記入するのである。</p> <p>次に本調査で謂ふ賃金とは賃金、給料、諸手当(戦時手当又は住宅料、米穀粉等の金員)、三箇月を越へないで支給される皆勤、精勤等の如き賞與(半期又は年末賞與は除く)、其他労働の對償として支給せられる金銭一切とそれに物、其の他の利益(實物給與)を合算したものを言ふのであるが唯福利施設だけは除くのである、物、其の他の利益(即ち實物給與と言ふのはこの調査では無料で給與せられた白米、精麥、精粟、食事及住宅(居間だけを言ふのであつて炊事場、物置の様なものに入らない)に限るのであつてこれを朝鮮總督の指定する次の評價額に換算して賃金に加へるのである。</p> <p>白米、精麥、精粟は指定小賣價格の七割 二、食事は一食が十錢 三、住宅は一月一疊三十錢 一日一疊一錢(温突は疊數に直して勘定すること)</p> <p>(實際の計算方法は勞務票説明の最後に添附してある記載例のところ参照のこと)</p> |

| | |
|--|--|
| <p>金 賃 均 平 の 間 時 一 (附)</p> | <p>金賃均平の日</p> |
| <p>本項も十就業時間と關聯するのであつて前述の(一)一日の平均賃金を十就業時間の(一)一日の平均賃就業時間で割つて記入するのである唯此の場合月給者に限り一箇月の賃金總額を三十で割つて日額を出し更にそれを十就業時間の(一)一日の所定就業時間で割つて記入するのである。 尙錢未滿の端數が出たときは四捨五入するのである。</p> | <p>割つた一日當りの賃金を記入するのである。 月給者は月給額を必ず三十で割つたものを記入するのである。 此の場合錢未滿の端數が出たら五厘以上は一錢に切上げ五厘未滿は切捨てるのである。</p> |
| | <p>る。</p> |

調査をしないこととなつてゐるから必ず斜線を引くのである。

| 九 賃 金 | 又の給 の額 の金 | は別の給 の額 の金 | 給 給 給 給 給 給 給 給 給 給 給 給 | | | | | | | | | | | |
|--|-----------------|------------------|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---|
| | | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ |
| (イ) 定額給又は請負給の別のところでは○印記入洩れのもの、定額給であるのに◎としたもの、事務所商店であるにも拘はらず◎又は◎としたもの等が多かつた。 | 月給 30 | 月給 30 | 月給 27 | 月給 25 | 月給 14 | 月給 14 | 月給 08 | 月給 10 | 月給 10 | 月給 13 | 月給 12 | 月給 07 | 月給 07 | |
| (ロ) 一時間の基本給のところでは、請負給を受ける者で保証給が無い者は斜線を引くのにも拘はらず本欄に記入せるもの、事業體の性質に依り「一時間の基本給」、「一日の基本給」、「一月の基本給」を記入すべきに之が明確でなく混同したものがあつたのである。 | 月給 105 | 月給 81 | 月給 27 | 月給 45 | 月給 34 | 月給 58 | 月給 33 | 月給 85 | 月給 70 | 月給 49 | 月給 30 | 月給 21 | 月給 08 | |
| (ハ) 平均時均賃 | 月給 31 | 月給 21 | 月給 90 | 月給 70 | 月給 44 | 月給 80 | 月給 29 | 月給 97 | 月給 70 | 月給 30 | 月給 20 | 月給 70 | 月給 07 | |
| (ニ) 平均時均賃 | 月給 35 | 月給 27 | 月給 25 | 月給 14 | 月給 08 | 月給 10 | 月給 13 | 月給 12 | 月給 07 | |

(イ) 定額給又は請負給の別のところでは○印記入洩れのもの、定額給であるのに◎としたもの、事務所商店であるにも拘はらず◎又は◎としたもの等が多かつた。

(ロ) 一時間の基本給のところでは、請負給を受ける者で保証給が無い者は斜線を引くのにも拘はらず本欄に記入せるもの、事業體の性質に依り「一時間の基本給」、「一日の基本給」、「一月の基本給」を記入すべきに之が明確でなく混同したものがあつたのである。

(ウ) 一箇月の賃金總額のところでは、實物給與の評価額を算入せず貨幣賃金のみを記載したものは賃金締切日の後に採用した者でも支拂債務額が判れば記入すべきにも拘はらず之を記入しなかつたもの等があつたのである。

尙別冊の質疑解答中にもある通、長期缺勤其の他に依つて六月十日に一番近い賃金締切日を遡る一箇月間の賃金を受けてゐないものは、その前月又は前々月等の事實に依り一箇月の賃金總額を記入しなくてはならないのであるが之を單に「長期缺勤」と記入したり、又は全然記入しないものもあつたが賃金各欄の無記入は、整理事務上支障があるから可成以前に遡つても調査の上記入されたいのである。

内實物給與のところでは本調査で定められた實物給與でないものは假りに實物給與として受けても算入しないでよいのであるが之を評價して算入したもの、又は實物給與の評価を朝鮮總督の指定に依らないで勝手に算出したものがあつたのである。

(エ) 一日の平均賃金及(ウ)一時間の平均賃金のところでは前述の様に「長期缺勤」とか其の他の理由で記入してないものが相當あり、特に注意を要するのはこの二項目は前に説明の通り「一箇月の賃金總額」、又は「一日の平均賃金」と、「一箇月の實際労働日數」又は「一日の平均實就業時

間」と關聯があるにも拘らず、この相互關係を全然無視して記入したと思はれるものも相當あつたのであるが、之が根本的原因と認められるのは、調査提要を充分讀んで其の内容をよく把握せず記載したものではなからうかと思はれるのである。

十 就業時間

就業時間は前述の賃金と引離して考へることの出来ないものであつて、賃金と同様に事業體の種別に依つて多少書き方が異つてゐるから判り易い様に區分して説明を加へることとする。

| | | |
|---|--|---|
| <p style="text-align: center;">甲</p> <p>工業事業體（土木建築事業體を除く） 採鐵事業體 私設鐵道 軌道 架空索道 乗合自動車運輸事業體</p> | <p style="text-align: center;">乙</p> <p>土木建築事業體 砂鐵事業體 土石採取事業體 旅客自動車運送事業體 貨物自動車運送事業體 小運送事業體 其の他の陸上運輸事業體 航空輸送事業體 回漕事業體</p> | <p style="text-align: center;">丙</p> <p>事務所商店</p> |
|---|--|---|

| 間時業就定所の日一 (ロ) | 数日働勞際賃の月箇一 (イ) |
|--|---|
| <p>工場、作業場、鑛山で定められた一日の就業時間（休憩時間を含む）を必ず就業時間の項の終りに掲げた「時間換算表」に依り小數二位迄書くのである。私設鐵道、軌道、架空索道及乗合自動車運輸事業體では定められた勤務方法に依る平均勤務時間を「時間換算表」に依つて記入するのである。</p> | <p>賃金のところで記入した「一箇月の賃金總額」を受取るために實際働いた日數を書くのであつて、例へば一箇月の賃金總額が八十九圓五十錢であつて、これだけの賃金を貰ふ爲に二十五日働いたと言ふ場合はこの二十五日が實際労働日數となるのである。唯「一箇月の賃金總額」欄に就職後日淺き者で支拂債務額を記入したものはそれを貰ふ爲に働いた日數を記入し、月給者は必ず三十日（缺勤日に賃金の全額を引かれる場合は労働日數も差引くこと）と書くのである。尙一、二特殊の取扱としては公休日とか缺勤日にも賃金だけは支給せられると言ふ場合、その賃金は「一箇月の賃金總額」に含まれてゐるから此處では便宜上出勤したことにするのであり、又運輸事業體の勞務者や門衛、看守等では非番日も労働日數と看做すのである。</p> |
| | <p>調査をしないのであるから必ず斜線を引くのである。</p> |

| 分 | 時間 | 分 | 時間 |
|----|------|----|------|
| 1 | 0.02 | 31 | 0.52 |
| 2 | 0.03 | 32 | 0.53 |
| 3 | 0.05 | 33 | 0.55 |
| 4 | 0.07 | 34 | 0.57 |
| 5 | 0.08 | 35 | 0.58 |
| 6 | 0.10 | 36 | 0.60 |
| 7 | 0.12 | 37 | 0.62 |
| 8 | 0.13 | 38 | 0.63 |
| 9 | 0.15 | 39 | 0.65 |
| 10 | 0.17 | 40 | 0.67 |
| 11 | 0.18 | 41 | 0.68 |
| 12 | 0.20 | 42 | 0.70 |
| 13 | 0.22 | 43 | 0.72 |
| 14 | 0.23 | 44 | 0.73 |
| 15 | 0.25 | 45 | 0.75 |
| 16 | 0.27 | 46 | 0.77 |
| 17 | 0.28 | 47 | 0.78 |
| 18 | 0.30 | 48 | 0.80 |
| 19 | 0.32 | 49 | 0.82 |
| 20 | 0.33 | 50 | 0.83 |
| 21 | 0.35 | 51 | 0.85 |
| 22 | 0.37 | 52 | 0.87 |
| 23 | 0.38 | 53 | 0.88 |
| 24 | 0.40 | 54 | 0.90 |
| 25 | 0.42 | 55 | 0.92 |
| 26 | 0.43 | 56 | 0.93 |
| 27 | 0.45 | 57 | 0.95 |
| 28 | 0.47 | 58 | 0.97 |
| 29 | 0.48 | 59 | 0.98 |
| 30 | 0.50 | 60 | 1.00 |

時間換算表

間時業就實均平の日一 (ハ)

(イ)の「一箇月の實際労働日数」が假りに二十日であつて、(ロ)の「一日の所定就業時間」が九時間で二十日間に對する延居残り時間が十五時間、延早退時間が五時間とすれば一箇月間の延實就業時間は差引百九十時間である。この百九十時間を「一箇月の實際労働日数」の二十日で割つたものを更に次の「時間換算表」に依つて記入するのである。

割り方は先づ時間單位で商を求め餘りの時間は必らず分に直して割り、然る後「時間換算表」に依り換算して記入するのである。尙月給者の場合は一箇月の延實就業時間を三十日で割るのである。

調査をしないのであるから必ず斜線を引くのである。

【記号例】

| + 就業時間 | 一箇月の賃労働日数 | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | (イ) 一箇月の賃労働日数 | 30日 | 28日 | 25日 | 24日 | 29日 | 29日 | 29日 | 7日 | 30日 | 30日 | 30日 | 30日 | 30日 |
| (ロ) 一日の所定就業時間 | 10.00時 | 10.00時 | 10.00時 | 10.00時 | 10.00時 | 10.00時 | 10.00時 | 10.00時 | 10.00時 | 10.00時 | 10.00時 | 10.00時 | 10.00時 | 10.00時 |
| (ハ) 一日の平均賃就業時間 | 10.00時 | 10.75時 | 10.60時 | 10.65時 | 10.00時 | 10.75時 | 10.00時 |

(イ) 一箇月の實際労働日数のところでは調査洩のもの、或は三十一日以上の日数を本欄に記入したものがあつたのであるが、之は非番の日に出勤した日数を加へたものではないかと思はれる。

(ロ) 一日の所定就業時間のところでは記載洩のもの或は休憩時間を除いて記入したものがあつたのである。

(ハ) 一日の平均賃就業時間のところでは、(ロ) 一日の所定就業時間と混同記入したものの、時間換算表にない小數第二位、例へば 0.01、0.04、0.06、0.09 の1、4、6、9、の如き時間を記入したものがあつたが、之は時間換算表を使用せず記入したことを立證するものである。其の他本項の算出方法を

賃金及就業時間の記入方一覧表

| | | 甲 | 乙 | 丙 |
|-----------------------|---------------------|--|---|--|
| | | ○工務系業務(土木建築事業種ヲ除ク) ○採掘事業種 ○林業、林産、業系系及果樹自給事業種等 | ○土木建築事業種 ○採掘事業種 ○土石採取事業種 ○航空自衛隊運送事業種 ○貨物自動車運送事業種 ○小運送事業種、其ノ他ノ陸上運送事業種、航空輸送事業種及河運事業種 | ○事務系商売 |
| ① 九 ② | (a) 定額給又は 日給ノ額 | 「定」又は「額」—○甲ア附ケルコト | 左 | 「日給」「月給」「其ノ他」ヲ記入スルコト |
| | 一時間ノ 基本給 | $\frac{\text{日給}}{\text{所定就業時間}}$ $\frac{\text{月給}}{\text{所定就業時間} \times 3}$ ④ハ保給ノ日給 所定就業時間 全然課員ノモノハ斜線トス | 一日分(日給)ノ記入スル コト 月給者ハ月給 ④ハ保給ノ日給 全然課員ノモノハ斜線トス | 一月分(月給)ヲ記入 スルコト 日給者ハ日給×50 ④ハ保給ノ日給 全然課員ノモノハ斜 線トス |
| ① 賃 内 | 一ヶ月ノ賃 金総額 | 最近賃金締切日ヲ以テ一ヶ月間ノ賃金、給 料、手当、補助、通勤費(除半額、年末)等ノ 合計額+賃物給付換算額 | 左 | 左 |
| | 賃物給付 | ①白米、精麥、精麥(②ノ七割) ②食料一式×付10割 ③住宅一ヶ月一室(専断家屋ハ一室二室) ④給、(一月一室) | 左 | 左 |
| ① 金 ② | (a) 一日ノ 平均賃金 | $\frac{\text{九ノ(イ)}}{\text{十ノ(イ)}} = \frac{\text{一ヶ月ノ賃金総額}}{\text{一ヶ月ノ賃金締切日数}}$ | 左 | 斜線ヲ引クコト |
| | 一時間ノ 平均賃金 | $\frac{\text{九ノ(イ)}}{\text{十ノ(イ)}} = \frac{\text{一日ノ平均賃金}}{\text{一日ノ平均就業時間}} \\ \text{(休憩時間ヲ止ム)}$ $\text{月給者} = \frac{\text{一ヶ月ノ賃金総額}}{\text{所定就業時間} \times 30}$ | 斜線ヲ引クコト | 斜線ヲ引クコト |
| ① 十 ② 賃 時 | (a) 一ヶ月ノ賃 金締切日数 | 一ヶ月ノ賃金締切日ニ對シテ實際労働日数 (月給者ハ30日)ヲ記入ス 但シ運送事業種ニ在リテハ非番日ニ含ム | 左 | 左 |
| | (b) 一日ノ所定 就業時間 | 所定時間ヲ含ム所定就業時間(時門換算表 ニ依リ小數二位迄)ヲ記入ス 但シ運送、林産、業系自給運送等種種ハ 各々ノ勤務方法ニ依リ平均時間ヲ記入ス | 斜線ヲ引クコト | 斜線ヲ引クコト |
| ① 賃 時 | (a) 一日ノ平均 賃金締切日数 | 一ヶ月ノ賃金締切日数(休憩時間ヲ含ム) 一ヶ月ノ賃金締切日数 (時門換算表ニ依リ小數二位迄) | 左 | 斜線ヲ引クコト |

註①内ノ数字ハ運送事業種ノ記入ノ例ヲ示ス。

勞務票記載例目次

- | | |
|---|------|
| 一 工場ニ於ケル勞務票ノ記載例 | 一七五頁 |
| 二 鑛山(金屬鑛業)ニ於ケル勞務票ノ記載例 | 一七九頁 |
| 三 乗合自動車運輸事業體ニ於ケル勞務票ノ記載例 | 一八二頁 |
| 四 土木建築事業體ニ於ケル勞務票ノ記載例 | 一八三頁 |
| 五 砂鑛事業體ニ於ケル勞務票ノ記載例 | 一八五頁 |
| 六 貨物自動車運送事業體(乗合自動車運輸事業體ト不可分關係)ニ於ケル勞務票ノ記載例 | 一八七頁 |
| 七 事務所商店ニ於ケル勞務票ノ記載例 | 一八九頁 |

1 工場ニ於ケル勞務票ノ記載例

昭和18年6月10日現在

勞 務 票

朝 鮮 總 督 府

| | | |
|----------|-------------|-------|
| 準備調査簿の番號 | 勞務票通し番號 | 調査員檢印 |
| 第 1 號 | 10 枚の内第 1 號 | 印 |
| 事業體の所在地 | 事業體の名 | |
| 京畿道京城府羅區 | 平 田 鐵 工 場 | |

| | | | | | | | | | | |
|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|
| 勞務者通し號 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|

| | | | | | | | | | | |
|----------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 一氏名 | 長井正男 | 富田泰間 | 宮本 弘 | 吉岡仁植 | 金本玄吉 | 中原次郎 | 李 泰 熙 | 徐 一 女 | 松山秀子 | 岡田信夫 |
| 二男女の別 | 女 | 女 | 女 | 女 | 女 | 女 | 女 | 男 | 男 | 男 |
| 三出生の年月日 | 明治32年 11月25日 | 大正4年 7月2日 | 明治38年 4月6日 | 大正8年 6月8日 | 大正9年 11月17日 | 大正14年 8月2日 | 大正12年 4月9日 | 明治41年 9月28日 | 昭和2年 8月6日 | 明治32年 3月1日 |
| 四卒業又は修業國民學校所在地 | 京畿道 郡部 | 京畿道 府部 | 内地道 郡部 | 海島 府部 | 江原道 府部 | 京畿道 郡部 | 忠清道 府部 | 京畿道 府部 | 全羅道 郡部 | 内地道 府部 |
| 五配偶者の有無 | 無 | 無 | 無 | 無 | 無 | 有 | 有 | 無 | 有 | 無 |
| 六教育の程度 | 3 國初卒 | 3 國初卒 | 12 工業退 | 3 國初卒 | 3 國初卒 | 3 國初卒 | 3 國初退 | 1 不就學 | 3 國初卒 | 5 國高卒 |
| 七職名 | 15 旋盤工 | 2 機械検査工 | 1 製團手 | 15 旋盤工 | 16 仕上工 | 31 掃除夫 | 30其ノ他ノ勞働者(試傭工) | 30其ノ他ノ勞働者(雑傭) | 31 給 仕 | 32 門 衛 |
| 八職歴 | (a) 當該事業體に在職年月數 21年4月 | (a) 當該事業體に在職年月數 4年3月 | (a) 當該事業體に在職年月數 10年2月 | (a) 當該事業體に在職年月數 4年9月 | (a) 當該事業體に在職年月數 1年10月 | (a) 當該事業體に在職年月數 0年2月 | (a) 當該事業體に在職年月數 0年1月 | (a) 當該事業體に在職年月數 日 備 月 | (a) 當該事業體に在職年月數 0年5月 | (a) 當該事業體に在職年月數 3年2月 |
| 九賃 | (a) 定額給又は別請負給の別 請 | (a) 定額給又は別請負給の別 請 | (a) 定額給又は別請負給の別 請 | (a) 定額給又は別請負給の別 定 | (a) 定額給又は別請負給の別 定 | (a) 定額給又は別請負給の別 請 |
| 金 | (b) 一時間の基本給 30 | (b) 一時間の基本給 22 | (b) 一時間の基本給 30 | (b) 一時間の基本給 10 | (b) 一時間の基本給 10 | (b) 一時間の基本給 10 | (b) 一時間の基本給 試傭 | (b) 一時間の基本給 11 | (b) 一時間の基本給 108 | (b) 一時間の基本給 15 |
| 金 | (c) 二箇月の賃金總額 100.05 | (c) 二箇月の賃金總額 73.32 | (c) 二箇月の賃金總額 115.15 | (c) 二箇月の賃金總額 91.96 | (c) 二箇月の賃金總額 71.13 | (c) 二箇月の賃金總額 13.00 | (c) 二箇月の賃金總額 = 付 | (c) 二箇月の賃金總額 120 | (c) 二箇月の賃金總額 27.20 | (c) 二箇月の賃金總額 60.45 |
| 金 | (d) 内實物給與 1.80 | (d) 内實物給與 | (d) 内實物給與 3.15 | (d) 内實物給與 | (d) 内實物給與 | (d) 内實物給與 | (d) 内實物給與 賃 金 | (d) 内實物給與 | (d) 内實物給與 | (d) 内實物給與 2.35 |
| 金 | (e) 一日の平均賃金 3.73 | (e) 一日の平均賃金 2.68 | (e) 一日の平均賃金 3.84 | (e) 一日の平均賃金 4.00 | (e) 一日の平均賃金 2.65 | (e) 一日の平均賃金 1.00 | (e) 一日の平均賃金 未 定 | (e) 一日の平均賃金 120 | (e) 一日の平均賃金 94 | (e) 一日の平均賃金 2.02 |
| 金 | (f) 一時間の平均賃金 34 | (f) 一時間の平均賃金 25 | (f) 一時間の平均賃金 38 | (f) 一時間の平均賃金 0 | (f) 一時間の平均賃金 27 | (f) 一時間の平均賃金 10 | (f) 一時間の平均賃金 | (f) 一時間の平均賃金 11 | (f) 一時間の平均賃金 00 | (f) 一時間の平均賃金 17 |
| 十就業時間 | (a) 一箇月の賃金總額 27 日 | (a) 一箇月の賃金總額 27 日 | (a) 一箇月の賃金總額 30 日 | (a) 一箇月の賃金總額 28 日 | (a) 一箇月の賃金總額 28 日 | (a) 一箇月の賃金總額 12 日 | (a) 一箇月の賃金總額 4 日 | (a) 一箇月の賃金總額 1 日 | (a) 一箇月の賃金總額 29 日 | (a) 一箇月の賃金總額 33 日 |
| 十就業時間 | (b) 一日の所定就業時間 10.00 時 |
| 十就業時間 | (c) 一日の平均賃金 10.87 時 | (c) 一日の平均賃金 10.87 時 | (c) 一日の平均賃金 10.90 時 | (c) 一日の平均賃金 10.00 時 | (c) 一日の平均賃金 10.00 時 | (c) 一日の平均賃金 10.00 時 | (c) 一日の平均賃金 9.00 時 | (c) 一日の平均賃金 10.58 時 | (c) 一日の平均賃金 10.00 時 | (c) 一日の平均賃金 12.00 時 |
| 十一民籍 | | | 内地 | | | | | | | 内地 |

| | | | | | | | | | | |
|------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 申告者の署名又は捺印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 |
|------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

〔摘要〕

長井正男の九賃金「内實物給與」一圓八十錢は、温突一室（換算六疊）を貸與せられて居るから、住宅一月一疊三十錢の評價格に依り算出したものである。

宮本弘の八職歴の(イ)は十年二月で(ロ)は三年八月であるのは、平田鐵工場に勤務する年月は足かけ十年二月であるが、製圖手としての經驗年數は足かけ三年八月であるからであり、九賃金「内實物給與」三圓十五錢は六疊と四疊半の住宅を無償で支給されてゐるからこれを評價格に換算したものである。

吉岡仁植は請負給であるにも拘はらず、九賃金(ロ)一時間の基本給欄に十六錢と記入しあるは保證給日額一圓六十錢を支給せられてゐるからである。

金本玄吉は請負給であつて保證給がないから、「一時間の基本給」欄は斜線を引いたのである。

中原次郎の「一箇月の實際労働日數」十二日は採用後日淺き爲である。

李泰熙は試傭工で賃金額が未だ決定してゐないから賃金欄の記載が無いのである。

徐一女は、日々傭先の異なる日傭であつて偶々六月十日に平田鐵工場で傭はれてゐるものであるから、八職歴の(イ)欄は「日傭」と書き労働日數は一日、賃金も一日分一圓二十錢を記載したのであり、尙六教育の程度は不就學であるから、四卒業又は修業國民學校所在地欄は生れた場所京畿道高陽郡に依つて記入したのである。

2 嶺山(金屬鑛業)ニ於ケル勞務票ノ記載例

昭和18年8月10日現在

勞 務 票

朝鮮總督府

| 所 在 地 の 番 號 | | | | 勞 務 票 通 し 番 號 | | | | 調 査 員 檢 印 | | | |
|---------------------|------------------|--------------|----------------|----------------|--------------|----------------|----------------|----------------|----------------|---------------|---------|
| 第 7 號 | | | | 50 枚 の 内 第 1 號 | | | | ④ | | | |
| 事 業 種 類 の 所 在 地 | | | | 事 業 種 類 の 名 | | | | | | | |
| 江 原 道 三 陟 郡 上 長 園 邑 | | | | 萬 年 嶺 山 | | | | | | | |
| 勞務者通し番號 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | |
| 一氏 名 | 伊平克約 | 安原孝平 | 松岡春吉 | 夏川三藏 | 上原 玄 | 大室仁義 | 瑞賀清光 | 林 太郎 | 朴元在允 | 有田平八 | |
| 二男女の別 | ♀ 女 | ♀ 女 | ♀ 女 | ♀ 女 | ♀ 女 | ♀ 女 | ♀ 女 | ♀ 女 | ♀ 女 | ♀ 女 | |
| 三出生の年月日 | 明治29年 12月19日 | 大正3年 6月9日 | 明治31年 2月10日 | 明治29年 7月5日 | 大正8年 2月2日 | 大正10年 6月17日 | 明治12年 9月23日 | 明治10年 2月27日 | 大正13年 11月4日 | 明治12年 9月7日 | |
| 四卒業又は修業國民學校所在地 | 京畿道 府部 | 慶尙道 府部 | 咸鏡道 府部 | 内地道 府部 | 全羅道 府部 | 江原道 府部 | 江原道 府部 | 江原道 府部 | 咸鏡道 府部 | 内地道 府部 | |
| 五配偶者の有無 | ⑤ 無 | 有 ⑤ | ⑤ 無 | ⑤ 無 | ⑤ 無 | ⑤ 無 | ⑤ 無 | 有 ⑤ | 有 ⑤ | ⑤ 無 | |
| 六教育の程度 | 2 國初退 | 1 不就學 | 1 不就學 | 5 國高卒 | 3 國初卒 | 2 國初退 | 1 不就學 | 2 國初退 | 3 國初卒 | 3 國初卒 | |
| 七職 名 | 1 坑内探鑛夫 | 13 坑内探鑛夫 | 4 坑外運鑛夫 | 6 坑内運鑛夫 | 9 坑外運鑛夫 | 3 坑内運鑛夫 | 13 坑内運鑛夫 | 14 坑内運鑛夫 | 15 坑内運鑛夫 | 7 坑外運鑛夫 | |
| | ※ 外 乘 | ※ 外 乘 | ※ 内 乘 | ※ 外 乘 | ※ 内 乘 | ※ 外 乘 | ※ 外 乘 | ※ 内 乘 | ※ 内 乘 | ※ 内 乘 | |
| 八 雇 歴 | (a) 當該事業に在籍年月數 | 3年2月 | 3年5月 | 0年2月 | 2年1月 | 0年2月 | 0年7月 | 10年2月 | 5年4月 | 0年8月 | 7年6月 |
| | (b) 當該事業に從事する年月數 | 6年9月 | 2年3月 | 5年3月 | 9年1月 | 0年4月 | 1年2月 | 10年2月 | 10年2月 | 0年8月 | 7年6月 |
| 九 賃 金 | (a) 定額給又は請負給の別 | 定 ⑤ | ⑤ 請 | ⑤ 請 | 定 ⑤ | ⑤ 請 | ⑤ 請 | 定 ⑤ | ⑤ 請 | ⑤ 請 | |
| | (b) 一時間の基本給 | 05 | 20 | 23 | 12 | 17 | 18 | 07 | 20 | | |
| | (c) 一箇月の賃金總額 | 6214 | 7500 | 5980 | 11250 | 3250 | 4660 | 6700 | 6100 | 1300 | 8133 |
| | (d) 一日の平均賃金 | 222 | 259 | 280 | 363 | 130 | 180 | 223 | 200 | 30 | 280 |
| | (e) 一時間の平均賃金 | 22 | 25 | 24 | 30 | 12 | 17 | 21 | 18 | 08 | 27 |
| 十 就 業 時 間 | (a) 一箇月の賃金照算日數 | 28 日 | 30 日 | 21 日 | 31 日 | 25 日 | 27 日 | 30 日 | 30 日 | 17 日 | 29 日 |
| | (b) 一日の所定就業時間 | 10.00 時 | 10.00 時 | 10.00 時 | 10.00 時 | 10.00 時 | 10.00 時 | 10.00 時 | 10.00 時 | 10.00 時 | 10.00 時 |
| | (c) 一日の平均就業時間 | 10.09 時 | 10.00 時 | 11.72 時 | 12.05 時 | 10.78 時 | 10.39 時 | 10.38 時 | 12.09 時 | 10.05 時 | 10.47 時 |
| 十一 民 籍 | | | | 内地 | | | | | | 内地 | |
| 申告者の署名又は捺印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | |

〔摘要〕

本記載例は金屬鑛業の範圍に屬するものであつて其の記載方は大體工場に於ける場合と同様であるが、松岡春吉の一日の所定就業時間は一〇時で一日の平均實就業時間は一一、七二時なるにも拘はらず、一時間の基本給は二十五錢で一時間の平均賃金は二十四錢であるのは一見奇異に感ぜられるが、これは残業一時間當りの歩増が一時間の基本給より少額であるが爲に、結果に於て一時間の基本給より一時間の平均賃金が一錢低いと言ふ特殊のものである。

3 乗合自動車運輸事業種 = 於ケル勞務票ノ記載例

昭和18年6月10日現在

勞 務 票

朝鮮總督府

| | | |
|-----------|-------------|-------|
| 準備調査簿の番號 | 勞務票通し番號 | 調査員檢印 |
| 第 65 號 | 24枚の内第 20 號 | ① |
| 事業體の所在地 | 事業體の名 | |
| 京畿道京城府龍巖區 | 京華鐵道乗合自動車部 | |

| 勞務者通し番號 | 191 | 192 | 193 | 194 | 195 | 196 | 197 | 198 | 199 | 200 | |
|-----------------------------|------------------|-------------|-------------|---------------|-----------|-----------|----------------|-----------|-----------------|-------------|----------|
| 一氏名 | 平松光男 | 高山秀雄 | 高谷泰永 | 國本祐一 | 白川順子 | 金光敏子 | 松本甲成 | 山田花子 | 柳川甲龍 | 金城明枝 | |
| 二男女の別 | ♀ 女 | ♀ 女 | ♀ 女 | ♀ 女 | ♂ 男 | ♂ 男 | ♂ 男 | ♂ 男 | ♀ 女 | ♀ 女 | |
| 三出生の年月日 | 大正5年4月8日 | 大正9年9月21日 | 大正4年8月14日 | 大正11年12月20日 | 昭和2年5月30日 | 大正14年2月8日 | 大正13年4月1日 | 大正14年3月6日 | 明治39年4月3日 | 大正5年2月16日 | |
| 四卒業又は修業國民學校所在地 | 京畿道府部 | 黄海道郡部 | 平安道郡部 | 京畿道郡部 | 江原道府部 | 江原道郡部 | 忠清道府部 | 京畿道郡部 | 忠清道郡部 | 京畿道郡部 | |
| 五配偶者の有無 | ① 無 | ① 無 | ① 無 | 有 ① | 有 ① | 有 ① | 有 ① | 有 ① | ① 無 | ① 無 | |
| 六教育の程度 | 3 國初卒 | 3 國初卒 | 3 國初卒 | 2 國初退 | 2 國初退 | 3 國初卒 | 3 國初卒 | 10 高女退 | 1 不就學 | 3 國初卒 | |
| 七職名 | 3 自選 自動車運転手 | 3 自選 自動車運転手 | 3 自選 自動車運転手 | 9 美ノ他ノ勞働者(木工) | 4 車掌 | 4 車掌 | 9 美ノ他ノ勞働者(出札掛) | 12 タイピスト | 9 美ノ他ノ勞働者(木炭運入) | 3 自選 自動車運転手 | |
| (* 乗客事業種及運送事業種の勞務者に限り記入す) | ※内 外 ① 非 | ※内 外 ① 非 | ※内 外 ① 非 | ※内 外 ① 乘 | ※内 外 ① 非 | ※内 外 ① 非 | ※内 外 ① 乘 | ※内 外 ① 乘 | ※内 外 ① 乘 | ※内 外 ① 非 | |
| 八 職歴 | (a) 當該事業體に在職年月數 | 5年0月 | 2年2月 | 3年0月 | 3年9月 | 1年2月 | 2年3月 | 2年6月 | 0年7月 | 0年3月 | 2年0月 |
| | (b) 當該職業に從事する年月數 | 7年10月 | 2年7月 | 4年0月 | 0年3月 | 1年2月 | 2年3月 | 1年0月 | 0年7月 | 0年3月 | 3年6月 |
| 九 賃金 | (a) 定額給又は請負給の別 | ① 請 | ① 請 | ① 請 | ① 請 | ① 請 | ① 請 | ① 請 | ① 請 | ① 請 | |
| 十 全賃 | (b) 一時間の給 | 円 銭 15 | 円 銭 16 | 円 銭 16 | 円 銭 14 | 円 銭 08 | 円 銭 11 | 円 銭 12 | 円 銭 14 | 円 銭 14 | |
| | (c) 一箇月の賃金總額 | 円 銭 8871 | 円 銭 8358 | 円 銭 5124 | 円 銭 3900 | 円 銭 2053 | 円 銭 4793 | 円 銭 3250 | 円 銭 4450 | 円 銭 4200 | 円 銭 9651 |
| | (d) 内賃物給與 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| | (e) 一日の平均賃金 | 円 銭 2.96 | 円 銭 3.21 | 円 銭 2.71 | 円 銭 1.30 | 円 銭 .69 | 円 銭 1.84 | 円 銭 1.03 | 円 銭 1.43 | 円 銭 1.40 | 円 銭 3.22 |
| | (f) 一時間の平均賃金 | 円 銭 27 | 円 銭 29 | 円 銭 21 | 円 銭 14 | 円 銭 08 | 円 銭 14 | 円 銭 12 | 円 銭 16 | 円 銭 14 | 円 銭 28 |
| 十一 就業時間 | (a) 一箇月の賃日數 | 30 日 | 27 日 | 20 日 | 30 日 | 30 日 | 26 日 | 30 日 | 30 日 | 30 日 | 30 日 |
| | (b) 一日の所定就業時間 | 9.00 時 | 9.00 時 | 9.00 時 | 9.00 時 | 9.00 時 | 10.00 時 | 9.00 時 | 9.00 時 | 10.00 時 | 9.00 時 |
| | (c) 一日の平均賃就業時間 | 11.00 時 | 11.03 時 | 13.17 時 | 9.00 時 | 9.00 時 | 13.25 時 | 9.00 時 | 9.00 時 | 10.00 時 | 11.43 時 |
| 十二 氏名 | | | | | | | | | 内地 | | |
| 申告者の署名又は捺印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | |

(摘要)

本記載例は職名欄を除いて大體工場の場合と其の記載方が同様である。

4 土木建築業に於ける勞務票ノ記載例

昭和6年6月10日現在

勞務票

朝鮮總督府

| | | | | | | | | | | |
|---------------------|--------------------------|----------------|----------------|-------------------------|----------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|---------------|
| 準 備 問 答 簿 の 番 號 | | | | 勞 務 票 通 し 番 號 | | | | 調 査 員 檢 印 | | |
| 第 28 號 | | | | 15 枚 の 内 第 4 號 | | | | ① | | |
| 事 業 體 の 所 在 地 | | | | 事 業 體 の 名 | | | | | | |
| 咸 鏡 南 道 咸 州 興 南 昌 邑 | | | | 株 式 會 社 山 本 組 興 南 出 張 所 | | | | | | |
| 勞務者通し番號 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 |
| 一氏 名 | 朴一男 | 清原炳吉 | 新井成基 | 山本貞祐 | 谷玉田 | 金城仁永 | 李家永結 | 白石貞九 | 山住为大 | 石川福女 |
| 二男女の別 | ♀ 女 | ♀ 女 | ♀ 女 | ♀ 女 | ♀ 女 | ♀ 女 | ♀ 女 | ♀ 女 | ♀ 女 | ♂ 男 |
| 三出生の年月日 | 大正3年 4月15日 | 明治40年 6月20日 | 明治11年 12月6日 | 明治37年 4月14日 | 明治35年 3月16日 | 大正14年 12月25日 | 明治42年 5月25日 | 明治31年 8月28日 | 明治27年 7月10日 | 大正13年 2月8日 |
| 四卒業又は修業園 民學校所在地 | 咸鏡道 咸鏡南道 | 咸鏡道 咸鏡南道 | 江原道 | 江原道 | 江原道 | 江原道 | 江原道 | 咸鏡道 咸鏡南道 | 咸鏡道 咸鏡南道 | 咸鏡道 咸鏡南道 |
| 五配偶者の有無 | 無 | 無 | 無 | 無 | 無 | 有 | 無 | 無 | 無 | 有 |
| 六教育の程度 | 2 國初退 | 1 不就學 | 1 不就學 | 0 | 2 國初退 | 2 國初退 | 3 國初卒 | 2 國初退 | 1 不就學 | 2 高女退 |
| 七職 名 | 157 土 工大 | 152 工左 | 153 工左 | 154 工左 | 152 工左 | 155 工左 | 158 工左 | 163 工左 | 157 土 工 | 166 一般事務員 |
| 八職 歴 | (a) 當該事業體 在職年月數 | 0年3月 | 5年0月 | 5年3月 | 4年1月 | 1年0月 | 0年3月 | 4年4月 | 0年3月 | 0年3月 |
| | (b) 當該職業に 従事する 年月數 | 0年3月 | 6年0月 | 7年3月 | 15年0月 | 2年0月 | 6年3月 | 10年3月 | 0年3月 | 0年3月 |
| 九賃 金 | (a) 定額給又は 請負給の別 | 請 | 請 | 請 | 請 | 定 | 請 | 請 | 請 | 請 |
| | (b) 一時間の給 基本 | 181 | 350 | 500 | 300 | 300 | 300 | 300 | 165 | 153 |
| | (c) 一箇月の 賃金總額 | 5430 | 9100 | 14000 | 9760 | 3800 | 7500 | 9000 | 4950 | 4600 |
| | 内賃物給與 | | | | | | | | | |
| | (d) 一日の 平均賃金 | 181 | 350 | 500 | 300 | 211 | 300 | 300 | 165 | 153 |
| | (e) 一時間の 平均賃金 | | | | | | | | | |
| 十就 業 時 間 | (a) 一箇月の賃 働日數 | 30 日 | 28 日 | 28 日 | 25 日 | 18 日 | 25 日 | 30 日 | 30 日 | 30 日 |
| | (b) 一日の所定 就業時間 | | | | | | | | | |
| | (c) 一日の平均 就業時間 | 12.00 時 | 11.00 時 | 12.00 時 | 10.00 時 | 11.00 時 | 11.00 時 | 12.00 時 | 10.00 時 | 10.00 時 |
| 十一民 籍 | | | | | 滿洲國 | | | | | |
| 申告者の署名 又は捺印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 |

여 백

6 砂鉄事業體ニ於ケル勞務票ノ記載例

昭和18年6月10日現在

勞 務 票

朝鮮總督府

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|------------------|----------------|-------------------|----------------|----------------|---------|-------|-------|-------|-------|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 準備調査簿の番號 | 第 4 號 | | | | | 勞務票通し番號 | | | | | 9枚の内第 9 號 | | | | | 調査員檢印 |
| 事業體の所在地 | 忠清南道 洪城 麻 洪東 國 | | | | | 事業體の名 | | | | | 忠南砂金株式会社 洪東 鐵山 | | | | | |
| 勞務通し番號 | 81 | 83 | 83 | 84 | 85 | | | | | | | | | | | |
| 一氏 名 | 金山順結 | 朴澤真吉 | 新井今山 | 松岡正雄 | 大山榮結 | | | | | | | | | | | |
| 二男女の別 | ♀ 女 | ♀ 女 | ♀ 女 | ♀ 女 | ♀ 女 | 男 女 | 男 女 | 男 女 | 男 女 | 男 女 | 男 女 | 男 女 | 男 女 | 男 女 | 男 女 | 男 女 |
| 三出生の年月日 | 大正12年 2月 2日 | 明治40年 3月 7日 | 大正 3年 8月16日 | 大正 9年 7月 6日 | 明治40年 7月 5日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 |
| 四卒業又は修業國民學校所在地 | 忠清南道 府部 忠南道 | 全羅北道 府部 全羅北道 | 忠清南道 府部 忠清南道 | 忠清北道 府部 忠清北道 | 京畿道 府部 京畿道 | 道 郡 部 | 道 郡 部 | 道 郡 部 | 道 郡 部 | 道 郡 部 | 道 郡 部 | 道 郡 部 | 道 郡 部 | 道 郡 部 | 道 郡 部 | 道 郡 部 |
| 五配偶者の有無 | 有 | 無 | 無 | 有 | 無 | 有 | 無 | 有 | 無 | 有 | 無 | 有 | 無 | 有 | 無 | 有 |
| 六教育の程度 | 2 國初退 | 1 不就學 | 3 國初卒 | 2 國初退 | 1 不就學 | | | | | | | | | | | |
| 七職 名 | 70 土石採取夫 | 71 運搬夫 | 72 其ノ他ノ勞務者(船夫) | 69 精鍊夫 | 73 小使 | | | | | | | | | | | |
| ※経営事業體及運輸事業體の勞務者に限り記入す | ※内 乗 | ※内 非 | ※内 乗 | ※内 非 | ※内 乗 | ※内 非 | ※内 乗 | ※内 非 | ※内 乗 | ※内 非 | ※内 乗 | ※内 非 | ※内 乗 | ※内 非 | ※内 乗 | ※内 非 |
| 八 歴 | (a) 當該事業體に在職年月數 | 0年 4月 | 4年 3月 | 6年 1月 | 3年 3月 | 2年 8月 | 年 月 | 年 月 | 年 月 | 年 月 | 年 月 | 年 月 | 年 月 | 年 月 | 年 月 | 年 月 |
| | (b) 當該職業に從事する年月數 | 0年 4月 | 4年 3月 | 7年 5月 | 3年 3月 | 2年 8月 | 年 月 | 年 月 | 年 月 | 年 月 | 年 月 | 年 月 | 年 月 | 年 月 | 年 月 | 年 月 |
| 九 賃 | (a) 定額給又は請負給の別 | 請 | 請 | 請 | 請 | 請 | 定 | 定 | 定 | 定 | 定 | 定 | 定 | 定 | 定 | 定 |
| | (b) 一時間の基本給 | 151 | 205 | 243 | 177 | 120 | | | | | | | | | | |
| | (c) 一箇月の賃金總額 | 4220 | 3510 | 7300 | 5250 | 3720 | | | | | | | | | | |
| | 内實物給與 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | (d) 一日の平均賃金 | 151 | 205 | 243 | 177 | 120 | | | | | | | | | | |
| 金 | (e) 一時間の平均賃金 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 十 就 業 時 間 | (a) 一箇月の賃限労働日數 | 28 日 | 17 日 | 30 日 | 30 日 | 31 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 | 日 |
| | (b) 一日の所定時間 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | (c) 一日の平均實就業時間 | 10.00 時 | 10.00 時 | 9.00 時 | 8.93 時 | 10.50 時 | 時 | 時 | 時 | 時 | 時 | 時 | 時 | 時 | 時 | 時 |
| 十一 民 籍 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 申告者の署名又は捺印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | | | | | | | | | | | |

〔摘要〕

本記載例は職名欄を除いては大體土木建築事業體及貨物自動車運送事業體等と其の記載方が同様であるが、只本勞務票は勞務票通し番號に示す如く洪東鑛山に於ける最終の勞務票であつて、勞務者も85大山榮詰が最後であるから以下は空欄の儘となつてゐるものである。

6 貨物自動車運送事業體(乗合自動車運輸事業體ト不可分關係)ニ於ケル勞務票ノ記載例

昭和18年6月10日現在

勞 務 票

朝鮮總督府

| | | | | | | | | | | | |
|-----------------|--------------------------|-----------------|---------------|---------------|----------------|---------------|--------------|--------------|---------------|--------------|---------|
| 准 備 簡 章 簿 の 番 號 | 第 3 號 | | | 勞 務 票 通 し 番 號 | 5 枚 の 内 第 2 號 | | | 副 査 員 檢 印 | ④ | | |
| 事 業 體 の 所 在 地 | 慶 尙 南 道 晉 州 府 院 裏 | | | 事 業 體 の 名 | 晉 州 陸 運 組 | | | | | | |
| 勞務通し番號 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | |
| 一氏 名 | 大田清吉 | 金萬洙 | 金光昌一 | 岩本永五 | 張本泰昌 | 武内昌秀 | 洪山慶九 | 松岡花子 | 岩本玉順 | 廣川正義 | |
| 二男女の別 | ♀ 女 | ♀ 女 | ♀ 女 | ♀ 女 | ♀ 女 | ♀ 女 | ♀ 女 | ♂ 男 | ♂ 男 | ♀ 女 | |
| 三出生の年月日 | 明治43年 5月2日 | 明治41年 12月17日 | 大正9年 11月6日 | 大正8年 4月6日 | 明治32年 5月18日 | 大正7年 10月3日 | 大正5年 6月1日 | 昭和3年 5月1日 | 大正14年 2月4日 | 大正2年 7月3日 | |
| 四卒業又は修業國民學校所在地 | 慶尙南道 郡 | 慶尙南道 郡 | 慶尙南道 郡 | 江原道 郡 | 慶尙北道 郡 | 全羅南道 郡 | 忠清南道 郡 | 慶尙南道 郡 | 慶尙南道 郡 | 慶尙南道 郡 | |
| 五配偶者の有無 | 無 | 無 | 無 | 無 | 有 | 無 | 無 | 有 | 有 | 無 | |
| 六教育の程度 | 6 青年退 | 2 國初退 | 2 國初退 | 1 不就學 | 1 不就學 | 14 商業退 | 3 國初卒 | 3 國初卒 | 3 國初卒 | 1 不就學 | |
| 七職 名 | 20 自動車 自 運 手 | 17 貨物 運 手 | 18 貨物 運 手 | 18 貨物 運 手 | 22 貨物 運 手 | 25 貨物 運 手 | 20 貨物 運 手 | 22 貨物 運 手 | 22 貨物 運 手 | 23 貨物 運 手 | |
| 八 考 察 | (1) 當該事業體 在職年月數 | 3年7月 | 1年3月 | 1年11月 | 0年2月 | 0年6月 | 6年4月 | 2年4月 | 0年6月 | 1年2月 | 0年9月 |
| | (2) 當該事業に 従事する 年月數 | 6年2月 | 7年5月 | 6年10月 | 0年6月 | 0年6月 | 7年9月 | 8年5月 | 0年6月 | 1年2月 | 0年9月 |
| 九 賃 金 | (1) 定額給又は 諸員給の別 | 請 | 請 | 請 | 請 | 請 | 請 | 請 | 請 | 請 | 請 |
| | (2) 一時間の 基本給 | 200 | 125 | 120 | 175 | 180 | 220 | 200 | 140 | 155 | 105 |
| | (3) 一箇月の 賃金總額 | 7950 | 4125 | 5100 | 6145 | 6284 | 7500 | 8150 | 4260 | 4800 | 3150 |
| | (4) 一箇月の 平均賃金 | 235 | 135 | 170 | 215 | 224 | 250 | 281 | 142 | 163 | 105 |
| 十 就 業 時 間 | (1) 一箇月の賃 金労働日數 | 30 日 | 25 日 | 30 日 | 30 日 | 28 日 | 30 日 | 29 日 | 30 日 | 29 日 | 30 日 |
| | (2) 一日の所定 就業時間 | 時 | 時 | 時 | 時 | 時 | 時 | 時 | 時 | 時 | 時 |
| | (3) 一日の平均 就業時間 | 10.50 時 | 11.00 時 | 12.00 時 | 12.00 時 | 12.00 時 | 0.00 時 | 10.50 時 | 9.50 時 | 9.67 時 | 10.00 時 |
| 十一 民 籍 | 籍 | | | | | | | | | | |
| 申告者の署名 又は捺印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | |

〔摘要〕

貨物自動車運送事業體と乗合自動車運輸事業體と不可分の關係にあるが、貨物自動車運送業が主であるから乗合自動車運輸業を包含せしめて貨物自動車運送事業體として申告したものである。勞務者中17洪山慶九から20廣川正義迄の四名は主として乗合自動車運輸業に従事する者であつて本來ならば職名、賃金、就業時間は乗合自動車運輸業の書き方に依るべきであるが、此處では既に不可分の關係に依り貨物自動車運送事業體に吸収されて終つてゐるのであるから、職名、賃金、就業時間は凡て貨物自動車運送事業體の記入方法に依つたものである。

7 事務所商店 = ケル 勞務票ノ記載例

昭和18年6月10日現在

勞務票

朝鮮總督府

| | | |
|-----------|-------------|-------|
| 準備調査簿の番號 | 勞務票通し番號 | 調査員檢印 |
| 第 27 號 | 19 枚の内第 1 號 | 印 |
| 事業體の所在地 | 事業體の名 | |
| 京畿道京城府 瀾陽 | 松田百貨店 | |

| | | | | | | | | | | |
|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|
| 勞務通し番號 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|

| | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|----------------------|-------------------------|-----------|
| 一氏名 | 香川致永 | 朴永喆 | 倉田繁 | 廣田毅 | 朴龍雲 | 金本宇永 | 吉村花子 | 吉永恵子 | 李仁順 | 松本明子 | |
| 二男女の別 | ④ 女 | ② 女 | ③ 女 | ④ 女 | ② 女 | ③ 女 | 男 ② | 男 ③ | 男 ② | 男 ② | |
| 三出生の年月日 | 明治30年 10月4日 | 明治23年 10月28日 | 明治24年 12月10日 | 大正5年 3月12日 | 明治44年 1月26日 | 大正14年 3月16日 | 大正13年 2月14日 | 昭和3年 7月2日 | 大正2年 3月7日 | 大正5年 5月27日 | |
| 四卒業又は修業國 民學校所在地 | 京畿道 府部 京畿道 郡部 | 平安道 府部 平安道 郡部 | 内地道 府部 内地道 郡部 | 京畿道 府部 京畿道 郡部 | 平安道 府部 平安道 郡部 | 忠清道 府部 忠清道 郡部 | 京畿道 府部 京畿道 郡部 | 京畿道 府部 京畿道 郡部 | 京畿道 府部 京畿道 郡部 | 忠清道 府部 忠清道 郡部 | |
| 五配偶者の有無 | ④ 無 | ④ 無 | ④ 無 | ④ 無 | ④ 無 | 有 ④ | 有 ④ | 有 ④ | ④ 無 | 有 ④ | |
| 六教育の程度 | 3 國初卒 | 2 國初退 | 4 國高退 | 5 國高卒 | 3 國初卒 | 10 高女退 | |
| 七職名 | 4 集金人 | 3 販賣店員 | 6 看守 | 10 氣工 | 11 自働車 手荷造工 | 12 荷造工 | 3 子給 | 7 仕 | 13 其ノ他ノ勞働者 (洋眼職工) | 13 其ノ他ノ勞働者 (婦人子供眼職工) | |
| (※續業事業體及運輸事業體の勞務者に限り記入す) | ※内 外 乗 非 | ※内 外 乗 非 | ※内 外 乗 非 | ※内 外 乗 非 | ※内 外 乗 非 | ※内 外 乗 非 | ※内 外 乗 非 | ※内 外 乗 非 | ※内 外 乗 非 | ※内 外 乗 非 | |
| 八職歴 | (イ) 當該事業體 在職年月數 | 12年10月 | 15年9月 | 15年1月 | 8年3月 | 8年10月 | 0年3月 | 1年2月 | 0年7月 | 2年3月 | 5年6月 |
| (ロ) 當該職業に 従事する數 | 12年10月 | 15年9月 | 13年2月 | 8年3月 | 8年10月 | 0年3月 | 3年2月 | 0年7月 | 2年3月 | 5年6月 | |
| 九賃金 | (イ) 定額給又は 請負給の別 | 月給 定額 | 月給 定額 | 月給 定額 | 月給 定額 | 月給 定額 | 日給 定額 | 日給 定額 | 日給 定額 | 其ノ他 定額 | 其ノ他 定額 |
| (ロ) 一時間の 基本給 | 8100 | 6500 | 6500 | 6400 | 4400 | 4130 | 3000 | 2100 | 1500 | | |
| (ハ) 一箇月の 賃金總額 | 10510 | 9630 | 10950 | 11240 | 5490 | 5010 | 3750 | 2600 | 6640 | 11477 | |
| 内貨物給與 | | | | | | | | | | | |
| (ニ) 一日の 平均賃金 | | | | | | | | | | | |
| (ヘ) 一時間の 平均賃金 | | | | | | | | | | | |
| 十就業時間 | (イ) 一箇月の 實際労働日數 | 30 日 | 27 日 | 30 日 | 29 日 | 25 日 | |
| (ロ) 一日の 所定時間 | | 時 | 時 | 時 | 時 | 時 | 時 | 時 | 時 | 時 | |
| (ハ) 一日の 平均就業時間 | | 時 | 時 | 時 | 時 | 時 | 時 | 時 | 時 | 時 | |
| 十一民籍 | | | 内地 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 申告者の署名 又は捺印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | 印 |
|----------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

여 백

(摘要)

事務所商店に在りては九賃金(イ)欄の書き方も他の事業體と異り又(ロ)一時間の基本給欄には一箇月の基本給を記入するのである。尙爰に説明の通貨金の(ハ)、(ニ)欄及十就業時間の(ロ)、(ハ)欄は調査を要しないから斜線を引くのである。

廣田毅は内地人ではあるが京城の高等小學校を卒業したから、四卒業又は修業國民學校所在地は京畿道(ニ)と記入したのであり、又李仁順及松本明子の九賃金(イ)欄は請負給であるから「其ノ他」と記入したのである。

三 技 術 票

技術票は勞務票と同様、調査員又は副調査員が、技術者に一々調査事項を、質問してから記入するのであるが、本調査に該當する工業、鑛業、運輸、各事業體、事務所商店の全般に互りその事業體に居る技術者(現技術者、元技術者、技術能力者)は一人残らず申告を要するのである。

欄 外 事 項

技術票欄外左上部の○、昭和 年 月 日現在、準備調査簿の番號及事業體の所在地、

事業體の名の各欄は、勞務票の場合と同様、調査員又は副調査員が事業票より移記するのである。技術票通し番號欄は、その事業體に現在する技術者の總數と、技術票通し番號の最終番號が合致するのであつて缺號があつてはならないのである。

調査員檢印欄は、調査員又は副調査員が、技術票の記載内容を詳細に検査して、間違が無かつた時認印を押捺するのである。

(記載例)

㊦

昭和18年6月10日現在

㊧

技 術 票

府 總 務 部

| | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 第 5 號 | 技 術 票 第 1 號 | 調 査 員 檢 印 |
| 事 業 體 の 番 號 | 所 在 地 | 名 |
| 成 鏡 北 道 清 津 | 府 瀨 田 國 屋 | 所 清 津 製 鐵 所 |

一 氏 名

名前を記入するのであるが、特に半島出身の技術者は、氏名の次に本籍地を「京畿道」又は「忠清北道」等と、必ず記入するのである。

二 男女の別

男は⊙、女は⊗の様に、○印を付けるのである。

三 出生の年月日

實際生れた年月日を記入するのである。

(記載例)

| | | | | | | |
|------|---------|------------------|--------|---|----------|-----------------|
| 一 氏名 | 松原 一 龍 | 咸鏡南道 | 二 男女の別 | ⊙ | 三 出生の年月日 | 1918 年 11 月 8 日 |
| 川田 生 | の 年 月 日 | 大 正 6 年 11 月 8 日 | | | | |

一 氏名のところに、半島出身の技術者でありながら、出身道名を記入しなかつたものがあり、三出生の年月日欄では記入洩のもの、漢字で年月日を記入したもの、明治、大正等の年號記入洩のもの、又は明、大、昭の如く省略記載したもの等があつたのである。

四 現技術者、元技術者、又は技術能力者の別

現技術者は㉔、元技術者は㉕、技術能力者は㉖、の様に夫々○印を附けるのである。

尙技術者に付ては、勞働技術統計調査令の第四條の項で、既に説明した通であるが、更に若干附加へることとする。現技術者は、一口に言へば現に技術に従事するか、技術の指導監督に従事するかを本態としてゐるのであつて、必ずしも學歷を問はないのであるが、通例甲種中等程度の技術に関する學校以上の學校を卒業して、技術に従事してゐる様な、所謂學校出の人は、明らかに本調査に於ては技術者である。然しながら學歷は無いが、獨學に依り研究をしたとか、或は多年の經驗等に依つて現實に技術に従事してゐる人も、相當あるのであつて、此の場合の見解は事業體の規模の大小とか、技術部門の種別等の關係もあつて、仲々一樣には判定し難いのである。従つて昭和十六年の第一回調査に於ては、之を國民登録の技術者に對する見解と混同して、所謂熟練勞務者例へば、古參大工、職工長等の如き者又は、自動車運轉手の如き者を、現技術者として申告した向も相當あつたのであるが、本調査に於て要求する技術者は技術動員を目的とするものである點からして、判然と勞務者とは區別された、謂はば勞務者の上に立つて技術的な指導監督に従事してゐるか、或は自ら技術的の仕事に従事してゐる様な者を謂ふのであつて、常識的には相當程度の高いものであるとでも申されるのである。然らばこれ等甲種中等程度以上の技術的學力を持たないで、現技術者

として働いてゐる者の認定は、如何にするかと言ふことになるが、これを分り易く申述べるなら、所謂學校出の技術者に比較して、少しも見劣りのしない様な技術者であるならば、假令學歷は無くとも現技術者として申告を要するのである。元技術者は曩にも説明の通現在は技術者で無いが、以前に技術者であつたと言ふ者であつて、一例が現在は支配人であるが、以前は電氣技術者であつたとか、或は現在は取締役であるが、以前は土木技術者であつたと言ふ様な者である。技術能力者は、現技術者でも元技術者でもなく技術者として、働き得る能力を持つてゐながら、現在技術に對する仕事をして居らない者を謂ふので、特に注意を要するのはこの技術能力者は、何處迄も三十七頁に掲載の朝鮮總督の指定する學歷（大體甲種中等程度の技術的學校以上の學校卒業）を持つてゐるか、或は又資格に關する試験及檢定の合格者で無くてはならないのであつて、假へば甲種工業學校の機械科を卒業して、技術者にはならないで始めから勞務者たる機械工として勤務中の者とか、或は甲種農林學校を卒業して、直ちに社員として勤務中の者とかが之に該るのである。尙前者の如く甲種工業學校の機械科を卒業してゐながら現在機械工として働いてゐる者は、技術票には技術能力者として申告を要すると同時に、更に又勞務者（機械工）として、勞務票に依つて申告をしなく

てはならないのである。

五 職 名

現技術者の場合は、現在従事してゐる職業が、次の技術者分類表の何れに該るかよく見定めてその該當の番號と名稱を「1 機械」、「13 建築」の様に記入し「22 其他」に該る場合は更に括弧を附して、その職名を例へば「22 其他(醸造技術者)」の様に記載するのである。尙「22 其他」に該當する技術者は農業、畜産、林業、水産、醸造技術者等の如きものである。

元技術者は、先づ現在の職業を記入して、更に括弧を附して以前に従事してゐた職名を、次の技術者分類表に依つて、元の文字を冠して記入するのである。

例へば支配人(元3 電気)、取締役(元12 土木)等の如く記載するのである。

技術能力者は技術能力者としての學歷並に資格に關する試験檢定名は、六教育欄に記入することとなつてゐるから、本欄には只單に現在従事してゐる職名のみを、例へば「機械工」、「社員」等の如く記入すればよろしいのである。

最後に本調査に該當する事業體中に、元技術者或は技術能力者が現在する場合、之等は現技術者

に比して調査より漏らし易い傾向があるから、特に注意する必要がある。

技術者分類表

| | | |
|----|-----|-------------|
| 1 | 機械 | (機械技術者) |
| 2 | 電機 | (電氣機械技術者) |
| 3 | 電氣 | (電氣技術者) |
| 4 | 電通機 | (電氣通信機械技術者) |
| 5 | 電通 | (電氣通信技術者) |
| 6 | 造船 | (造船技術者) |
| 7 | 航機 | (航空機技術者) |
| 8 | 化學 | (化學技術者) |
| 9 | 窯業 | (窯業技術者) |
| 10 | 紡織 | (紡織技術者) |

(記載例)

22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11
其 獸 藥 齒 醫 氣 航 冶 鑛 建 土 木

他 醫 劑 科 師 象 乘 金 山 築 木 工

(木工技術者)

(土木技術者)

(建築技術者)

(鑛山技術者)

(冶金技術者)

(航空機搭乗員)

(氣象技術者)

(醫師)

(齒科醫師)

(藥劑師)

(獸醫師)

(その他の技術者)

| | | | | |
|----------------------|--------------------------------|---|---|---|
| 四 現技術者、元技術者又は技術能力者の別 | | ④ | 元 | 能 |
| 出 職 | 名 (元技術者以外の現職) (の職名をも併記す) | 1 | 職 | 職 |

四現技術者、元技術者又は技術能力者のところでは現、元、能の何れにも○印の無かつたもの、
 ④とすべきものを④としたもの或は現、元、能の中二つに○をつけたもの等があり、五職名のところでは全然記載漏のもの、歴然と勞務者なるに技術者として調査せるもの、元技術者なるに職名に元の文字を冠せざるもの、「22其他」に該當する場合括弧書をして職名を附記しなかつたもの、元技術者の場合現職名を記入しなかつたもの、技術者分類表に依らず勝手に技術名を記入したものの等の誤りが多かつたのである。

六 教 育

(イ) 卒業又は修業學校名

本項は卒業又は修業した最高の學校の名稱と、卒業か又は何年修了かと言ふことを記入するのであつて、單に技術に關する學校に限らず例へば卒業の場合は何國民學校六年卒業、何工業學校卒業、何帝國大學工學部卒業等の様に記載し、修了した者は何國民學校何年修了、何高等工業學校何

年修了の様に記載するのである。尙此の場合同じ程度の學校を二校以上卒業して居れば、最後に卒業した學校を記載するのである、例へば、東京帝國大學工學部を卒業し、更に農學部を卒業した様な場合があるとすれば農學部の方を書くのである。但し此の場合現技術者であつて工學に關する技術に従事して居る様なものは假令農學部を後で卒業して居つても工學部の方を書くのである。

(ロ) 専攻學科名 (イ)欄に記入した學校で専攻した學科名を「機械科」、「農業土木科」、「應用化學科」等の如く記入するのである。

此處で特殊な取扱として、例へば或る技術者が京城工業學校の機械科を卒業して更に松江高等學校を卒業してゐる様な場合は、(イ)欄には「松江高等學校卒業」と記入するが、(ロ)欄には技術に關する専攻學科名を「京城工業學校機械科」と記入するのである。

(ハ) 資格に關する試験名又は檢定名

次に掲載の「資格ニ關スル試験又ハ檢定表」の試験又は檢定に合格した者は番號と名稱とを、例へば「12電氣二」、「17朝鮮火取乙」等の如く記入するのであるが、朝鮮に於ける規則には特に「朝鮮」の文字を冠してあり、「朝鮮」の文字を冠してないものは全部内地の規則である。

尙技術票には備考欄がないので便宜本欄を使用して、前述の甲種中等程度以上の技術に關する學校の卒業者で無い、例へば不就學の者、國民學校卒業の者、中學校、女學校卒業の者、中央大學專門部法科卒業等の者、或は技術に關する乙種程度の中等學校、例へば昭和工科學校卒業等の如き者が技術者である場合は、本調査に於ける技術者としての認定が仲々困難であるから、此の欄に其の者の大體の技術者としての經歷を簡明に、例へば「何年間何々技術の指導監督に従事す」、「何年間何々會社に於て電氣技手として勤務す」等の如く記入することとして居るのである。尙此の外假りに農林學校を卒業して鑛山技術者であると言ふ様な、學歷と技術とが不合理の場合にも便宜、此の欄に前述の通り其技術者の經歷を書いて置いて貰ひたいのである。

最後の「申告者の署名又は捺印」欄には申告者の名前を書いて認印を押さすか、或は又認印のみでも差支無いのである。

資格ニ關スル試験又ハ檢定表

1 實業卒 (大正十四年文部省令第三十號實業學校卒業程度檢定規程ニ依ル檢定)(商業

學校卒業程度ノモノヲ除ク)

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|------------------------------|-------|-------|-----------------|---------|---------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 14 | 13 | 12 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 |
| 瓦斯甲 | 電氣三 | 電氣二 | 電氣一 | 航機關 | 二等航 | 一等航 | 自氣操 | 三航操 | 二航操 | 一航操 | 二飛操 | 一飛操 |
| (甲種) | (第三種) | (第二種) | (第一種) | (航空機機關士) | (二等航空士) | (一等航空士) | (自由氣球操縦士) | (三等航空船操縦士) | (二等航空船操縦士) | (一等航空船操縦士) | (二等飛行機操縦士) | (一等飛行機操縦士) |
| 大正十四年 | 昭和七年遞信省令第五十四號電氣事業主任技術者資格檢定規則 | | | 航空法第十六條ノ規定ニ依ル考查 | | | | | | | | |
| 商工内務省令瓦斯事業法施行規則第四十五條ノ規定ニ依 | 依ル電氣事業主任技術者ノ資格檢定 | | | | | | | | | | | |

- 15 瓦斯 乙 (乙種) 一ル詮衡
- 16 朝鮮火取甲 (火藥類取扱免狀甲種)
- 17 朝鮮火取乙 (火藥類取扱免狀乙種)
- 18 火取甲 (火藥類取扱免狀甲種)
- 19 火取乙 (火藥類取扱免狀乙種)
- 20 火作甲 (火藥類作業主任者免狀甲種)
- 21 火作乙 (火藥類作業主任者免狀乙種)
- 22 火作丙 (火藥類作業主任者免狀丙種)
- 23 甲化學 (甲種化學主任者)
- 24 乙化學 (乙種化學主任者)
- 25 甲機械 (甲種機械主任者)
- 26 乙機械 (乙種機械主任者)

銃砲火藥類取締令施行規則第四十八條ノ規定ニ依

ル詮衡

明治四十四年內務省令第二號銃砲火藥類取締法
施行細則第四條及第六條ノ二ノ規定ニ依ル詮衡

昭和十一年內務省令第二十三號壓縮瓦斯及液化瓦斯取締法
施行令第十條ノ規定ニ依ル詮衡

| | | |
|----|-------|-----------|
| 27 | 丙 機 械 | (丙種機械主任者) |
| 28 | 朝鮮無通一 | (第一級) |
| 29 | 朝鮮無通二 | (第二級) |
| 30 | 朝鮮無通三 | (第三級) |
| 31 | 朝鮮無通航 | (航空級) |
| 32 | 朝鮮無通電 | (電話級) |
| 33 | 朝鮮無通聽 | (聽守員級) |
| 34 | 無通一 | (第一級) |
| 35 | 無通二 | (第二級) |
| 36 | 無通三 | (第三級) |
| 37 | 無通航 | (航空級) |
| 38 | 無通電 | (電話級) |
| 39 | 無通聽 | (聽守員級) |

無線通信士資格檢定規則ニ依ル無線通信士ノ資格檢定

昭和六年遞信省令第八號無線通信士資格檢定規則ニ依ル無線通信士ノ資格檢定

- 40 朝鮮醫師 (醫師試験規則ニ依ル試験)
- 41 醫師 (大正二年文部省令第二十七號醫師試験規則ニ依ル試験)
- 42 朝鮮齒科 (齒科醫師試験規則ニ依ル試験)
- 43 齒科 (大正二年文部省令第二十八號齒科醫師試験規則ニ依ル試験)
- 44 朝鮮藥劑 (藥劑師試験規則ニ依ル試験)
- 45 藥劑 (大正二年文部省令第二十九號藥劑師試験規則ニ依ル試験)
- 46 朝鮮獸醫 (朝鮮獸醫師規則ニ依ル免許)
- 47 獸醫 (昭和十三年農林省令第十二號獸醫師試験規則ニ依ル試験) (明治三十七年農商務省令第十四號獸醫師蹄鐵工免許試験規則ニ依ル獸醫師免許試験ヲ含ム)
- 48 高等教 (大正八年文部省令第十號高等學校教員規程ニ依ル物理又ハ化學ノ教員檢定)
- 49 中等教 (明治四十一年文部省令第三十二號師範學校中學校高等女學校教員檢定規程ニ依ル物理又ハ化學ノ教員檢定)

50 實業教 (大正十一年文部省令第四號實業學校教員檢定ニ關スル規程ニ依ル教員檢定)

(商業ニ關スル學科ニ係ルモノヲ除ク)

51 電通一 (第一級)

52 電通二 (第二級)

53 電通三 (第三級)

54 機械技 (昭和十五年厚生省令第八號機械技術者檢定規則ニ依ル檢定)

昭和十五年逓信省令第十三號電氣通信技術者資格檢定規則ニ依ル電氣通信技術者ノ資格檢定

(記載例)

| | | |
|----|--------------------|-----------------|
| 大教 | (イ) 卒業又は修業學校名 | 京 城 高 等 工 業 學 校 |
| | (ロ) 専攻學科名 | 機 械 |
| 備 | (ハ) 資格に關する試験名又は檢定名 | |

申告者の署名
又は捺印

(イ) 卒業又は修業學校名のところでは、卒業又は修業の別が明確でなく、又修了の場合何々學校何年修了と書かずに單に何々學校修了と書いたもの等があり、(ロ)専攻學科名のところでは(イ)欄に記

入した技術に關する學校と本欄の專攻學科名とが合致せざるものがあり、(イ)資格に關する試験名又は檢定名のところでは、當局に於て其の範圍を限定し居るにも拘はらず、それ以外の試験名又は檢定名を記入したものがあり、又前述の如く、技術に關する甲種中等程度以上の學校の卒業者と無い者の技術的經歷を簡明に便宜本欄に記入することが徹底してゐなかつたので、本府に於ける技術票の検査に當つては再三照覆等の手數を要したのである。

次に參考迄に技術票の記載例若干を登載することとする。

技術票記載例目次

| | |
|------------------------------|------|
| 一 内地人現技術者ニシテ學歷ヲ有スル者 | 二〇九頁 |
| 二 朝鮮人現技術者ニシテ試験檢定合格者 | 二一〇頁 |
| 三 朝鮮人現技術者ニシテ中學校卒業者 | 二二頁 |
| 四 朝鮮人現技術者ニシテ乙種實業學校ノ卒業者 | 二二頁 |
| 五 内地人現技術者ニシテ初等學校卒業者 | 二三頁 |
| 六 内地人現技術者ニシテ學歷ト現在ノ技術ト相違セル者 | 二四頁 |
| 七 内地人元技術者ニシテ初等學校卒業者 | 二五頁 |
| 八 朝鮮人元技術者ニシテ試験檢定合格者 | 二六頁 |
| 九 内地人技術能力者ニシテ工業學校ト大學專門部商科卒業者 | 二七頁 |

1 内地人現技術者ニシテ學歷ヲ有スル者

昭和18年 6月10日現在

㊦

技 術 票

㊦

朝鮮總督府

| | | | | |
|-------------|------------------------|------------------|---------|--------|
| 準備調査簿の番號 | | 技術票通し番號 | | 調査員檢印 |
| 第 | 50 | 第 | 3 | ㊦ |
| 事業體の所在地 | | | 事業體の名 | |
| 京 | 畿 | 道 | 京 | 城 |
| 府 | | | 株式會社 | |
| 支 | | | 清水組京城支店 | |
| 一 | 氏名 | 田中喜代太 | | 二 男女の別 |
| | | | | ㊦ 男 |
| 三 | 出生の年月日 | 明治 30 年 1 月 26 日 | | |
| 四 | 現技術者、元技術者又は技術能力者の別 | ㊦ 元 能 | | |
| 五 | 職名 (元技術者は其の當時の職名をも附記す) | 13 建 築 | | |
| 六 教 育 | (イ) 卒業又は修業學校名 | 名古屋高等工業學校卒業 | | |
| | (ロ) 専攻學科名 | 建 築 科 | | |
| | (ハ) 資格に關する試験名又は檢定名 | | | |

申告者の署名
又は捺印 田中喜代太 ㊦

2 朝鮮人現技術者ニシテ試験檢定合格者

昭和18年 6月10日現在

㊦

技 術 票

㊦

朝鮮總督府

| | | |
|-----------|---------------|-------|
| 準備調査簿の番號 | 技 術 票 通 し 番 號 | 調査員檢印 |
| 第 170 號 | 第 7 號 | ㊦ |
| 事業體の所在地 | 事業體の 名 | |
| 京畿道京城府 露島 | 關東機械工場 | |

| | | | | |
|---------------------------|--------------------|-------------|--------|-----|
| 一 氏 名 | 金光誠一 | 全羅北道 | 二 男女の別 | ㊦ 女 |
| 三 出生の年月日 | 大正2年10月28日 | | | |
| 四 現技術者、元技術者又は技術能力者の別 | ㊦ 元 能 | | | |
| 五 職 名 (元技術者は其の當時の職名をも附記す) | 18 醫 師 | | | |
| 六 教 育 | (イ) 卒業又は修業學校名 | 京畿公立中學校四年修了 | | |
| | (ロ) 専攻學科名 | | | |
| | (ハ) 資格に關する試験名又は檢定名 | 40 朝鮮醫師 | | |

| | |
|----------------|--------|
| 申告者の署名 又は捺印 | 金光誠一 ㊦ |
|----------------|--------|

3 朝鮮人現技術者ニシテ中學校卒業者

昭和18年 6月10日現在

技 術 票

朝鮮總督府

| | | | | |
|--------------------------|--------------------|-------------------|--------|-------|
| 準備調査簿の番號 | | 技術票通し番號 | | 調査員檢印 |
| 第 314 號 | 第 2 號 | | | ㊟ |
| 事業體の所在地 | | 事業體の名 | | |
| 忠清南道公州府新下邑 | | 大興鐵山 | | |
| 一 氏 名 | 河 東 武 治 | 忠清南道 | 二 男女の別 | ㊟ 女 |
| 三 出 生 の 年 月 日 | 明 治 34 年 2 月 13 日 | | | |
| 四 現技術者、元技術者又は技術能力者の別 | ㊟ 元 能 | | | |
| 五 職 名(元技術者は其の當時の職名をも附記す) | 14 鐵 山 | | | |
| 六 教 育 | (イ) 卒業又は修業學校名 | 公 州 公 立 中 學 校 卒 業 | | |
| | (ロ) 専攻學科名 | | | |
| | (ハ) 資格に関する試験名又は檢定名 | 10年間採鐵技術ノ指導監督ニ従事ス | | |
| 申告者の署名又は捺印 | | 河 東 武 治 ㊟ | | |

1111

朝鮮人現技術者ニシテ乙種實業學校ノ卒業者

昭和18年 6月10日現在

技 術 票

朝鮮總督府

| | | |
|-------------------------|---------------|-------|
| 準備調査簿の番號 | 技 術 票 通 し 番 號 | 調査員檢印 |
| 第 47 號 | 第 1 號 | ㊟ |
| 事 業 體 の 所 在 地 | 事 業 體 の 名 | |
| 忠 清 南 道 大 田 府 驛 島 區 西 面 | 大 田 機 械 工 作 所 | |

| | | | | |
|---------------------------|--------------------|-------------------------------------|-----------|-----|
| 一 氏 名 | 金 田 信 夫 | 忠 清 南 道 | 二 男 女 の 別 | ㊟ 女 |
| 三 出 生 の 年 月 日 | 大 正 3 年 4 月 28 日 | | | |
| 四 現技術者 元技術者又は技術能力者の別 | ㊟ 元 能 | | | |
| 五 職 名 (元技術者は其の當時の職名をも附記す) | 1 機 械 | | | |
| 六 教 育 | (イ) 卒業又は修業學校名 | 昭 和 工 科 學 校 卒 業 | | |
| | (ロ) 専攻學科名 | 機 械 科 | | |
| | (ハ) 資格に関する試験名又は檢定名 | 8 年 間 機 械 技 手 ト シ テ 指 導 監 督 = 従 事 ス | | |

| | |
|----------------|-----------|
| 申告者の署名 又は捺印 | 金 田 信 夫 ㊟ |
|----------------|-----------|

5 内地人現技術者 = シテ初等學校卒業者

㊦

昭和18年 6月10日現在

㊧

技 術 票

朝鮮總督府

| | | |
|-------------------|---------------|-------|
| 準備調査簿の番號 | 技 術 票 通 し 番 號 | 調査員檢印 |
| 第 514 號 | 第 31 號 | ㊦ |
| 事 業 體 の 所 在 地 | 事 業 體 の 名 | |
| 京 畿 道 京 城 府 瀾 島 區 | 京 城 酒 造 會 社 | |

| | | | |
|---------------------------|--------------------------------|------------------------------|-----|
| 一 氏 名 | 杉 野 繁 藏 | 二 男女の別 | ㊦ 女 |
| 三 出 生 の 年 月 日 | 明 治 29 年 11 月 14 日 | | |
| 四 現技術者、元技術者又は技術能力者の別 | ㊦ 元 能 | | |
| 五 職 名 (元技術者は其の當時の職名をも附記す) | 22 其 他 (醸 造 技 術 者) | | |
| 六 教 育 | (イ) 卒 業 又 は 修 業 學 校 名 | 栃 木 縣 本 郷 尋 常 小 學 校 卒 業 | |
| | (ロ) 専 攻 學 科 名 | | |
| | (ハ) 資 格 に 關 する 試 験 名 又 は 檢 定 名 | 22 年 間 醸 造 技 術 ノ 指 導 = 從 事 ス | |

申告者の署名
又は捺印 | 杉 野 繁 藏 ㊦

6 内地人現技術者ニシテ學歷ト現在ノ技術ト相違セル者

昭和18年6月10日現在

技 術 票

朝鮮總督府

| | | |
|---------------------------|--------------------|----------------|
| 準備調査簿の番號 | 技 術 票 通 し 番 號 | 調査員檢印 |
| 第 181 號 | 第 4 號 | ㊟ |
| 事業體の所在地 | 事業體の名 | |
| 京畿道京城府 瀾島區 | 朝鮮水利組合聯合會 | |
| 一 氏 名 | 田 澤 八 郎 | 二 男女の別 |
| | | ㊟ 女 |
| 三 出 生 の 年 月 日 | 明 治 38 年 12 月 28 日 | |
| 四 現技術者、元技術者又は技術能力者の別 | ㊟ 元 能 | |
| 五 職 名 (元技術者は其の當時の職名をも附記す) | 12 土 木 | |
| 六 教 育 | (イ) 卒業又は修業學校名 | 東京帝國大學農學部卒業 |
| | (ロ) 専攻學科名 | 農 學 科 |
| | (ハ) 資格に關する試験名又は檢定名 | 12年間土木技師トシテ勤務ス |

| | | |
|----------------|---------|---|
| 申告者の署名 又は捺印 | 田 澤 八 郎 | ㊟ |
|----------------|---------|---|

7 内地人元技術者ニシテ初等學校卒業者

昭和18年 6月10日現在

技 術 票

朝鮮總督府

| | | | | |
|---------------------------|--------------------|-------------------|--------|-------|
| 準備調査簿の番號 | | 技 術 票 通 し 番 號 | | 調査員檢印 |
| 第 166 號 | 第 2 號 | | | ⑩ |
| 事業體の所在地 | | 事業體の名 | | |
| 黄 海 道 海 州 府 露 森 | | 海 州 鐵 道 株 式 會 社 | | |
| 一 氏 名 | 萩 原 源 太 | | 二 男女の別 | ⑩ 女 |
| 三 出 生 の 年 月 日 | 明 治 22 年 3 月 17 日 | | | |
| 四 現技術者、元技術者又は技術能力者の別 | 現 ⑩ 能 | | | |
| 五 職 名 (元技術者は其の當時の職名をも附記す) | 社 員 (元 1 機 械) | | | |
| 六 教 育 | (イ) 卒業又は修業學校名 | 東京上野國民學校高等科卒業 | | |
| | (ロ) 専攻學科名 | | | |
| | (ハ) 資格に関する試験名又は檢定名 | 20年間機械修繕ノ指導監督ニ従事ス | | |

申告者の署名
又は捺印 萩 原 源 太 ⑩

111K

8 朝鮮人元技術者ニシテ試験檢定合格者

昭和18年 6月10日現在

㊦

技 術 票

㊧

朝鮮總督府

| | | | | |
|---------------------------|--------------------|---------|-------------------|--------|
| 準備調査簿の番號 | | 技術票通し番號 | | 調査員檢印 |
| 第 45 號 | | 第 1 號 | | ㊦ |
| 事業體の所在地 | | | 事業體の名 | |
| 平安南道平壤府 | | | 東西製藥株式會社 | |
| 一 氏 名 | | | 咸鏡南道 | 二 男女の別 |
| 金 本 光 雄 | | | | ㊧ 女 |
| 三 出 生 の 年 月 日 | | | 明 治 25 年 8 月 17 日 | |
| 四 現技術者、元技術者又は技術能力者の別 | | | 現 ㊦ 能 | |
| 五 職 名 (元技術者は其の當時の職名をも附記す) | | | 専務取締役 (元 20 藥 劑) | |
| 六 教 育 | (イ) 卒業又は修業學校名 | | 清津公立國民學校六年卒業 | |
| | (ロ) 専攻學科名 | | | |
| | (ハ) 資格に関する試験名又は檢定名 | | 44 朝鮮藥劑 | |

申告者の署名
又は捺印 | 金 本 光 雄 ㊦

9 内地人技術能力者ニシテ工業學校ト大學專門部商科卒業者

昭和18年 6月10日現在

技 術 票

朝鮮總督府

| | | |
|-------------------------|---------------|-------|
| 準備調査簿の番號 | 技 術 票 通 し 番 號 | 調査員檢印 |
| 第 143 號 | 第 1 號 | 印 |
| 事 業 體 の 所 在 地 | 事 業 體 の 名 | |
| 全 羅 南 道 光 州 府 驛 邊 邑 國 函 | 石 川 機 械 製 作 所 | |

| | | | |
|---------------------------|--------------------------------|-----------------------|-----|
| 一 氏 名 | 石 川 和 夫 | 二 男女の別 | ㉞ 女 |
| 三 出 生 の 年 月 日 | 明 治 35 年 7 月 23 日 | | |
| 四 現技術者、元技術者又は技術能力者の別 | 現 元 ㉟ | | |
| 五 職 名 (元技術者は其の當時の職名をも附記す) | 事 業 主 | | |
| 六 教 育 | (イ) 卒 業 又 は 修 業 學 校 名 | 日 本 大 學 專 門 部 商 科 卒 業 | |
| | (ロ) 専 攻 學 科 名 | 京 城 工 業 學 校 機 械 科 | |
| | (ハ) 資 格 に 關 する 試 驗 名 又 は 檢 定 名 | | |

申告者の署名
又は捺印 | 石 川 和 夫 ㊴

附 錄

二一八

朝鮮勞働技術統計調查關係諸法規 (第三章ニ掲載ノ諸法規ハ省略ス)

(一) 大正十一年法律第五十二號

(統計資料實地調査ニ關スル法

律)

(大正十一年四月十九日法律第五十二號)

改正 昭和四年法律第一號、昭和十五年法律第二

號

第一條 政府ハ農業、勞働及技術ニ關スル統計資料蒐集ノ爲必要アルトキハ特ニ期日ヲ定メ全國ニ涉リ又ハ一定ノ區域ヲ劃シテ本法ニ依ル實地調査ヲ行フコトヲ得

前項ノ實地調査ノ期日、範圍、方法其ノ他必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 實地調査ニ依リテ蒐集シタル個々ノ資料ハ統計上ノ目的以外ニ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第三條 實地調査ニ關スル事務ニ從事シタル者其ノ職務執行ニ關シ知得タル個人、法人、組合又ハ其ノ業務ニ關スル事項ヲ故意ク他ニ漏洩シタルトキハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第四條 實地調査ニ際シ調査ヲ忌避シ、申告ヲ拒ミ又ハ故意ニ不實ノ申告ヲ爲シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第五條 虛偽ノ風説ヲ流布シ又ハ偽計若ハ威力ヲ用キテ實地調査ヲ妨ケタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

(二) 大正十一年法律第五十二號

ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スル

ノ件

(昭和十六年四月二日
勅令第三百七十八號)

大正十一年法律第五十二號ハ朝鮮、臺灣及樺太ニ之ヲ
施行ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(一) 朝鮮鑛業令(抄)

(大正四年十二月
制令第八號)

第一條 本令ニ於テ鑛業ト稱スルハ鑛物ノ採掘及之ニ

附屬スル事業ヲ謂フ

本令ニ於テ鑛物ト稱スルハ金鑛、銀鑛、銅鑛、鉛
鑛、蒼鉛鑛、錫鑛、安質母尼鑛、水銀鑛、亜鉛鑛、
鐵鑛、硫化鐵鑛、格魯謨鐵鑛、滿俺鑛、タングステ
ン鑛、水鉛鑛、砒鑛、ニツケル鑛、コバルト鑛、燐
鑛、硼鑛、黑鉛、石炭、石油、土瀝青、硫黃、雲

母、石棉、高嶺土、鐵石(滑石ヲ含ム)、明礬石、重
晶石、螢石、「マグネサイト」、霞石、藍晶石(紅柱
石及珪線石ヲ含ム)、硅藻土、砒砂、砂金、砂錫、
砂鐵及稀有元素ヲ含有スル土石ニシテ朝鮮總督ノ指
定シタルモノ

(二) 朝鮮私設鐵道令(抄)

(大正九年六月
制令第八號)

第一條 私人カ公衆ノ用ニ供スル爲敷設スル鐵道ニ關
シテハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外地方鐵道法ニ
依ル但シ同法中地方鐵道トアルハ私設鐵道、地方鐵
道業トアルハ私設鐵道業、地方鐵道業者トアルハ私
設鐵道業者、地方鐵道會社トアルハ私設鐵道會社、
鐵道抵當法トアルハ朝鮮財團抵當令、主務大臣トア
ルハ朝鮮總督トス
私設鐵道業者カ運送營業ノ爲支線ヲ敷設スルトキハ
公衆ノ用ニ供セサル場合ト雖本令ヲ適用ス

私人カ専用ニ供スル爲敷設スル鐵道ニ關スル規定ハ
朝鮮總督之ヲ定ム

(三) 地方鐵道法(抄) (大正八年
法律第五十二號)

第一條 本法ハ軌道法ニ規定スルモノヲ除クノ外道府
縣其ノ他ノ公共團體又ハ私人カ公衆ノ用ニ供スル爲
敷設スル地方鐵道ニ之ヲ適用ス

地方鐵道業者カ運送營業ノ爲支線ヲ敷設スルトキハ
公衆ノ用ニ供セサル場合ト雖本法ヲ適用ス
道府縣其ノ他ノ公共團體又ハ私人カ専用ニ供スル爲
敷設スル鐵道ニシテ政府ノ鐵道又ハ地方鐵道ニ接続
スルモノニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

(四) 朝鮮專用鐵道規程(抄)

(大正九年十一月
總令第七十三號)

第一條 本規程ハ私人カ専用ニ供スル爲敷設スル鐵道
ニ之ヲ適用ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ此

ノ限ニ在ラス

一 人力又ハ牛馬カヲ使用スルモノ

二 工場、事業場其ノ他之ニ類スル地域内ニ限り

敷設スルモノニシテ公衆ノ用ニ供スル鐵道又ハ

軌道ト直通又ハ直接連絡セサルモノ

三 朝鮮鑛業令ニ依ル鑛業ノ用ニ供スル爲鑛區内

又ハ之ニ隣接スル地域内ニ敷設シ公衆ノ用ニ供

スル鐵道又ハ軌道ト直通又ハ直接連絡セサルモ

ノ(鑛區外ノ延長十キロメートルヲ超ユルモノ

ヲ除ク)

(五) 朝鮮輕便鐵道令(抄)

(明治四十五年六月
制令第二十五號)

第一條 本令ハ一般運送ノ用ニ供スル官設及私設ノ輕
便鐵道ニ之ヲ適用ス

第十七條 一般運送ノ用ニ供スル爲公共道路上ニ敷設
スル軌道ニ付テハ本令ヲ準用ス

(六) 朝鮮自動車交通事業令(抄)

(昭和八年九月
制令第十九號)

第一條 自動車交通事業ニ關シテハ本令ニ規定スルモノノ外自動車交通事業法ニ依ル但シ同法第十六條ノ十一第二項中組合員ノ貯金ノ受入ニ關スル規定並ニ第十六條ノ三十八、第二十二條第五項、第三十一條第四項及第三十六條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

自動車交通事業法中主務大臣トアルハ朝鮮總督、鐵道局長トアルハ朝鮮總督府鐵道局長、地方長官トアルハ道知事、區裁判所トアルハ地方法院又ハ其ノ支廳、勅令トアルハ朝鮮總督府令、不動産登記法トアルハ朝鮮不動産登記令、鐵道抵當法トアルハ朝鮮財團抵當令ニ於テ依ルコトヲ定メタル鐵道抵當法、工場抵當法トアルハ朝鮮財團抵當令ニ於テ依ルコトヲ定メタル工場抵當法トス

(七) 自動車交通事業法(抄)

(昭和六年
法律第五十二號)

第一條 本法ニ於テ旅客自動車運輸事業トハ一般交通ノ用ニ供スル爲路線ヲ定メ定期ニ自動車ヲ運行シテ旅客ヲ運送スル事業ヲ謂フ

第四條ノ二 旅客自動車運輸事業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ旅客ノ運送ニ附隨シテ物品ヲ運送スルコトヲ得

第十六條 第四條第一項、第四條ノ二、第七條、第十條(第一項第二號、第三號及第五號ヲ除ク)及第十一條乃至第十三條ノ規定ハ旅客自動車運輸事業ニ非ズシテ一般ノ需用ニ應ジ自動車ヲ使用シテ旅客ヲ運送スル事業(旅客自動車運送事業)ニ之ヲ準用ス但シ第四條第一項、第七條、第十條、第十二條及第十三條中主務大臣トアルハ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監トス)トシ第十條第一項第四號中路線トアル

ハ主タル事業區域トス

本法ニ規定スルモノノ外免許ノ失效、免許ノ全部又ハ一部ノ取消、事業ノ全部又ハ一部ノ停止其ノ他旅客自動車運送事業ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

旅客自動車運輸事業又ハ旅客自動車運送事業ニ非ズシテ自動車ニ依リ旅客ヲ運送スル事業ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十六條ノ二 本法ニ於テ貨物自動車運送事業トハ一般ノ需用ニ應ジ自動車ヲ使用シテ物品ヲ運送スル事業ヲ謂フ

(八) 朝鮮小運送業令(抄)

(昭和十四年
制令第十八號)

第一條 小運送ニ關スル事業ニ關シテハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外小運送業法ニ依ル但シ同法第十二條第二項及第三項ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

小運送業法中主務大臣トアルハ朝鮮總督トス但シ戰時又ハ事變ニ際シ軍事輸送上必要アル場合ニ於テ軍需品ノ輸送ニ關スル優先扱其ノ他ノ特別處理ニ付小運送業法第四條ノ規定ニ依リテ爲ス命令 關シテハ朝鮮總督又ハ勅令ノ定ムル行政官廳トス

小運送業法第十一條中鐵道營業法トアルハ明治四十五年制令第二十四號ニ於テ依ルコトヲ定メタル鐵道營業法トシ同法第十七條中地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監トス)又ハ鐵道局長トアルハ朝鮮總督府鐵道局長又ハ道知事トス

(九) 小運送業法(抄) (昭和十二年 法律第四十五號)

第一條 本法ニ於テ小運送業トハ左ニ掲グル事業ヲ謂
一 鐵道若ハ軌道ノ爲ス物品運送又ハ此等ノ運送機
關ト通運送ヲ爲ス運送機關ニ依ル通物品運送ノ運
送取扱業又ハ運送代辨業

二 鐵道又ハ軌道ニ附隨シ又ハ之ヲ利用シテ爲ス陸
上ノ物品運送業

(十) 賃金統制令(抄)

(昭和十五年
勅令第六百七十五號)

第三條 本令ニ於テ賃金ト稱スルハ賃金、給料、手
當、賞與其ノ他ノ名稱ノ如何ヲ問ハズ勞務者ヲ雇備
スル者(以下雇備主ト稱ス)ガ勞働ノ對價トシテ支給
スル金錢、物其ノ他ノ利益ヲ謂フ
賃金ノ全部又ハ一部ガ金錢以外ノ給與其ノ他ノ利益
ナルトキハ其ノ評價ニ關シ必要ナル事項ハ厚生大臣
之ヲ定ム

昭和十八年五月十日 印刷
昭和十八年五月二十日 發行

◎定價 壹圓六拾錢

朝鮮總督府總務局國勢調查課編

京城府壽松町二十七番地

發行者 酒 井 與 三 吉

京城府壽松町二十七番地

印刷者 藤 本 外 次

京城府壽松町二十七番地

印刷所 鮮光印刷株式會社

京城府壽松町二十七番地

發行所 朝鮮圖書出版株式會社

電話光化門三二八五番
振替京城二九六九〇番

不 許
復 製